# Nikon

# AF-S DX NIKKOR 18-55mm f/3.5-5.6G VR

## 安全上のご注意

ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。この「安全上のご注意」は製品を安全に正しく使用していただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、重要な内容を記載しています。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

## 表示について

表示と意味は次のようになっています。

| | |
|---|---|
|  | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。 |
|  | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。 |



お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

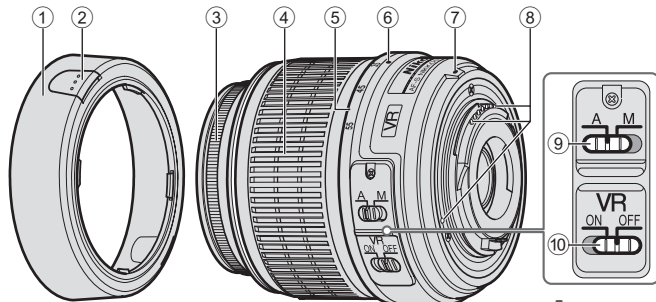
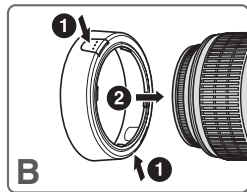
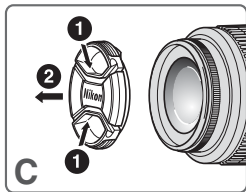
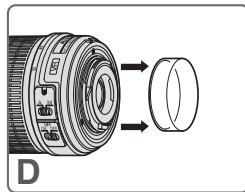
### 絵表示の例

| | |
|---|---|
|  | △記号は、注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。 |
|  | ⃠記号は、禁止（してはいけないこと）の行為を告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。 |
|  | ●記号は、行為を強制すること（必ずすること）を告げるものです。図の中や近くに具体的な強制内容（左図の場合は電池を取り出す）が描かれています。 |

| ⚠ 警告 | |
|---|---|
| 分解禁止 | **分解したり修理・改造をしないこと**<br>感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。 |
| 接触禁止<br>すぐに修理依頼を | **落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと**<br>感電したり、破損部でケガをする原因となります。カメラの電池を抜いて、販売店またはニコンサービス機関に修理を依頼してください。 |
| 電池を取る<br>すぐに修理依頼を | **熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、速やかにカメラの電池を取り出すこと**<br>そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。電池を取り出す際、やけどに十分注意してください。電池を抜いて、販売店またはニコンサービス機関に修理を依頼してください。 |
| 水かけ禁止 | **水につけたり水をかけたり、雨にぬらしたりしないこと**<br>発火したり感電の原因となります。 |
| 使用禁止 | **引火・爆発のおそれのある場所では使用しないこと**<br>プロパンガス・ガソリンなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因となります。 |
| 見ないこと | **レンズまたはカメラで直接太陽や強い光を見ないこと**<br>失明や視力障害の原因となります。 |

| ⚠ 注意 | |
|---|---|
| 感電注意 | **ぬれた手でさわらないこと**<br>感電の原因になることがあります。 |
| 放置禁止 | **製品は幼児の手の届かないところに置くこと**<br>ケガの原因になることがあります。 |
| 使用注意 | **逆光撮影では、太陽を画角から十分にずらすこと**<br>太陽光がカメラ内部で焦点を結び、火災の原因になることがあります。画角から太陽をわずかに外しても火災の原因になることがあります。 |
| 保管注意 | **使用しないときは、レンズにキャップをつけるか太陽光のあたらない所に保管すること**<br>太陽光が焦点を結び、火災の原因になることがあります。 |
| 移動禁止 | **三脚にカメラやレンズを取り付けたまま移動しないこと**<br>転倒したりぶつけたりしてケガの原因になることがあります。 |
| 放置禁止 | **窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないこと**<br>内部の部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。 |

# 各部の名称

（　）：参照頁

① フード※（P. 5）
② フード着脱ボタン（P. 5）
③ フォーカスリング
④ ズームリング（P. 6）
⑤ 焦点距離目盛
⑥ 焦点距離目盛指標
⑦ レンズ着脱指標（P. 5）
⑧ CPU信号接点（P. 8）
⑨ A-M切り換えスイッチ（P. 6）
⑩ 手ブレ補正スイッチ（P. 7）

※フードは別売です。

このたびはDXニッコールレンズをお買い上げいただきありがとうございます。このレンズは、ニコンDXフォーマットのニコンデジタル一眼レフカメラ（D2シリーズ、D40シリーズなど）専用です。
ニコンDXフォーマットでの撮影画角は、35mm判換算で焦点距離の約1.5倍の焦点距離に相当する画角になります。
ご使用の前に、この「使用説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、カメラの使用説明書もご覧ください。

## 主な特長

- 手ブレ補正機能（VR）を使用すると、使わないときと比べ約3段分※（焦点距離55mm時）シャッタースピードを遅くして撮影できるため、シャッタースピードの選択範囲が広がり、幅広い領域で手持ち撮影が可能です。（※当社測定条件によります。また、手ブレ補正効果は、撮影者や撮影条件によって異なります。）
- レンズ内超音波モーター（サイレント・ウェーブ・モーター）を採用し静かなAF（オートフォーカス）撮影が可能です。また、A-M切り換えスイッチ⑨によりAF（オートフォーカス）撮影およびMF（マニュアルフォーカス）撮影ができます。
- 被写体までの距離情報をカメラボディー側に伝達する機能を備え、より的確な露出制御を実現します。
- 非球面レンズや良好なボケ味を再現する円形絞りの採用により優れた光学性能、描写性能を発揮します。

## カメラへの取り付け方

1. カメラの電源スイッチをOFFにします。
2. レンズの裏ぶたを取り外します（図D）
3. レンズとカメラのレンズ着脱指標⑦を合わせ、反時計回りにカチッと音がするまでレンズを回します。このとき、レンズの着脱指標⑦が真上にきます。
4. レンズキャップを取り外します。（図C）

Jp

## カメラからレンズの取り外し方

レンズを取り外すには、カメラの電源スイッチをOFFにし、レンズ取り外しボタンを押しながら時計回りにレンズを回します。

## フードHB-45※①の取り付け、取り外し（図B）

（※フードは別売です。）

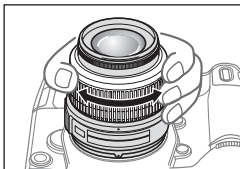
### 取り付け方

フード着脱ボタン②を押した状態で取り付け、ボタン②から指を離します。
収納時は、フード①を逆向きにして取り付けることができます。

### 取り外し方

フード着脱ボタン②を押した状態で取り外します。

## ズーミングと被写界深度

撮影を行う場合は、ズームリング④を回転させ（焦点距離が変化します）構図を決めてから、ピント合わせを行ってください。プレビュー（絞り込み）機構を持つカメラでは、撮影前に被写界深度を確認できます。

Jp

## ピント合わせの方法（図A）

### オートフォーカス撮影

カメラのフォーカスモードをAF-A、AF-SまたはAF-Cにセットし、レンズのA-M切り換えスイッチ⑨を［A］にセットしてください。シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ撮影します。

オートフォーカス撮影ではフォーカスリング③が回転しますので、フォーカスリング③に触れないように注意してください。

### マニュアルフォーカス撮影

レンズのA-M切り換えスイッチ⑨を［M］にセットします。フォーカスリング③を回転させてピントを合わせ撮影します。このときカメラ側のフォーカスモードはAFでもMでもマニュアルフォーカス撮影ができます。

| レンズのA-M切り換えスイッチ⑨ | カメラのフォーカスモード | |
|---|---|---|
| | AF-A/AF-S/AF-C | M |
| A | オートフォーカス撮影 | |
| M | マニュアルフォーカス撮影（フォーカスエイド可） | |

カメラのフォーカスモードについては、カメラの使用説明書をご覧ください。

### オートフォーカスが苦手な被写体について

「広角・超広角レンズのオートフォーカス撮影について」（P. 10）をご覧ください。

## 手ブレ補正機能（VR）

シャッタースピードで約3段分※（焦点距離55mm時）の手ブレを補正します。パンニングにも対応し、流し撮りも行えます。（※当社測定条件によります。また、手ブレ補正効果は、撮影者や撮影条件によって異なります。）

### 手振れ補正機能の使い方

**1** 手ブレ補正スイッチ⑩を［ON］にセットします。

- スイッチ⑩は、指標が合うようにセットしてください。

**2** シャッターボタンを半押しすると手ブレを補正します。このときファインダー内の画像のブレも補正するため、ピント合わせが容易で、フレーミングしやすくなります。

**3** 手ブレ補正スイッチ⑩を［OFF］にセットすると、手ブレを補正しません。

### 手ブレ補正使用時のご注意

- シャッターボタンを半押し後、ファインダー像が安定してから撮影することをおすすめします。
- パンニング（流し撮り）でカメラの向きを大きく変えた場合、流した方向の手ブレ補正は機能しません。例えば、流し撮りで横方向にパンニングすると、縦方向の手ブレだけが補正され、流し撮りが行えます。
- 手ブレ補正の原理上、シャッターレリーズ後にファインダー像がわずかに動くことがありますが、異常ではありません。
- 手ブレ補正中にカメラの電源スイッチをOFFにしたり、レンズを取り外したりしないでください。（その状態でレンズを振るとカタカタ音がすることがありますが、故障ではありません。カメラの電源スイッチを再度ONにすれば、音は消えます。）
- 内蔵フラッシュ搭載のカメラ（D300、D40シリーズなど）で、内蔵フラッシュ充電中には、手ブレ補正は行いません。
- 三脚を使用するときは、手ブレ補正スイッチ⑩を［OFF］にしてください。ただし、三脚を使っても雲台を固定しないときや、一脚を使用するときには、スイッチを［ON］にすることをおすすめします。
- AF作動ボタンのあるカメラ（D2シリーズ、D300など）で、AF作動ボタンを押しても、手ブレ補正は作動しません。

## 絞り値の設定

絞り値を設定する場合は、カメラで設定してください。

## 開放F値の変化

このレンズはズーミングにより、開放F値が最大1 1/3段変化します。ただし、露出を決める際に、F値の変化量はカメラが自動的に補正しますので考慮する必要はありません。

## カメラの内蔵フラッシュ使用時のケラレについて

カメラの内蔵フラッシュのケラレとは、フラッシュの光がレンズのフード①や、焦点距離、撮影距離によってはレンズの先端でさえぎられて影になり、写真に映り込む現象です。

- ケラレを防止するために、レンズフード ① は取り外してください。
- 撮影距離0.6m未満では使用できません。

| デジタル一眼レフカメラ | ケラレなく撮影できる焦点距離と撮影距離 |
| --- | --- |
| D300、D200、D100、D80、D70シリーズ、D60、D50、D40シリーズ | すべての焦点距離で、ケラレは発生しません。 |

D100/D70の内蔵フラッシュは、20mmレンズの画角をカバーする照射角なので、焦点距離18mmでは周辺が暗くなります。

## レンズのお手入れと取り扱い上のご注意

- レンズのCPU信号接点⑧は汚さないようにご注意ください。
- レンズ面の清掃は、ホコリを拭う程度にしてください。指紋がついたときは、柔らかい清潔な木綿の布に無水アルコール（エタノール）または市販のレンズクリーナーを少量湿らせ、レンズの中心から外周へ渦巻状に、拭きムラ、拭き残りのないように注意して拭いてください。
- シンナーやベンジンなどの有機溶剤は絶対に使用しないでください。
- レンズ表面の汚れや傷を防ぐためには、NCフィルターをお使いいただけます。また、レンズフード①も役立ちます。
- レンズをソフトケースに入れるときは、必ず、レンズキャップと裏ぶたを取り付けてください。なお、フード①を逆さ向きにしてレンズに取り付けた状態でも収納可能です。
- フード ① を持ってカメラを持ち上げたりしないでください。
- レンズを長期間使用しないときは、カビやサビを防ぐために、高温多湿のところを避けて風通しのよい場所に保管してください。また、直射日光のあたるところ、ナフタリンや樟脳のあるところも避けてください。
- レンズを水に濡らすと、部品がサビつくなどして故障の原因となりますのでご注意ください。
- ストーブの前など、高温になるところに置かないでください。極端に温度が高くなると、外観の一部に使用している強化プラスチックが変形することがあります。

## 付属アクセサリー

- 52mmスプリング式レンズキャップ LC-52

## 別売アクセサリー

- 52mmネジ込み式フィルター
- 裏ぶた LF-1
- ソフトケース CL-0815
- フード HB-45

## 使用できないアクセサリー

- テレコンバーター：全種類
- オート接写リング：PKリング全種類
- Kリング：全種類
- オートリング BR-4
- ベローズアタッチメント：全種類
- アタッチメントリング SX-1

※その他のアクセサリーでも、使用できない場合があります。アクセサリーの使用説明書をご確認ください。

## 仕　様

| | |
|---|---|
| **型式** | ニコンFマウントCPU内蔵Gタイプ、AF-S DXニッコールズームレンズ（ニコンデジタル一眼レフカメラ［ニコンDXフォーマット］専用） |
| **焦点距離** | 18mm―55mm |
| **最大口径比** | 1：3.5―5.6 |
| **レンズ構成** | 8群11枚（非球面レンズ1枚） |
| **画角** | 76°―28°50′ |
| **焦点距離目盛** | 18、24、35、45、55mm |
| **撮影距離情報** | カメラボディーへの撮影距離情報出力可能 |
| **ズーミング** | ズームリングによる回転式 |
| **ピント合わせ** | 超音波モーターによるオートフォーカス、マニュアルフォーカス可能 |
| **手ブレ補正** | ボイスコイルモーター（VCM）によるレンズシフト方式 |
| **最短撮影距離** | 0.28 m（ズーム全域） |
| **絞り羽根枚数** | 7枚（円形絞り） |
| **絞り方式** | 自動絞り |
| **絞りの範囲** | 焦点距離18mm時 f 3.5―22、55mm時 f 5.6―36 |
| **測光方式** | 開放測光 |
| **アタッチメントサイズ** | 52 mm（P=0.75 mm） |
| **大きさ** | 約73 mm（最大径）×79.5 mm（バヨネットマウント基準面からレンズ先端まで） |
| **質量** | 約265 g |

- 仕様、外観の一部を、改善のため予告なく変更することがあります。

Jp

# 広角・超広角レンズのオートフォーカス撮影について

広角・超広角レンズでは、標準クラスのレンズと比べ、下記のような撮影条件になりやすく、オートフォーカス撮影時には注意が必要です。
以下をお読みになって、オートフォーカス撮影にお役立てください。

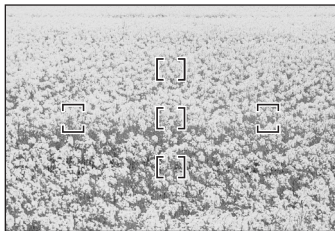
E〈人物〉

F〈花畑〉

## 1. フォーカスフレームに対して主要な被写体が小さい場合

図Eのように、フォーカスフレーム内に遠くの建物と近くの人物が混在するような被写体になると、背景にピントが合い、人物のピント精度が低下する場合があります。

## 2. 絵柄がこまかな場合

図Fのように、被写体が小さいか、明暗差が少ない被写体になると、オートフォーカスにとっては苦手な被写体になります。

## ◆このような時には・・・

1、2のような被写体条件でオートフォーカスが上手く働かない場合、主要被写体とほぼ同じ距離にある被写体でフォーカスロックし、構図を元に戻して撮影する方法が有効です。
また、マニュアルフォーカスに切り換えて、マニュアルでピントを合わせて撮影する方法もあります。

**その他**

お手持ちのカメラボディーの使用説明書で「オートフォーカスが苦手な被写体について」の説明も参照してください。

# Notes on Safety Operations

## ⚠ CAUTION

### Do not disassemble

Touching the internal parts of the camera or lens could result in injury. Repairs should be performed only by qualified technicians. Should the camera or lens break open as the result of a fall or other accident, take the product to a Nikon-authorized service representative for inspection after unplugging the product and/or removing the battery.

### Turn off immediately in the event of malfunction

Should you notice smoke or an unusual smell coming from the camera or lens, remove the battery immediately, taking care to avoid burns. Continued operation could result in injury.

After removing or disconnecting the power source, take the product to a Nikon-authorized service representative for inspection.

### Do not use the camera or lens in the presence of flammable gas

Operating electronic equipment in the presence of flammable gas could result in an explosion or fire.

### Do not look at the sun through the lens or viewfinder

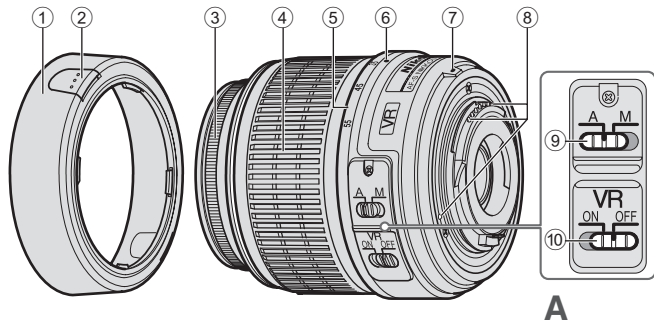
Viewing the sun or other strong light sources through the lens or viewfinder could cause permanent visual impairment.

### Keep out of reach of children

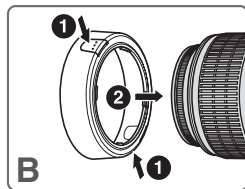
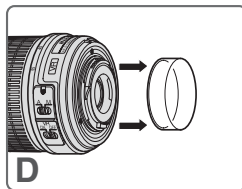
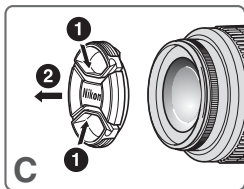
Particular care should be taken to prevent infants from putting the batteries or other small parts into their mouths.

### Observe the following precautions when handling the camera and lens

- Keep the camera or lens unit dry. Failure to do so could result in fire or electric shock.
- Do not handle or touch the camera or lens unit with wet hands. Failure to do so could result in electric shock.
- When shooting with back-lighting, keep the sun well out of the frame. Sunlight could be focused into the lens body and cause a fire. Sunlight not directly in the frame, but even near the frame, can also be the cause of fire.
- When the lens will not be used for an extended period of time, attach both front and rear lens caps and store the lens away from direct sunlight. Failure to do so could result in a fire, as the lens may focus sunlight onto a flammable object.

## Nomenclature

( ) : reference page

① Lens hood* (P. 14)
② Lens hood attachment button (P. 14)
③ Focus ring
④ Zoom ring (P. 15)
⑤ Focal length scale
⑥ Focal length scale index
⑦ Mounting index (P. 14)
⑧ CPU contacts (P. 17)
⑨ A-M mode switch (P. 15)
⑩ Vibration reduction ON/OFF switch (P. 16)

En

*Optional

Thank you for purchasing the AF-S DX NIKKOR 18-55mm f/3.5-5.6G VR. DX Nikkor lenses are specially designed for use with Nikon digital-SLR (Nikon DX format) cameras, such as the D2-series and D40-series. When mounted on Nikon DX-format cameras, the lens' picture angle is equivalent to approximately 1.5× the focal length in 35mm format. Before using this lens, please read these instructions and refer to your camera's User's Manual.

## Major features

- Enabling vibration reduction (VR) allows for shooting at shutter speeds approximately three stops* slower (at a focal length of 55mm) than when vibration reduction is disabled, thus expanding the range of effective shutter speed options, and simplifying hand-held shooting at a variety of zoom positions. (*Based on results achieved under Nikon measurement conditions. The effects of vibration reduction may vary by individual and/or shooting conditions.)
- This lens employs a Silent Wave Motor to drive the focusing mechanism, making autofocusing smooth, silent and almost instantaneous. The A-M mode switch ⑨ is provided for simple selection of autofocus (A) or manual focus (M) operation.
- More accurate exposure control is possible because subject distance information is transferred from the lens to the camera body.
- The use of one aspherical lens elements ensures sharp pictures virtually free of color fringing. Also, by utilizing a seven-blade diaphragm that results in a nearly circular aperture, out-of-focus objects in front of, or behind, the subject are rendered as pleasing blurs.

En

## Mounting the lens

1. Turn the camera off.
2. Remove the rear lens cap (Fig. D).
3. Keeping the mounting index ⑦ on the lens aligned with the mounting mark on the camera body, rotate the lens counterclockwise until it clicks into place. Be sure that the mounting index ⑦ is on the uppermost side.
4. Remove the front lens cap. (Fig. C)

## Removing the lens

Be sure to turn the camera off before removing the lens. Press and hold the lens-release button while turning the lens clockwise to remove.

## Using the lens hood HB-45 ①* (Fig. B)

**Optional.*

### Attaching the hood

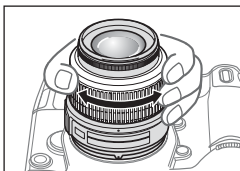
Hold down the lens hood attachment buttons ② when attaching the lens hood ①. To store the lens hood ①, attach it in the reverse position.

### Removing the hood

Hold down the lens hood attachment buttons ② when removing the lens hood ①.

## Focusing, zooming, and depth of field

Before focusing, rotate the zoom ring ④ to adjust the focal length until the desired composition is framed in the viewfinder.

If your camera has a depth of field preview (stop-down) button or lever, depth of field can be previewed through the camera viewfinder.

## Focusing (Fig. A)

### Autofocus mode

Set the camera focus mode to AF-A, AF-S or AF-C and set the A-M mode switch ⑨ on the lens to [A]. The camera focuses automatically (autofocus) while the shutter-release button is pressed halfway.

Be careful not to touch the focus ring ③ when it is turning during autofocus operation.

### Manual focus mode

Set the A-M mode switch ⑨ on the lens to [M]. Rotate the focus ring ③ manually to focus. Shooting is possible when camera focus mode is set to either AF or M.

| Lens' A-M mode switch ⑨ | Camera focus mode | |
|---|---|---|
| | AF-A/AF-S/AF-C | M |
| A | Autofocus | — |
| M | Manual focus (focus assist is available) | |

For more information on camera focus modes, refer to your camera's User's Manual.

En

### Getting good results with autofocus

Refer to "Notes on using wide or super-wide angle AF Nikkor lenses" (P. 19).

## Vibration reduction mode (VR)

Enabling vibration reduction (VR) allows for shooting at shutter speeds approximately three stops* slower (at a focal length of 55mm) than when vibration reduction is disabled. Panning is also supported. (*Based on results achieved under Nikon measurement conditions. The effects of vibration reduction may vary depending on individual and shooting conditions.)

### Turning the vibration reduction on and off

1. Set the vibration reduction ON/OFF switch ⑩ to [ON]. Note: Be sure to set the switch ⑩ so that the indicator is precisely aligned with [ON].
2. Camera shake is reduced when the shutter-release button is pressed halfway. Autofocus and manual focusing, as well as precise framing of the subject, are simplified because camera shake visible through the viewfinder is also reduced.
3. To disable vibration reduction, set the vibration reduction ON/OFF switch ⑩ to [OFF].

### Notes on using vibration reduction

- After pressing the shutter-release button halfway, wait until the image in the viewfinder stabilizes before pressing the shutter-release button the rest of the way down.
- If the camera is panned in a wide arc, compensation for camera shake in the panning direction is not performed. For example, with horizontal panning only vertical camera shake is reduced, making smooth pans much easier.
- Due to the characteristics of the vibration reduction mechanism, the image in the viewfinder may be blurred after the shutter is released. This is not a malfunction.
- Do not turn the camera off or remove the lens from the camera while vibration reduction is operating. Failure to observe this note could result in the lens sounding and feeling as if an internal component is loose or broken when it is shaken. This is not a malfunction. Turn the camera on again to correct this.
- With cameras such as D300 and D40-series models, featuring a built-in flash, vibration reduction does not function while the built-in flash is charging.
- When the camera is mounted on a tripod, set the vibration reduction ON/OFF switch ⑩ to [OFF]. However, set the switch to [ON] when using a tripod without securing the tripod head, or when using a monopod.
- With autofocus cameras such as D2-series and D300 models, featuring an AF start (AF-ON) button, vibration reduction does not function even when the AF-ON button is pressed.

## Setting the aperture

Use the camera to adjust the aperture setting.

## Variable maximum apertures

Zooming the lens from 18mm to 55mm decreases the maximum aperture by 1 1/3 stop.
However, there is no need to adjust the aperture setting to achieve correct exposures because the camera automatically compensates for this variable.

## Flash photography using cameras with a built-in flash

Vignetting is the darkening of the corners around the image that occurs when the light emitted by the flash is obstructed by the lens hood ①, or lens barrel depending on the focal length or shooting distance.

- To prevent vignetting, do not use the lens hood ①.
- It is not possible to shoot at distances shorter than 0.6 m (2.0 ft.) using the camera's built-in flash.

| Digital-SLR cameras | Supported focal length / Shooting distance |
|---|---|
| D300, D200, D100, D80, D70-series, D60, D50, D40-series | No vignetting occurs at any focal length |

The built-in flash on the D100 and D70 supports focal lengths of 20mm or more.

Vignetting occurs at a focal length of 18mm.

## Lens care

- Be careful not to soil or damage the CPU contacts ⑧.
- Clean lens surfaces with a blower brush. To remove dirt and smudges, use a soft, clean cotton cloth or lens tissue moistened with ethanol (alcohol) or lens cleaner. Wipe in a circular motion from the center to the outer edge, taking care not to leave traces or touch other parts of the lens.
- Never use thinner or benzene to clean the lens, as this could cause damage, result in a fire, or cause health problems.
- NC filters are available to protect the front lens element. The lens hood ① also helps to protect the front of the lens.
- When storing the lens in its flexible lens pouch, attach both the front and rear lens caps. The lens can also be stored with the lens hood ① attached in the reverse position.
- When the lens is mounted on a camera, do not pick up or hold the camera and lens by the lens hood ①.
- When the lens will not be used for an extended period of time, store it in a cool, dry place to prevent mold. Be sure to store the lens away from direct sunlight or chemicals such as camphor or naphthalene.
- Do not get water on the lens or drop it in water as this will cause it to rust and malfunction.
- Reinforced plastic is used for certain parts of the lens. To avoid damage, never leave the lens in an excessively hot place.

## Standard accessories

- 52mm snap-on front lens cap LC-52

## Optional accessories

- 52mm screw-in filters
- Rear lens cap LF-1
- Flexible lens pouch CL-0815
- Lens hood HB-45

## Incompatible accessories

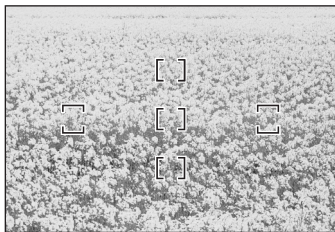
- Teleconverters (all models)
- Auto Ring BR-4 and all models of Auto Extension Ring PK, K Ring and Bellows focusing attachment.
- Attachment Ring SX-1

En

Other accessories may not be suitable for use with this lens. For details, refer to the User's Manual provided with accessories.

## Specifications

| | |
|---|---|
| Type of lens | G-type AF-S DX Zoom-Nikkor lens with built-in CPU and Nikon bayonet mount (Specially designed for use with Nikon digital-SLR—Nikon DX-format—cameras) |
| Focal length | 18mm–55mm |
| Maximum aperture | f/3.5–5.6 |
| Lens construction | 11 elements in 8 groups (1 aspherical lens element) |
| Picture angle | 76º–28º50′ |
| Focal length scale | 18, 24, 35, 45, 55mm |
| Distance information | Output to camera body |
| Zoom control | Manually via separate zoom ring |
| Focusing | Autofocus using a Silent Wave Motor; manually via separate focus ring |
| Vibration reduction | Lens-shift method using voice coil motors (VCMs) |
| Closest focus distance | 0.28 m (0.9 ft.) at all zoom settings |
| No. of diaphragm blades | 7 pcs. (rounded) |
| Diaphragm | Fully automatic |
| Aperture range | f/3.5 to f/22 (at 18mm), f/5.6 to f/36 (at 55mm) |
| Exposure measurement | Via full-aperture method |
| Attachment size | 52 mm (P = 0.75 mm) |
| Dimensions | Approximately 73 mm (dia.) × 79.5 mm (extension from the camera's lens-mount flange) |
| Weight | Approximately 265 g (9.4 oz) |

*Specifications and designs are subject to change without notice or obligation on the part of the manufacturer.*

## Notes on using wide or super-wide angle AF Nikkor lenses

In the following situations, autofocus may not perform as expected when shooting with wide or super-wide angle AF Nikkor lenses.

**E** A person standing in front of a distant background

**F** A field filled with flowers

**1. When the main subject in the focus brackets is relatively small**

When a person standing in front of a distant background is placed within the focus brackets, as shown in Fig. E, the background may be in focus, while the subject is out of focus.

**2. When the main subject is a finely patterned subject or scene**

When the subject is finely patterned or of low contrast, such as a field filled with flowers, as shown in Fig. F, focus may be difficult to acquire using autofocus.

### Responses to these types of situations

(1) Focus on a different subject located at the same distance from the camera, apply focus lock, recompose, and shoot.

(2) Set the camera focus mode selector to M (manual) and focus manually on the subject.

Refer to “Getting Good Results with Autofocus” in the camera’s User’s Manual.

# Hinweise für sicheren Betrieb

## ⚠ ACHTUNG

### Keinesfalls zerlegen.

Beim Berühren der Innenteile von Kamera oder Objektiv droht Verletzungsgefahr. Überlassen Sie Reparaturen unbedingt ausschließlich qualifizierten Technikern. Kommt es durch einen heftigen Stoß (z. B. Fall auf den Boden) zu einem Bruch von Kamera oder Objektiv, so trennen Sie zunächst das Produkt vom Stromnetz bzw. entnehmen die Batterie(n) und geben es dann an eine autorisierte Nikon-Servicestelle zur Überprüfung ab.

### Bei einer Störung sofort die Stromversorgung ausschalten.

Bei Entwicklung von Rauch oder ungewöhnlichem Geruch durch Kamera oder Objektiv entnehmen Sie sofort die Batterie(n); dabei vorsichtig vorgehen, denn es besteht Verbrennungsgefahr. Bei einem Weiterbetrieb unter diesen Umständen droht Verletzungsgefahr.
Nach dem Abtrennen von der Stromversorgung geben Sie das Gerät an eine autorisierte Nikon-Servicestelle zur Überprüfung ab.

### Kamera oder Objektiv keinesfalls bei Vorhandensein von brennbarem Gas einsetzen.

Wird elektronisches Gerät bei brennbarem Gas betrieben, so droht u. U. Explosions- oder Brandgefahr.

### Keinesfalls durch Objektiv oder Sucher in die Sonne blicken.

Beim Betrachten der Sonne oder anderer starker Lichtquellen durch Objektiv oder Sucher droht eine permanente Schädigung des Sehvermögens.

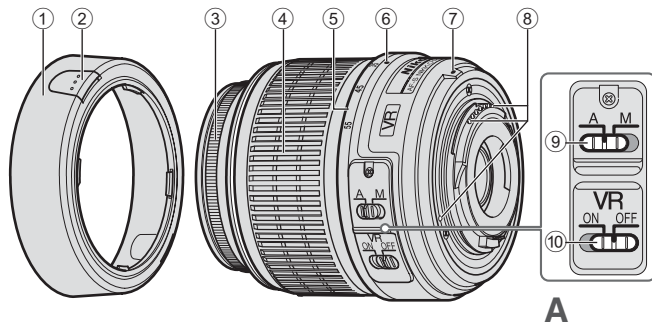
### Dem Zugriff von Kindern entziehen.

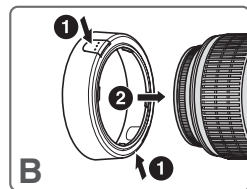
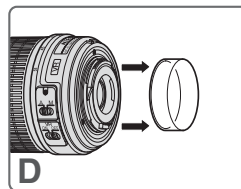
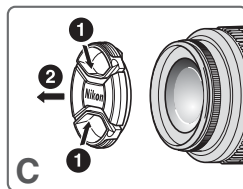
Es ist unbedingt dafür zu sorgen, dass Kleinkinder keine Batterien oder andere kleine Teile in den Mund nehmen können.

### Beim Umgang mit Kamera und Objektiv unbedingt die folgenden Vorsichtmaßnahmen beachten:

- Halten Sie Kamera oder Objektiv stets trocken. Andernfalls droht Brand- oder Stromschlaggefahr.
- Handhaben oder berühren Sie die Kamera bzw. das Objektiv keinesfalls mit nassen Händen. Andernfalls droht Stromschlaggefahr.
- Achten Sie bei Gegenlichtaufnahmen darauf, dass die Sonne auf keinen Fall in den Bildausschnitt gerät. Andernfalls könnte Sonnenlicht durch das Objektiv im Gehäuse fokussiert werden und einen Brand verursachen. Selbst wenn die Sonne nicht direkt in den Bildausschnitt gerät, sondern nur in dessen Nähe, droht Brandgefahr.
- Vor einem längeren Nichtgebrauch des Objektivs bringen Sie den vorderen und hinteren Deckel an und bewahren das Objektiv geschützt vor direkter Sonnenlichteinwirkung auf. Andernfalls droht Brandgefahr wegen möglicher Fokussierung von Sonnenlicht durch die Linse auf brennbare Gegenstände.

## Bezeichnung der Bauteile

( ): Seite mit weiteren Erläuterungen

① Gegenlichtblende* (S. 22)
② Gegenlichtblende-Montagetaste (S. 22)
③ Einstellring
④ Zoomring (S. 23)
⑤ Brennweitenskala
⑥ Brennweitenskala-Index
⑦ Montage-Markierung (S. 22)
⑧ CPU-Kontakte (S. 25)
⑨ Fokus-Modusschalter (A-M) (S. 23)
⑩ Bildstabilisator-Schalter ON/OFF (S. 24)

A

*Sonderzubehör

De

Vielen Dank für Ihr Vertrauen in das AF-S DX NIKKOR 18-55 mm f/3,5-5,6G VR. DX Nikkor-Objektive sind speziell für den Gebrauch mit Nikon Digital-SLR-Kameras (Nikon DX-Format) ausgelegt, wie etwa den Modellen der D2-Serie und der D40-Series. Wird das Objektiv an Kameras im Nikon DX-Format angebracht, so entspricht der Bildwinkel des Objektivs ca. dem 1,5-Fachen der Brennweite im 35-mm-Format. Machen Sie sich bitte vor dem Einsatz dieses Objektivs mit dem Inhalt dieser Bedienungsanleitung und dem Benutzerhandbuch Ihrer Kamera vertraut.

## Hauptmerkmale

- Bei eingeschaltetem Bildstabilisator (VR) kann mit etwa drei Stufen* längeren Belichtungszeiten (bei einer Brennweite von 55 mm) aufgenommen werden als bei ausgeschaltetem Bildstabilisator, so dass letztlich mehr nutzbare Belichtungszeiten zur Verfügung stehen und Freihandaufnahmen in unterschiedlichen Zoompositionen einfacher auszuführen sind. (*Basierend auf Ergebnissen, die unter Nikon-Messbedingungen erzielt wurden. Die Wirkung des Bildstabilisators variiert allerdings je nach Einzelfall und/oder Aufnahmebedingungen.)
- Der Fokussiermechanismus des Objektivs wird von einem Silent Wave Motor angetrieben, so dass die Scharfeinstellung per Autofokus stufenlos, geräuscharm und praktisch verzögerungsfrei erfolgt. Mit dem Fokus-Modusschalter (A-M) ⑨ lässt sich mühelos zwischen Autofokus (A) und manueller Scharfeinstellung (M) wechseln.
- Die Präzision der Belichtungssteuerung ist besonders hoch, da die Motiventfernungsdaten vom Objektiv an die Kamera übertragen werden.
- Das Objektiv ist mit einem asphärischen Linsenelement ausgestattet, das eine hohe Bildschärfe praktisch ohne Farbsaumeffekte ermöglicht. Dazu kommen die sieben Blendenlamellen, die für eine nahezu kreisrunde Blendenöffnung sorgen, was in den nicht scharf eingestellten Bildbereichen vor oder hinter dem eigentlichen Motiv einen besonders ansprechenden Unschärfeeffekt erlaubt.

De

## Anbringen des Objektivs

1. Schalten Sie die Stromversorgung der Kamera aus.
2. Nehmen Sie den hinteren Objektivdeckel ab (Abb. D).
3. Fluchten Sie die Montage-Markierungen ⑦ an Objektiv und Kameragehäuse und drehen Sie das Objektiv entgegen dem Uhrzeigersinn, bis es hörbar einrastet. Sorgen Sie unbedingt dafür, dass sich die Montage-Markierung ⑦ ganz oben befindet.
4. Nehmen Sie den vorderen Objektivdeckel ab (Abb. C).

## Abnehmen des Objektivs

Vor dem Abnehmen des Objektivs muss die Kamera unbedingt ausgeschaltet werden. Halten Sie die Objektiv-Freigabetaste gedrückt und drehen Sie das Objektiv im Uhrzeigersinn.

### Verwendung der Gegenlichtblende HB-45 ①* (Abb. B)

**Sonderzubehör.*

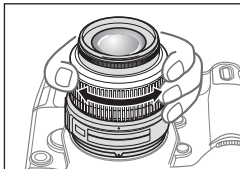
### Anbringen der Gegenlichtblende

Bringen Sie die Gegenlichtblende ① an, indem Sie die Gegenlichtblende-Montagetasten ② gedrückt halten. Zum Verstauen bringen Sie die Gegenlichtblende ① in der umgekehrten Position an.

### Abnehmen der Gegenlichtblende

Nehmen Sie die Gegenlichtblende ① ab, indem Sie die Gegenlichtblende-Montagetasten ② gedrückt halten.

## Scharfeinstellung, Zoomen und Schärfentiefe

Vor der Scharfeinstellung verstellen Sie durch Drehen des Zoomrings ④ die Brennweite so weit, bis der gewünschte Bildausschnitt im Sucher zu sehen ist.

Hat Ihre Kamera eine Taste oder einen Hebel für Schärfentiefe-Voransicht (Abblenden), so lässt sich die Schärfentiefe beim Blick durch den Kamerasucher beurteilen.

## Scharfeinstellung (Abb. A)

### Autofokus-Modus

Stellen Sie den Kamera-Fokusmodus auf AF-A, AF-S oder AF-C ein und den Fokus- Modusschalter (A-M) ⑨ am Objektiv auf »A«. Durch Antippen des Auslösers fokussiert die Kamera nun automatisch (Autofokus).

Berühren Sie den Einstellring ③ nicht, solange er sich im Autofokus-Betrieb bewegt.

### Manuelle Scharfeinstellung

Stellen Sie den Fokus-Modusschalter (A-M) ⑨ am Objektiv auf »M«. Drehen Sie den Einstellring ③ zum Fokussieren mit der Hand. Aufnahmen sind möglich, wenn der Kamera-Fokusmodus auf AF oder M eingestellt ist.

| Fokus-Modusschalter (A-M) am Objektiv ⑨ | Kamera-Fokusmodus | |
|---|---|---|
| | AF-A/AF-S/AF-C | M |
| A | Autofokus | — |
| M | Manuelle Scharfeinstellung (fokussierhilfe vorhanden) | |

Weitere Informationen zum Kamera-Fokusmodus finden Sie im Benutzerhandbuch Ihrer Kamera.

### Gute Ergebnisse mit dem Autofokus

Schlagen Sie bitte unter »Hinweise zum Gebrauch von AF Nikkor-Weitwinkel- oder Super-Weitwinkelobjektiven« (S. 27) nach.

## Bildstabilisator (VR)

Bei eingeschaltetem Bildstabilisator (VR) kann mit etwa drei Stufen* längeren Belichtungszeiten (bei einer Brennweite von 55 mm) aufgenommen werden als bei ausgeschaltetem Bildstabilisator. Auch Schwenks sind möglich. (*Basierend auf Ergebnissen, die unter Nikon-Messbedingungen erzielt wurden. Die Wirkung des Bildstabilisators kann allerdings je nach Einzelfall und/oder Aufnahmebedingungen variieren.)

### Ein- und Ausschalten des Bildstabilisators

1. Stellen Sie den Bildstabilisator-Schalter ON/OFF ⑩ auf »ON«. Hinweis: Stellen Sie den Schalter ⑩ so ein, dass die Markierung genau an »ON« ausgerichtet ist.
2. Beim Antippen des Auslösers werden Vibrationen der Kamera nun reduziert. Auch die im Sucher sichtbaren Vibrationen der Kamera werden reduziert, was die automatische oder manuelle Scharfeinstellung sowie die exakte Auswahl des Bildausschnitts erleichtert.
3. Um den Bildstabilisator auszuschalten, stellen Sie den Bildstabilisator-Schalter ON/OFF ⑩ auf »OFF«.

De

### Hinweise zum Bildstabilisator

- Tippen Sie den Auslöser an, warten Sie, bis sich das Bild im Sucher stabilisiert hat, und drücken Sie erst dann den Auslöser ganz.
- Wenn Sie die Kamera bei einem Schwenk in einem weiten Bogen bewegen, so werden Kameravibrationen in Richtung dieser Bewegung nicht ausgeglichen. Wenn Sie die Kamera zum Beispiel horizontal schwenken, werden nur Kameravibrationen in vertikaler Richtung reduziert, so dass sich gleichmäßige Schwenks weitaus einfacher ausführen lassen.
- Aufgrund der Eigenschaften des Bildstabilisierungsmechanismus erscheint das Bild im Sucher nach dem Auslösen unter Umständen verschwommen. Dies ist jedoch keine Fehlfunktion.
- Schalten Sie die Kamera nicht aus und nehmen Sie auch nicht das Objektiv von der Kamera ab, solange der Bildstabilisator arbeitet. Andernfalls kann beim Schütteln des Objektivs ein Geräusch zu hören sein, als seien innere Bauteile lose oder gebrochen. Dies ist jedoch keine Fehlfunktion. Schalten Sie einfach die Kamera wieder ein, um das Problem zu beheben.
- Bei Kameras mit eingebautem Blitz, beispielsweise aus den D300 und D40, funktioniert der Bildstabilisator nicht, solange der eingebaute Blitz geladen wird.
- Wenn die Kamera auf einem Stativ montiert ist, stellen Sie den Bildstabilisator-Schalter ON/OFF ⑩ auf »OFF«. Wenn Sie allerdings ein Dreibeinstativ mit unverriegeltem Stativkopf oder ein Einbeinstativ (Monopod) verwenden, stellen Sie den Schalter auf »ON«.
- Bei Autofokus-Kameras, beispielsweise aus den Serien D2 und D300, die mit einer AF-Starttaste (AF-ON) ausgestattet sind, funktioniert der Bildstabilisator nicht, selbst wenn Sie die Taste AF-ON drücken.

## Blendeneinstellung

Stellen Sie die Blende an der Kamera ein.

## Variable maximale Blenden

Durch Zoomen des Objektivs von 18 bis 55 mm wird die maximale Blende um 1 1/3 Stufen abgeblendet. Sie brauchen die Blendeneinstellung für eine korrekte Belichtung jedoch nicht zu korrigieren, weil die Kamera automatisch jede Verstellung kompensiert.

## Blitzaufnahmen mit Kameras mit eingebautem Blitz

Unter Vignettierung versteht man die Abdunkelung der Bildecken, wenn das Blitzlicht von der Gegenlichtblende ① oder, je nach Brennweite oder Aufnahmedistanz, vom Objektivtubus verdeckt wird.

- Soll Vignettierung vermieden werden, so verwenden Sie einfach keine Gegenlichtblende ①.
- Aufnahmen aus Entfernungen unter 0,6 m mit dem eingebauten Kamerablitz sind nicht möglich.

| Digital-SLR-Kameras | Einstellbare Brennweite / Aufnahmedistanz |
|---|---|
| D300, D200, D100, D80, D70-Serie, D60, D50, D40-Serie | Keine Vignettierung, unabhängig von der Brennweite |

Der eingebaute Blitz bei Kameras der Serien D100 und D70 eignet sich für Brennweiten von 20 mm oder mehr. Bei einer Brennweite von 18 mm kommt es zur Vignettierung.

## Pflege des Objektivs

- Halten Sie die CPU-Kontakte ⑧ peinlich sauber, und schützen Sie sie vor Beschädigung!
- Säubern Sie Glasflächen mit einem Blasepinsel. Staub und Flecken entfernen Sie mit einem sauberen, weichen Baumwolltuch oder Optik-Reinigungspapier, das Sie mit Ethanol (Alkohol) oder Optik-Reinigungsflüssigkeit anfeuchten. Wischen Sie in kreisförmigen Bewegungen von der Mitte nach außen, ohne dass Wischspuren zurückbleiben oder Sie andere Teile des Objektivs berühren.
- Verwenden Sie keinesfalls Verdünnung oder Benzin zur Reinigung des Objektivs, da dieses zu Beschädigungen führen, ein Feuer auslösen oder Gesundheitsschäden verursachen könnte.
- Zum Schutz der Vorderlinse sind Filter des Typs NC erhältlich. Die Gegenlichtblende ① wirkt als zusätzlicher Frontlinsenschutz.
- Beim Verstauen des Objektivs in seinem flexiblen Etui müssen vorderer und hinterer Deckel aufgesetzt sein. Das Objektiv lässt sich auch dann verstauen, wenn die Gegenlichtblende ① in der umgekehrten Position angebracht ist.
- Halten Sie die Kamera und das Objektiv nicht an der Gegenlichtblende ①, wenn das Objektiv an der Kamera angebracht ist.
- Bei längerer Nichtbenutzung sollte das Objektiv an einem kühlen, trockenen Ort aufbewahrt werden, um Schimmelbildung zu vermeiden. Halten Sie das Objektiv von direkter Sonneneinstrahlung oder Chemikalien wie Kampfer oder Naphthalin fern.
- Halten Sie das Objektiv von Wasser fern, das zur Korrosion und zu Betriebsstörungen führen kann.
- Einige Teile des Objektivs bestehen aus verstärktem Kunststoff. Lassen Sie das Objektiv deshalb nie an übermäßig heißen Orten liegen!

## Serienmäßiges Zubehör
- Aufsteckbarer 52-mm-Frontobjektivdeckel LC-52

## Sonderzubehör
- 52-mm-Einschraubfilter
- Objektivrückdeckel LF-1
- Objektivbeutel CL-0815
- Gegenlichtblende HB-45

## Nicht geeignetes Zubehör
- Telekonverter (alle Modelle)
- Auto-Ring BR-4 und alle Modelle von Auto-Zwischenring PK, K-Ring und Balgenvorsatz.
- Anschlussring SX-1

Auch anderes Zubehör ist möglicherweise für dieses Objektiv nicht geeignet. Lesen Sie sorgfältig die Bedienungsanleitungen zu Ihrem Zubehör.

De

## Technische Daten

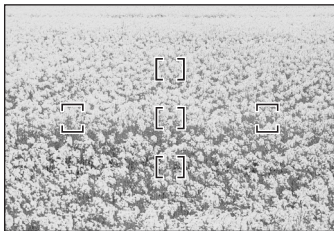
| | |
|---|---|
| Objektivtyp | AF-S DX Zoom-Nikkor-Objektiv Typ G mit integrierter CPU und Nikon-Bajonettfassung (speziell ausgelegt für den Gebrauch mit Nikon Digital-SLR-Kameras - Nikon DX-Format) |
| Brennweite | 18–55 mm |
| Maximale Blendenöffnung | f/3,5–5,6 |
| Objektivaufbau | 11 Elemente in 8 Linsengruppen (1 asphärisches Linsenelement) |
| Bildwinkel | 76º–28º50′ |
| Brennweitenskala | 18, 24, 35, 45, 55 mm |
| Entfernungsdaten | Werden an Kameras übertragen |
| Zoomen | Manuell über separaten Zoomring |
| Scharfeinstellung | Autofokus mittels Silent Wave Motor; manuell über separaten Einstellring |
| Bildstabilisator | Objektivverschiebung mit VCMs (Voice Coil Motors - Schwingspulenmotoren) |
| Kürzeste Aufnahmedistanz | 0,28 m bei allen Zoomeinstellungen |
| Blende | Irisblende mit 7 gerundeten Lamellen |
| Blendenart | Vollautomatisch |
| Blendenbereich | f/3,5 bis f/22 (bei 18 mm), f/5,6 bis f/36 (bei 55 mm) |
| Belichtungsmessung | Offenblendenmessung |
| Befestigungsgröße | 52 mm (P = 0,75 mm) |
| Abmessungen | ca. 73 mm (Durchm.) × 79,5 mm (zum Objektivmontageflansch der Kamera) |
| Gewicht | ca. 265 g |

*Änderungen von technischen Daten und Design durch den Hersteller ohne Ankündigung und ohne Verpflichtungen irgendeiner Art vorbehalten.*

## Hinweise zum Gebrauch von AF Nikkor-Weitwinkel- oder Super-Weitwinkelobjektiven

In den folgenden Fällen arbeitet der Autofokus bei der Aufnahme von Bildern mit AF Nikkor-Weitwinkel- oder Super-Weitwinkelobjektiven u.U. nicht erwartungsgemäß.

**E** Eine Person vor einem weit entfernten Hintergrund

**F** Eine Blumenwiese

### 1. Hauptmotiv in den Fokusklammern relativ klein

Beim Platzieren einer Person vor einem weit entfernten Hintergrund in den Fokusklammern, wie in Abb. E zu sehen, wird unter Umständen der Hintergrund scharf eingestellt, das eigentliche Motiv dagegen aber nicht.

### 2. Kleinteilig strukturierte Fläche oder Szene als Hauptmotiv

Bei Motiven mit kleinteiliger Strukturierung oder geringem Kontrast, zum Beispiel einer Blumenwiese wie in Abb. F zu sehen, ist eine Scharfeinstellung per Autofokus u.U. schwierig.

De

### Lösungsmöglichkeiten für solche Fälle

(1) Fokussieren Sie zunächst auf ein anderes Motiv im selben Abstand von der Kamera, wählen Sie dann bei Fokussperre erneut den Bildausschnitt und machen Sie so die Aufnahme.

(2) Oder stellen Sie den Fokussiermoduswähler an der Kamera auf M (manuell) und nehmen Sie die Scharfeinstellung des Motivs manuell vor.

Näheres zu diesem Thema finden Sie außerdem unter »Gute Ergebnisse mit dem Autofokus« in der Bedienungsanleitung zur Kamera.

# Remarques concernant une utilisation en toute sécurité

## ⚠ ATTENTION

### Ne pas démonter

Le fait de toucher aux pièces internes de l'appareil ou aux lentilles pourrait entraîner des blessures. Les réparations doivent être effectuées par des techniciens qualifiés. Si l'appareil ou l'objectif est cassé suite à une chute ou un autre accident, apportez le produit dans un centre de service agréé Nikon pour le faire vérifier après avoir débranché le produit et retiré les piles.

### En cas de dysfonctionnement, éteignez immédiatement

Si vous remarquez de la fumée ou une odeur inhabituelle se dégageant de l'appareil photo ou de l'objectif, retirez immédiatement les piles, en prenant soin de ne pas vous brûler. Continuer d'utiliser son matériel peut entraîner des blessures. Après avoir retiré ou débranché la source d'alimentation, confiez le produit à un centre de service agréé Nikon pour le faire vérifier.

### N'utilisez pas l'appareil photo ou l'objectif en présence de gaz inflammable

L'utilisation de matériel électronique en présence de gaz inflammable risquerait de provoquer une explosion ou un incendie.

### Ne regardez pas le soleil dans l'objectif ou le viseur

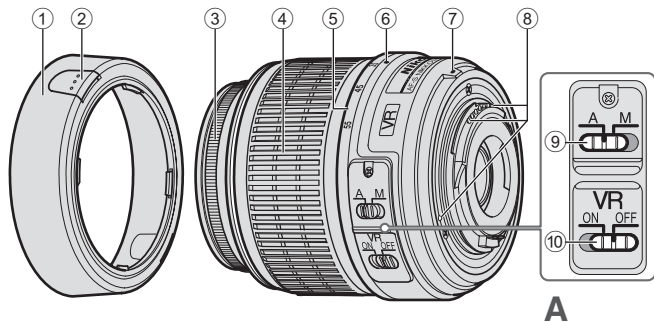
Regarder le soleil ou toute autre source lumineuse violente dans l'objectif ou le viseur peut provoquer de graves lésions oculaires irréversibles.

### Tenir hors de portée des enfants

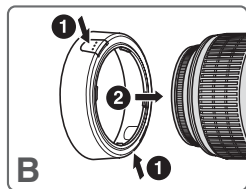
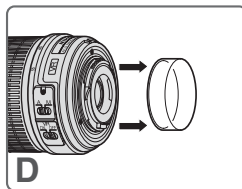
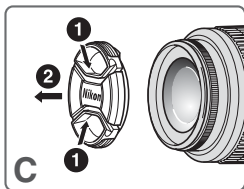
Faites extrêmement attention à ce que les enfants ne mettent pas à la bouche les piles ou d'autres petites pièces.

### Observez les précautions suivantes lorsque vous manipulez l'appareil et l'objectif

- Maintenez l'appareil et l'objectif au sec. Le non-respect de cette précaution peut provoquer un incendie ou une électrocution.
- Ne manipulez pas et ne touchez pas l'appareil photo ou l'objectif avec les mains humides. Le non-respect de cette précaution peut provoquer une électrocution.
- Lors d'une prise de vue à contre-jour, veillez à ce que le soleil se trouve hors du cadre. Sinon, la lumière du soleil risquerait de se concentrer dans le boîtier de l'objectif et de provoquer un incendie. Si la lumière du soleil ne se trouve pas dans le cadre, mais à proximité de celui-ci, le risque d'incendie est également présent.
- Lorsque vous n'utilisez pas l'objectif pendant une période prolongée, fixez les capuchons avant et arrière et rangez l'objectif à l'abri de la lumière directe du soleil. Le non-respect de cette précaution peut provoquer un incendie, car l'objectif peut concentrer la lumière du soleil sur un objet inflammable.

## Nomenclature

( ) : page de référence

① Parasoleil* (P. 30)
② Bouton de fixation du parasoleil (P. 30)
③ Bague de mise au point
④ Bague de zoom (P. 31)
⑤ Echelle de focale
⑥ Repère de enhelle de focale
⑦ Repère de montage (P. 30)
⑧ Contacts CPU (P. 33)
⑨ Commutateur de mode A-M (P. 31)
⑩ Commutateur ON/OFF de réduction des vibrations (P. 32)

Fr

*Optionnel

Merci d'avoir porté votre choix sur l'objectif AF-S DX NIKKOR 18-55 mm f/3,5-5,6G VR. Les objectifs DX Nikkor sont conçus spécialement pour une utilisation avec les SLR Nikon numériques (format Nikon DX ), tels que les séries D2 et D40. Lorsqu'il est monté sur des appareils au format Nikon DX, l'angle d'image de l'objectif est environ équivalent à 1,5× la focale au format 35 mm. Avant d'utiliser cet objectif, veuillez lire ces instructions et vous reporter au Manuel de l'utilisateur de l'appareil photo.

## Principales caractéristiques

- L'activation de la réduction des vibrations (VR) permet de prendre des photos à des vitesses d'obturation environ trois crans* plus lentes (à une focale de 55 mm) que lorsque cette fonction est désactivée, ce qui élargit la gamme d'options de vitesse d'obturation efficace et simplifie la prise de vue en tenant l'appareil à la main dans différentes positions de zoom. (*Selon les résultats obtenus dans les conditions de mesure Nikon. Les effets de la réduction des vibrations peuvent varier en fonction de l'individu et/ou des conditions de prise de vue.)
- Cet objectif utilise un moteur à ondes silencieux pour entraîner le mécanisme de mise au point, permettant un autofocus régulier, silencieux et presque instantané. Le commutateur de mode A-M ⑨ sert à sélectionner facilement les modes autofocus (A) et mise au point manuelle (M).
- Un contrôle d'exposition plus précis est possible, parce que l'information de distance au sujet est transférée de l'objectif au boîtier.
- L'utilisation d'un élément asphérique assure des images nettes virtuellement exemptes de frangeage couleur. Par ailleurs, l'emploi d'un diaphragme à sept lames produisant une ouverture quasi circulaire estompe agréablement les objets flous à l'avant ou à l'arrière du sujet.

Fr

## Fixation de l'objectif

1. Eteignez l'appareil photo.
2. Otez le capuchon d'objectif arrière (Fig. D).
3. En maintenant le repère de montage ⑦ de l'objectif aligné avec le repère de montage du boîtier, tournez l'objectif dans le sens inverse des aiguilles d'une montre jusqu'à ce qu'il se mette en place avec un déclic. Assurez-vous que le repère de montage ⑦ se trouve sur la partie supérieure.
4. Otez le capuchon d'objectif avant. (Fig. C)

## Démontage de l'objectif

Assurez-vous d'éteindre l'appareil photo avant d'ôter l'objectif. Appuyez sur le bouton de libération de l'objectif et maintenez-le enfoncé tout en tournant l'objectif dans le sens des aiguilles d'une montre.

## Utilisation du pare-soleil HB-45 ①* (Fig. B)

*****_Optionnel._

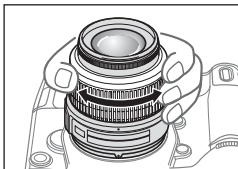
### Fixation du pare-soleil

Fixez le pare-soleil ② tout en appuyant sur les boutons de fixation du pare-soleil ①. Pour ranger l'objectif, fixez le pare-soleil ① à l'envers.

### Démontage du pare-soleil

Démontez le pare-soleil ② tout en maintenant les boutons de fixation du pare-soleil ①.

## Mise au point, cadrage au zoom et profondeur de champ

Avant de mettre au point, tournez la bague de zoom ④ pour régler la focale jusqu'à ce que la composition souhaitée soit cadrée dans le viseur.

Si votre appareil dispose d'un bouton ou d'un levier de prévisualisation du champ (ouverture réelle), vous pouvez prévisualiser la profondeur du champ à travers le viseur de l'appareil.

## Mise au point (Fig. A)

### Mode autofocus

Réglez le mode de mise au point de l'appareil sur AF-A, AF-S ou AF-C et le commutateur de mode A-M ⑨ de l'objectif sur [A]. L'appareil photo effectue automatiquement la mise au point (autofocus) lorsque le déclencheur est légèrement sollicité.

Veillez à ne pas toucher la bague de mise au point ③ lorsqu'elle tourne pendant le fonctionnement de l'autofocus.

### Mode de mise au point manuelle

Réglez le commutateur de mode A-M ⑨ de l'objectif sur [M]. Tournez manuellement la bague de mise au point ③ pour mettre au point. La prise de vue est possible lorsque le mode de mise au point de l'appareil est réglé soit sur AF soit sur M.

| Commutateur de mode A-M ⑨ de l'objectif | Mode de mise au point de l'appareil | |
|---|---|---|
| | AF-A/AF-S/AF-C | M |
| A | Autofocus | — |
| M | Mise au point manuelle (assistance à la mise au point disponible.) | |

Pour plus de détails concernant le mode de mise au point de l'appareil, reportez-vous au Manuel de l'utilisateur de l'appareil photo.

### Optimisation des résultats avec l'autofocus

Reportez-vous à la section « Remarques sur l'emploi des objectifs grand-angle ou super grand-angle AF Nikkor » (P. 35).

## Mode de réduction des vibrations (VR)

L'activation de la réduction des vibrations (VR) permet de prendre des photos à des vitesses d'obturation environ trois crans* plus lentes (à une focale de 55 mm) que lorsque cette fonction est désactivée. La fonction panoramique est également prise en charge. (*Selon les résultats obtenus dans les conditions de mesure Nikon. Les effets de la réduction des vibrations peuvent varier en fonction de l'individu et des conditions de prise de vue.)

### Activation et désactivation de la fonction de réduction des vibrations

1. Réglez le commutateur ON/OFF ⑩ de réduction des vibrations sur [ON].
   Remarque : Veillez à régler le commutateur ⑩ de sorte que l'indicateur soit aligné précisément sur [ON].
2. Le bougé de l'appareil est réduit lorsque le déclencheur est légèrement sollicité. La mise au point automatique ou manuelle, ainsi que le cadrage précis du sujet sont simplifiés, car le bougé de l'appareil visible dans le viseur est également réduit.
3. Pour désactiver la fonction de réduction des vibrations, réglez le commutateur ON/OFF ⑩ de réduction des vibrations sur [OFF].

### Remarques relatives à l'utilisation du mode de réduction des vibrations

- Sollicitez légèrement le déclencheur, puis attendez que l'image affichée dans le viseur se stabilise avant d'appuyer à fond sur le déclencheur.
- Si vous déplacez l'appareil photo en arc de cercle, la correction du bougé de l'appareil ne s'effectue pas dans le sens du panoramique. Par exemple, si vous tournez l'appareil photo horizontalement, seul le bougé vertical est réduit, ce qui simplifie la réalisation de panoramiques.
- En raison des caractéristiques du mécanisme de réduction des vibrations, l'image affichée dans le viseur peut être floue lorsque vous relâchez le déclencheur. Il ne s'agit pas d'un dysfonctionnement.
- N'éteignez pas l'appareil photo ou ne retirez pas l'objectif de l'appareil lorsque le mode de réduction des vibrations est actif. Si vous ne respectez pas cette consigne, l'objectif peut émettre un son et donner l'impression qu'un composant interne est détaché ou cassé. Il ne s'agit pas d'un dysfonctionnement. Allumez à nouveau l'appareil pour résoudre cet incident.
- Avec des appareils photo tels que les modèles des D300 et D40 ayant un flash intégré, la réduction des vibrations ne fonctionne pas lorsque ce dernier se recharge.
- Si l'appareil photo est monté sur un trépied, réglez le commutateur ON/OFF ⑩ de réduction des vibrations sur [OFF]. Cependant, réglez-le sur [ON] si vous utilisez un trépied sans fixer sa tête ou si vous utilisez un pied.
- Avec les appareils photo autofocus, tels que les modèles des séries D2 et D300, dotés d'un bouton de démarrage AF (AF-ON), la réduction des vibrations ne fonctionne pas, même si vous appuyez sur le bouton AF-ON.

## Réglage de l'ouverture

Utilisez l'appareil photo pour régler l'ouverture.

## Ouvertures maximales variables

Le fait de zoomer avec l'objectif de 18 mm à 55 mm diminue l'ouverture maximale de $1^1/3$ de valeur. Cependant, il n'est pas nécessaire d'ajuster l'ouverture pour obtenir une exposition correcte, car l'appareil compense automatiquement cette variable.

## Photographie au flash avec des appareils ayant un flash intégré

Le vignettage est l'assombrissement des coins de l'image qui se produit lorsque la lumière émise par le flash est retenue par le parasoleil ①, ou la monture de l'objectif en fonction de la focale ou de la distance de prise de vue.

- Pour éviter le vignettage, n'utilisez pas le parasoleil ①.
- Il n'est pas possible de prendre des photos à des distances inférieures à 0,6 m en utilisant le flash intégré de l'appareil.

| Boîtiers SLR numériques | Focale/distance de prise de vue prises en charge |
|---|---|
| D300, D200, D100, D80, séries D70, D60, D50, séries D40 | Aucun vignettage ne se produit quelle que soit la focale |

Les flashs intégrés des D100 et D70 prennent en charge les focales de 20 mm et plus.

Le vignettage se produit à une focale de 18 mm.

## Soin de l'objectif

- Veiller à ne pas salir ni endommager les contacts CPU ⑧.
- Nettoyer la surface de l'objectif avec un pinceau soufflant. Pour enlever les poussières ou les traces, utiliser de préférence un tissu de coton doux, ou un tissu optique, légèrement humidifié avec de l'alcool éthylique (éthanol). Essuyer en mouvement circulaire partant du centre.
- Ne jamais employer de solvant ou de benzènes susceptibles d'endommager l'objectif, de prendre feu ou de nuire à la santé.
- Des filtres NC sont disponibles pour protéger la lentille de l'objectif avant. Le pare-soleil ① assure également une bonne protection contre les chocs.
- Lorsque vous rangez l'objectif dans son sac souple, fixez les deux capuchons avant et arrière de l'objectif. L'objectif peut aussi être rangé lorsque le pare-soleil ① est fixé en position inversée.
- Lorsque l'objectif est installé sur un appareil photo, ne saisissez et ne tenez pas l'appareil photo ainsi que l'objectif par le pare-soleil ①.
- En cas d'inutilisation pour une période prolongée, entreposez le matériel dans un endroit frais, sec et aéré pour éviter les moisissures. Veillez à tenir le matériel éloigné des sources de lumière, et des produits chimiques (camphre, naphtaline, etc.).
- Eviter les projections d'eau ainsi que l'immersion, qui peuvent provoquer la rouille et des dommages irréparables.
- Divers matériaux de synthèse sont utilisés dans la fabrication. Pour éviter tout problème, ne pas soumettre l'objectif à de fortes chaleurs.

## Accessoires fournis

- Bouchon avant d'objectif diamètre 52 mm LC-52

## Accessoires en option

- Filtres à visser 52 mm
- Bouchon arrière LF-1
- Sac souple pour objectif CL-0815
- Pare-soleil HB-45

## Accessoires incompatibles

- Téléconvertisseur (tous les modèles)
- La bague auto BR-4 et tous les modèles de bague d'auto-rallonge PK, les bagues K et les accessoires de mise au point soufflet.
- Bague de fixation SX-1

L'emploi d'autres accessoires peut ne pas être adapté avec cet objectif. Lisez attentivement le manuel d'utilisation de votre accessoire pour les détails.

Fr

## Caractéristiques

| | |
|---|---|
| Type d'objectif | Zoom-Nikkor DX AF-S de type G avec CPU et monture baïonnette Nikon (Spécialement conçus pour être utilisés sur des SLR Nikon numériques au format Nikon DX) |
| Focale | 18 mm–55 mm |
| Ouverture maximale | f/3,5–5,6 |
| Construction optique | 11 éléments en 8 groupes (1 lentille asphérique) |
| Champ angulaire | 76º–28º50′ |
| Focales | 18, 24, 35, 45, 55 mm |
| Informations sur la distance | A l'appareil |
| Zooming | Manuel avec bague de zoom séparée |
| Mise au point | Autofocus utilisant un moteur à ondes silencieux par bague de mise au point séparée |
| Réduction des vibrations | Méthode de décalage de l'objectif utilisant des moteurs à bobine acoustique (VCM) |
| Distance de mise au point minimale | 0,28 m à tous les réglages zoom |
| Nb. de lamelles du diaphragme | 7 (circulaires) |
| Diaphragme | Entièrement automatique |
| Plage des ouvertures | f/3,5 à f/22 (à 18 mm), f/5,6 à f/36 (à 55 mm) |
| Mesure de l'exposition | Par la méthode à pleine ouverture |
| Taille des accessoires | 52 mm (P = 0,75 mm) |
| Dimensions | Environ 73 mm (dia.) × 79,5 mm (rallonge de la bride de montage d'objectif de l'appareil) |
| Poids | Environ 265 g |

*Les caractéristiques et la conception sont susceptibles d'être modifiés sans préavis ni obligation de la part du constructeur.*

## Remarques sur l’emploi des objectifs grand-angle ou super grand-angle AF Nikkor

Dans les situations suivantes, la mise au point automatique peut ne pas fonctionner correctement lors de la prise de vue avec des objectifs grand-angle ou super grand-angle Nikkor.

**E** Une personne debout sur un fond éloigné

**F** Un champ couvert de fleurs

**1. Quand le sujet principal dans les repères de mise au point est relativement petit**

Quand une personne debout sur un fond éloigné est placée dans les repères de mise au point, comme indiqué à la Fig. E, le fond peut être net, alors que le sujet est flou.

**2. Quand le sujet principal est une scène ou un sujet possédant des motifs précis**

Quand le sujet a des motifs précis ou est à faible contraste par exemple un champ couvert de fleurs, comme indiqué sur la Fig. F, la mise au point automatique peut être difficile à obtenir.

### Solutions face à ces types de situations

(1) Mettez au point sur un autre sujet équidistant de l’appareil, appliquez la mémorisation de la mise au point, recomposez et déclenchez.

(2) Réglez le sélecteur de mode de mise au point de l’appareil sur M (manuel) et mettez au point manuellement sur le sujet.

Reportez-vous à la section « Optimisation des résultats avec l’autofocus » du manuel d’utilisation de l’appareil photo.

# Notas sobre un uso seguro

## ⚠ PRECAUCIÓN

### No desarme el equipo

El contacto con las piezas internas de la cámara o del objetivo puede provocar lesiones. Las reparaciones solamente deben ser ejecutadas por técnicos cualificados. Si a causa de un golpe u otro tipo de accidente la cámara o el objetivo se rompen y quedan abiertos, desenchufe el producto y/o retire la batería, y a continuación lleve el producto a un centro de servicio técnico autorizado Nikon para su revisión.

### Apague inmediatamente el equipo en caso de funcionamiento defectuoso

Si observa que sale humo o que la cámara o el objetivo desprenden un olor extraño, retire la batería inmediatamente, con cuidado de no quemarse. Si sigue utilizando el equipo corre el riesgo de sufrir lesiones. Después que haya retirado o desconectado la fuente de alimentación, lleve el producto a un centro de servicio técnico autorizado Nikon para su revisión.

### No utilice la cámara ni el objetivo en presencia de gas inflamable

La utilización de equipos electrónicos en presencia de gas inflamable podría producir una explosión o un incendio.

### No mire hacia el sol a través del objetivo ni del visor

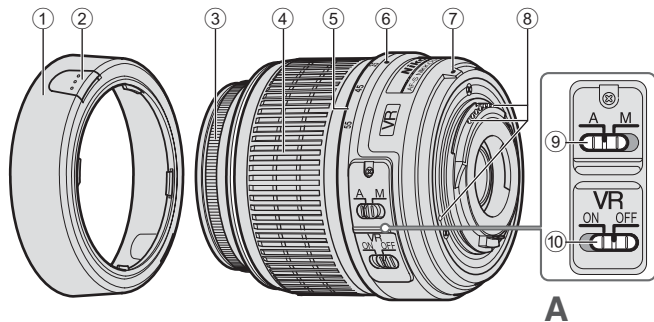
Mirar hacia el sol u otra fuente de luz potente a través del objetivo o del visor podría producirle daños permanentes en la vista.

### Mantener fuera del alcance de los niños

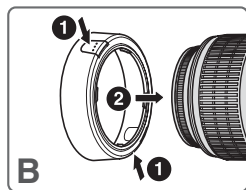
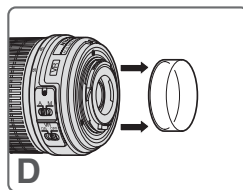
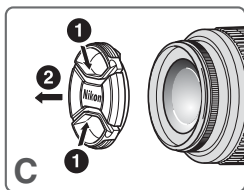
Se debe tener especial cuidado en evitar que los niños se metan en la boca pilas u otras piezas pequeñas.

### Adopte las siguientes precauciones al manipular la cámara y el objetivo

- Mantenga la cámara y el objetivo secos. De no hacer esto podría producirse un incendio o una descarga eléctrica.
- No manipule ni toque la cámara ni el objetivo con las manos húmedas. De lo contrario podría recibir una descarga eléctrica.
- En disparos a contraluz, mantenga el sol alejado del encuadre. La luz solar podría enfocarse en el objetivo y provocar un incendio. Aunque la luz solar no vaya directamente al encuadre, podría producirse un incendio si se encuentra cerca del mismo.
- Cuando el objetivo no vaya a utilizarse por un período de tiempo prolongado, colóquele las tapas frontal y guárdelo alejado de la luz solar directa. De no hacer esto podría producirse un incendio, ya que el objetivo podría enfocar la luz solar directa sobre un objeto inflamable.

## Nomenclatura

( ): página de referencia

① Visera del objetivo* (P. 38)
② Botón de instalación de la visera del objetivo (P. 38)
③ Anillo de enfoque
④ Anillo de zoom (P. 39)
⑤ Escala de distancias focales
⑥ Indicador de escala de distancias focales
⑦ Indice de montaje (P. 38)
⑧ Contactos CPU (P. 41)
⑨ Interruptor de modo A-M(P. 39)
⑩ Interruptor ON/OFF de reducción de vibración (P. 40)

Es

*Opcional

Gracias por adquirir la 18-55 mm f/3,5-5,6G VR AF-S DX NIKKOR. Los objetivos DX Nikkor están diseñados especialmente para utilizarse con las cámaras Nikon SLR digitales (formatoNikon DX ), como las de la serie D2 y D40. Cuando se instala en cámaras con formato Nikon DX, el ángulo de imagen del objetivo es equivalente a aproximadamente 1,5× de la distancia focal en formato de 35 mm. Antes de utilizar este objetivo, lea estas instrucciones y consulte la Manual del Usuario de su cámara.

## Principales funciones

- La reducción de la vibración (VR) permite disparar a velocidades de obturación de aproximadamente tres paradas* más lentas (con una distancia focal de 55 mm) que cuando la reducción de vibración está desactivada, ampliando así el abanico de opciones de velocidad de obturación y simplificando el disparo en mano con diversas posiciones del zoom. (*En base a los resultados conseguidos bajo condiciones de medición Nikon. Los efectos de la reducción de vibración pueden variar según el individuo y/o las condiciones de disparo).
- Este objetivo utiliza un motor Silent Wave para accionar el mecanismo de enfoque, en consecuencia, el enfoque automático es suave, silencioso y prácticamente instantáneo. El interruptor de modo A-M ⑨ ofrece una selección sencilla del funcionamiento del enfoque automático (A) o el enfoque manual (M).
- Es posible un control de exposición más preciso porque la información de distancia del sujeto se transfiere del objetivo a la cámara.
- El uso de una lente asférica garantiza que las imágenes sean nítidas y prácticamente sin mezcla de colores. Además, con el uso de un diafragma de siete hojas que produce una abertura casi circular, los objetos fuera de enfoque delante o detrás del sujeto aparecen más borrosos para crear un hermoso efecto de esfumado.

## Instalación del objetivo

1. Apague la cámara.
2. Retire la tapa trasera del objetivo (Fig. D).
3. Manteniendo el índice de montaje ⑦ del objetivo alineado con la marca de montaje en la cámara, gire el objetivo en sentido contrario al de las agujas del reloj hasta que quede fijo con un chasquido. Asegúrese de que el índice de montaje ⑦ está en la parte más alta.
4. Retire la tapa frontal del objetivo. (Fig. C)

## Desmontaje del objetivo

Asegúrese de apagar la cámara antes de desmontar el objetivo. Presione y mantenga presionado el botón de liberación del objetivo a la vez que hace girar el objetivo en el sentido de las agujas del reloj para desacoplarlo.

### Utilización de la visera del objetivo HB-45 ①* (Fig. B)

**Opcional.*

### Instalación de la visera

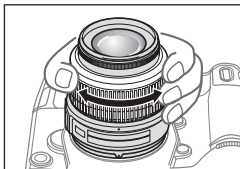
Presione los botones de instalación de la visera del objetivo ② para instalar la visera del objetivo ①. Para guardar la visera del objetivo ①, instálela en la posición inversa.

### Desmontaje de la visera

Presione los botones de instalación de la visera del objetivo ② para separar la visera del objetivo ①.

Es

## Enfoque, zoom y profundidad de campo

Antes de enfocar, gire el anillo del zoom ④ para ajustar la distancia focal hasta que la composición deseada quede encuadrada en el visor. Si la cámara dispone de una palanca o un botón de vista previa de profundidad de campo (cierre de iris), la profundidad de campo puede observarse mientras se mira a través del visor de la cámara.

## Enfoque (Fig. A)

### Modo de enfoque automático

Ajuste el modo de enfoque de la cámara a AF-A, AF-S o AF-C y ajuste el interruptor del modo A-M del objetivo ⑨ a [A]. La cámara enfoca automáticamente (enfoque automático) cuando se pulsa el disparador a medio recorrido.

Tenga cuidado de no tocar el anillo de enfoque ③ mientras el mismo esté girando durante la operación de enfoque automático.

### Modo de enfoque manual

Ajuste el interruptor de modo de enfoque A-M del objetivo ⑨ a [M]. Gire manualmente el anillo de enfoque ③ para enfocar. El fotografiado es posible cuando el modo de enfoque de la cámara está ajustado en AF o M.

| Interruptor del modo A-M del objetivo ⑨ | Modo de enfoque de la cámara | |
|---|---|---|
| | AF-A/AF-S/AF-C | M |
| A | Enfoque automático | — |
| M | Enfoque manual (ayuda de enfoque está disponible) | |

Para más detalles sobre el modo de en enfoque de la cámara, consulte la Manual del Usuario de su cámara.

Es

### Cómo obtener buenos resultados con el autofoco

Consulte “Notas sobre el uso de objetivos AF Nikkor de gran o súper-gran angular” (P. 43).

## Modo de reducción de la vibración (VR)

La activación de la reducción de la vibración (VR) permite disparar a velocidades de obturación de aproximadamente tres paradas* más lentas (con una distancia focal de 55mm) que cuando la reducción de vibración está desactivada. También es posible realizar barridos. (*En base a los resultados conseguidos bajo condiciones de medición Nikon. Los efectos de la reducción de vibración pueden variar dependiendo del individuo y las condiciones de disparo.)

### Activar y desactivar la reducción de la vibración

1. Ajuste el interruptor ON/OFF de reducción de vibración ⑩ en [ON].
   Nota: Asegúrese de ajustar el interruptor ⑩ de forma que el indicador quede alineado con precisión en [ON].
2. Las sacudidas de la cámara se reducen cuando se pulsa el disparador a medio recorrido. El enfoque automático y manual, así como el encuadre preciso del sujeto se ven simplificados gracias a que también se reducen las sacudidas de la cámara visibles a través del visor.
3. Para desactivar la reducción de la vibración, ajuste el interruptor de reducción de la vibración ON/OFF ⑩ a [OFF].

### Notas sobre el uso de la reducción de vibración

- Tras pulsar el disparador a medio recorrido, espere a que se estabilice la imagen que aparece en el visor antes de pulsar por completo el disparador.
- Si la cámara realiza un barrido formando un arco amplio, no se realiza compensación para las sacudidas de la cámara en la dirección del barrido. Por ejemplo, con el barrido horizontal sólo se reducen las sacudidas de la cámara en sentido vertical, facilitando así los barridos suaves.
- Debido a las características del mecanismo de reducción de la vibración, la imagen del visor puede aparecer borrosa después de soltar el disparador. No se trata de un mal funcionamiento.
- No apague la cámara ni retire el objetivo de la cámara mientras esté activado el modo de reducción de la vibración. Si no se adopta esta medida, podría producirse un sonido y tacto en el objetivo similar a cuando un componente interno está suelto o roto al moverse. No se trata de un mal funcionamiento. Vuelva a encender la cámara para corregirlo.
- Con cámaras como las de la D300 y D40 con flash incorporado, la reducción de la vibración no funciona cuando se está cargando el flash incorporado.
- Cuando la cámara esté montada en un trípode, ajuste el interruptor ON/OFF de reducción de vibración ⑩ en [OFF]. Sin embargo, ajuste el interruptor en [ON] cuando utilice un trípode sin asegurar el cabezal del mismo, o cuando utilice un monopod.
- Con cámaras de enfoque automático tales como los modelos de la serie D2 y D300 que cuentan con un botón AF de inicio (AF-ON), la reducción de la vibración no funciona ni cuando se pulsa el botón AF-ON.

## Ajuste de la abertura

Utilice la cámara para ajustar el diafragma.

## Aberturas variables máximas

Al hacer zoom con el objetivo desde 18 mm hasta 55mm se reduce la abertura máxima en 1 1/3 parada. Sin embargo, no es necesario ajustar la abertura para conseguir exposiciones correctas porque la cámara compensa automáticamente esta variable.

## Fotografía con flash utilizando cámaras con flash incorporado

El viñeteado es el oscurecimiento de las esquinas alrededor de la imagen que ocurre cuando la luz emitida por el flash es obstruida por la visera del objetivo ①, o el cilindro del objetivo, dependiendo de la distancia focal o de la distancia de disparo.

- Para evitar el viñeteado, no use la visera del objetivo ①.
- No es posible fotografiar a distancias menores de 0,6 m usando el flash incorporado de la cámara.

| Cámaras SLR digitales | Distancia focal / distancia de disparo admitidas |
|---|---|
| D300, D200, D100, D80, serie D70, D60, D50, serie D40 | No ocurre viñeteado a ninguna distancia focal |

El flash incorporado D100 y D70 admite distancias focales de 20 mm o más.

Con una distancia focal de 18 mm produse viñeteado.

## Forma de cuidar el objetivo

- Tener cuidado de no manchar o dañar los contactos de la CPU ⑧.
- Limpiar la superficie del objetivo con un cepillo soplador. Para eliminar la suciedad o las huellas, utilizar un trapo de algodón suave y limpio o papel especial para objetivos humedecido en etanol (alcohol) o limpiador de objetivos. Limpiar describiendo un movimiento circular del centro hacia fuera, teniendo cuidado de no dejar restos ni tocar otras partes del objetivo.
- No usar en ningún caso disolvente ni benceno para limpiar el objetivo ya que podría provocar daños, un incendio o daños a la salud.
- Se dispone de filtros NC para proteger la parte frontal del objetivo. También una visera del objetivo ① contribuirá a proteger la parte frontal del objetivo.
- Al guardar el objetivo en su bolsa flexible, coloque las tapas delantera y trasera de objetivo. El objetivo también puede guardarse cuando la visera del objetivo ① está acoplada en la posición inversa.
- Cuando el objetivo esté montado en una cámara, no sostenga ni levante la cámara y el objetivo por la visera del objetivo ①.
- Cuando no se vaya a utilizar el objetivo durante largo tiempo, guardarlo en un lugar fresco y seco para evitar la formación de moho. Asegúrese de guardar el objetivo, además, lejos de la luz solar directa o de productos químicos tales como alcanfor o naftalina.
- No mojar el objetivo ni dejarlo caer al agua, ya que se oxidaría y no funcionaría bien.
- Algunas partes del objetivo son de plástico reforzado. Para evitar daños, no dejarlo nunca en un lugar excesivamente caliente.

## Accesorios estándar

- Tapa frontal de presión a 52 mm LC-52

## Accesorios opcionales

- Filtros roscados de 52 mm
- Tapa trasera de objetivo LF-1
- Bolsa de objetivo flexible CL-0815
- Visera del objetivo HB-45

## Accesorios incompatibles

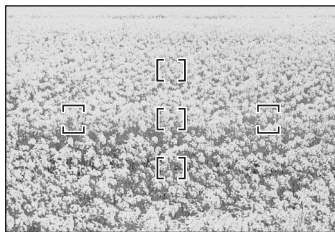
- Teleconvertidores (todos los modelos)
- Anillo auto BR-4 y todos los modelos de anillo de autoextensión PK, anilloK y accesorios de enfoque de fuelle.
- Anillo de fijación SX-1

Hay otros accesorios que pueden ser inadecuados para utilizar con este objetivo. Para más detalles, consulte el Manual del usuario que acompaña a los accesorios.

Es

## Especificaciones

| | |
|---|---|
| Tipo de objetivo | Objetivo AF-S DX Zoom-Nikkor tipo G con CPU incorporada y montaje de bayoneta Nikon (Diseñado especialmente para utilizarse con cámaras digitales SLR de NIKON- cámaras con formato Nikon DX) |
| Distancia focal | 18 mm–55 mm |
| Abertura máxima | f/3,5–5,6 |
| Estructura del objetivo | 11 lentes en 8 grupos (1 lente asférica) |
| Angulo de imagen | 76º–28º50′ |
| Escala de distancias focales | 18, 24, 35, 45, 55 Smm |
| Información de distancia | Salida al cuerpo de la cámara |
| Zoom | Manual mediante anillo de zoom independiente |
| Enfoque | Enfoque automático utilizando un motor Silent Wave; manualmente mediante un anillo de enfoque separado |
| Reducción de vibraciones | Método de desplazamiento del objetivo mediante motores de bobina de voz (VCM) |
| Distancia de enfoque más cercana | 0,28 m en todos los ajustes del zoom |
| Nº de láminas del diafragma | 7 piezas (redondeadas) |
| Diafragma | Totalmente automático |
| Gama de aperturas | f/3,5 hasta f/22 (a 18 mm), f/5,6 hasta f/36 (a 55 mm) |
| Medición de la exposición | Por el método de plena abertura |
| Tamaño de accesorios | 52 mm (P = 0,75 mm) |
| Dimensiones | Aproximadamente 73 mm (diá.) × 79,5 mm (alargue de la brida de la montura del objetivo de la cámara) |
| Peso | Aproximadamente 265 g |

*Las especificaciones y los diseños están sujetos a cambio sin previo aviso ni obligación por parte del fabricante.*

## Notas sobre el uso de objetivos AF Nikkor de gran o súper-gran angular

En las siguientes situaciones, el enfoque automático pudiera no funcionar de la forma esperada cuando se tomen fotografías usando objetivos AF Nikkor de gran o súper-gran angular.

**E** Una persona se encuentra delante de un fondo distante

**F** Un campo lleno de flores

**1. Cuando el sujeto en los corchetes de enfoque es relativamente pequeño**

Cuando se coloca dentro de los corchetes de enfoque a una persona que se encuentra delante de un fondo distante, como se muestra en la Fig. E, puede suceder que el fondo esté enfocado, pero que el sujeto quede fuera de enfoque.

**2. Cuando el sujeto principal es una escena o sujeto muy preciso con patrones repetidos**

Cuando el sujeto tiene patrones muy precisos o tiene poco contraste, como un campo cubierto de flores, como se muestra en la Fig. F, el enfoque automático pudiera ser difícil de obtener.

### Respuestas a estos tipos de situaciones

(1) Enfoque un sujeto diferente situado a la misma distancia respecto a la cámara, aplique el bloqueo del enfoque, recomponga, y haga la toma.

(2) Ajuste el selector de modo de enfoque de la cámara en M (manual) y enfoque el sujeto manualmente.

Consulte “Cómo obtener buenos resultados con el autofoco” en el Manual del usuario de la cámara.

# Att notera för en säker hantering

## ⚠ SE UPP!

### Montera inte isär kameran

Om du rör vid delarna inne i kameran eller objektivet kan du skada dig. Reparationer ska endast utföras av kvalificerade tekniker. Om kameran eller objektivet skulle brytas upp efter att de tappats i marken eller stötts till, ska du efter att den kopplats bort från nätströmmen och/eller batteriet lossats, lämna in produkten till ett auktoriserat Nikon-servicecenter för inspektion.

### Stäng genast av kameran om den slutar att fungera korrekt

Om det kommer rök eller någon ovanlig lukt från kameran eller objektivet ska du genast ta bort batteriet. Var försiktig så att du inte bränner dig. Fortsatt användning kan medföra personskada.
När du har avlägsnat eller kopplat bort strömkällan bör du ta utrustningen till ett auktoriserat Nikon-servicecenter för kontroll.

### Använd inte kameran eller objektivet i närheten av lättantändlig gas

Hantering av elektrisk utrustning i närheten av lättantändlig gas kan resultera i explosion eller brand.

### Titta inte in i solen genom objektivet eller sökaren

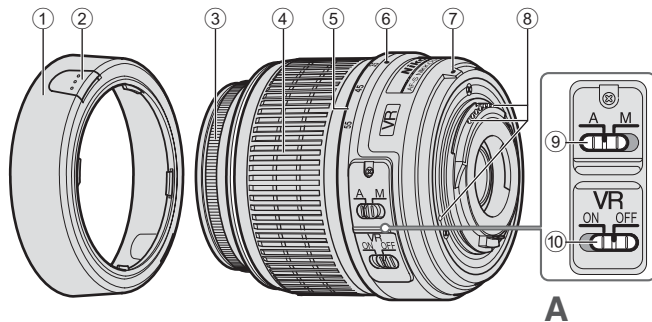
Om du tittar in i solen eller någon annan stark ljuskälla genom objektivet eller sökaren kan ögonen skadas permanent.

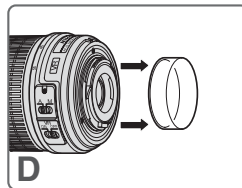
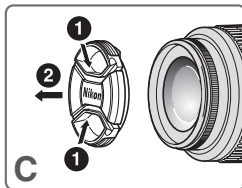
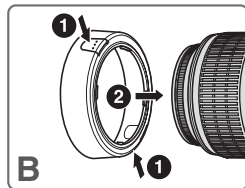
### Förvara utom räckhåll för barn

Var försiktig och förvara produkten utom räckhåll för barn så att de inte stoppar batterier eller andra smådelar i munnen.

### Observera följande försiktighetsåtgärder när du hanterar kameran och objektivet

- Håll kameran eller objektivet torra. Underlåtenhet att följa denna anvisning kan resultera i brand eller elektrisk stöt.
- Hantera eller rör inte kameran eller linsen med våta händer. Underlåtenhet att följa dessa anvisningar kan resultera i elektrisk stöt.
- Vid fotografering i motljus måste solen hållas på behörigt avstånd från motivet. Solljuset kan fokuseras in i objektivhuset och orsaka en brand. Solljus som inte skiner direkt på motivet utan i närheten av det, kan också orsaka brand.
- När objektivet inte ska användas under en längre tidsperiod ska både främre och bakre objektivlock sättas fast och objektivet placeras på en plats skyddat mot direkt solljus. Underlåtenhet att följa denna anvisning kan orsaka brand, eftersom objektivet kan fokusera solljuset mot ett lättantändligt objekt.

# Nomenklatur

① Linsskydd* (S. 46)
② Knapp för montering av linsskydd (S. 46)
③ Fokusring
④ Zoomring (S. 47)
⑤ Brännviddsskala
⑥ Indikator för brännviddsskala
⑦ Monteringsindikator (S. 46)
⑧ CPU-kontakter (S. 49)
⑨ A-M-lägesbrytare (S. 47)
⑩ Brytare för vibrationsreducering ON/OFF (S. 48)

Se

*Tillbehör

Tack för att du valt AF-S DX NIKKOR 18-55 mm f/3,5-5,6G VR. DX Nikkor-objektiv är speciellt konstruerade för att användas tillsammans med Nikon-kameror SLR (Nikon DX-digitalformat) som exempelvis D2-serien och D40-serien. När objektet sitter monterat på kameror i Nikon DX-format, motsvarar objektivets bildvinkel ungefär 1,5× brännvidden i 35 mm format. Innan detta objektiv används bör du läsa dessa instruktioner och din kameras Användarhandbok.

## Huvudfunktioner

- Om man aktiverar vibrationsreducering (VR) kan man fotografera med slutartider som är ungefär tre stopp* längre (vid brännvidden 55 mm) än utan vibrationsreducering, vilket utökar antalet effektiva slutartidsalternativ och förenklar fotografering utan stativ i en mängd olika zoomlägen. (*Baserat på resultat under Nikons mätningsförhållanden. Vibrationsreduceringens effekt kan variera mellan olika kameror och/eller fotograferingsförhållanden).
- Detta objektiv använder en Silent Wave Motor för drivning av fokuseringsmekanismen, vilket gör autofokuseringen smidig, tyst och nästan omedelbar. A-M-lägesbrytaren ⑨ finns tillgänglig för att du lätt skall kunna välja autofokusering (A) eller manuell fokusering (M).
- En noggrannare exponeringskontroll blir möjlig eftersom information om avståndet till motivet överförs från objektivet till kamerahuset.
- Ett asfäriskt linselement garanterar skarpa bilder som i stort sett är helt fria från kantfärgning. Genom att använda en 7-lamells irisbländare som skapar en nästan cirkulär öppning, återges bilder utanför fokus framför eller bakom motivet som behagligt suddiga.

Se

## Montering av objektivet

1. **Stäng av kameran.**
2. **Ta bort det bakre objektivlocket (bild D).**
3. **Placera monteringsindikatorn ⑦ på objektivet i linje med monteringsmarkeringen på kamerahuset, vrid objektivet moturs tills det klickar på plats. Se till att monteringsindikatorn ⑦ sitter på ovansidan.**
4. **Ta bort det främre objektivlocket (bild C).**

## Demontering av objektivet

Se till att kameran är avstängd när objektivet demonteras. Håll knappen för lossning av objektivet intryckt samtidigt som du vrider objektivet medurs.

## Använda linsskydd HB-45 ①* (bild B)

**Tillbehör.*

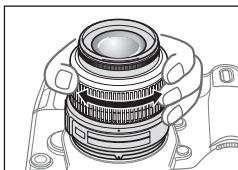
### Montera skyddet

Håll knapparna för montering av objektivskyddet ② intryckta när linsskyddet monteras ①. Montera linsskyddet i omvänt läge ① när det ska förvaras.

### Demontering av skyddet

Håll knapparna för montering av linsskyddet ② intryckta när linsskyddet demonteras ①.

## Fokusering, zoomning och skärpedjup

Vrid på zoomringen ④ innan du fokuserar, för att ändra brännvidden tills du uppnått den önskade bilden i sökaren. Om din kamera är utrustad med en knapp eller ett reglage för förhandsgranskning av skärpedjupet (blända ner), kan man se skärpedjupet i kamerans sökare.

## Fokusering (bild A)

### Autofokusläge

Ställ in kamerans fokusläge på AF-A, AF-S eller AF-C och ställ in A-M-lägesbrytaren ⑨ på objektivet till [A]. Kameran fokuserar automatiskt (autofokus) när du trycker ner avtryckaren halvvägs.

Var försiktig så att du inte vidrör fokusringen ③ när den roterar under pågående autofokusering.

### Manuellt fokusläge

Ställ in objektivets A-M-lägesbrytare ⑨ på [M]. Vrid fokusringen ③ manuellt för att fokusera. Fotografering är möjlig när kamerans fokusläge är inställt på AF eller M.

| Objektivets A-M-lägesbrytare ⑨ | Kamerans fokusläge | |
|---|---|---|
| | AF-A/AF-S/AF-C | M |
| A | Autofokus | — |
| M | Manuell fokusering (fokushjälp finns tillgänglig) | |

Mer information om kamerans fokuslägen finns i kamerans Användarhandbok.

### Så får du bra bilder med autofokus

Läs "Att notera om användning av vidvinkel- eller supervidvinkelobjektiv av typen AF Nikkor" (S. 51).

Se

# Läget för vibrationsreducering (VR)

Om man aktiverar vibrationsreducering (VR) kan man fotografera med slutartider som är ungefär tre stopp* längre (vid brännvidden 55 mm) än utan vibrationsreducering. Panorering kan också utföras. (*Baserat på resultat under Nikon:s mätningsförhållanden. Vibrationsreduceringens effekt kan variera mellan olika kameror och fotograferingsförhållanden.)

## Slå på och stänga av vibrationsreduceringen

**1** Ställ in brytaren för vibrationsreducering (ON/OFF) ⑩ på [ON].
OBS! Var noga med att ställa in brytaren ⑩ så att indikatorn befinner sig exakt i linje med [ON].

**2** Vibrationerna reduceras när avtryckaren trycks ned halvvägs. Autofokusering och manuell fokusering samt en exakt komponering av motivet förenklas eftersom vibrationerna som syns i sökaren också reduceras.

**3** Ställ in vibrationsreduceringens ON/OFF-brytare ⑩ på [OFF] för att avaktivera vibrationsreduceringen.

Se

## Att notera om vibrationsreducering

- Tryck först ned avtryckaren halvvägs och vänta sedan tills bilden i sökaren stabiliseras innan du trycker ned avtryckaren helt.
- Om du flyttar kameran i en vid båge när du panorerar, kompenserar den inte för vibrationer i panoreringsriktningen. Om du exempelvis panorerar kameran horisontellt reduceras enbart vibrationer i den vertikala riktningen, vilket gör det enklare att skapa mjuka panoreringar.
- På grund av vibrationsreduceringens mekaniska egenskaper kan bilden i sökaren bli suddig efter att avtryckaren släppts. Detta är inte något fel.
- Stäng inte av kameran och lossa inte objektivet från kameran när vibrationsreduceringen är aktiverad. Om detta inte efterföljs kan det låta och kännas som en invändig del är lös eller trasig i objektivet när du skakar på det. Detta är inte något fel. Starta kameran igen för att korrigera detta.
- För kameror som D300 och D40-seriens modeller, som har inbyggd blixt, fungerar inte vibrationsreduceringen under tiden den inbyggda blixten laddas.
- När kameran är monterad på ett stativ ska vibrationsreduceringens ON/OFF-brytare ⑩ ställas in på [OFF]. Ställ dock brytaren på [ON] när ett stativ används utan att stativhuvudet låses, eller när ett monostativ används.
- För kameror med autofokusering som exempelvis modellerna D2-serien och D300 som har en AF startknapp (AF-ON) fungerar inte vibrationsreducering även om du trycker in knappen AF-ON.

# Ställa in bländaren

Använd kameran för att justera bländarinställningen.

# Variabel maximal bländare

Om man zoomar objektivet från 18 mm till 55 mm minskas den maximala bländaren med 1 1/3 stopp. Det finns dock inget behov av att justera bländaren för att få korrekt exponering, eftersom kameran kompenserar för denna variation automatiskt.

## Blixtfotografering med kameror som har inbyggd blixt

Vinjettering är de mörka hörn som dyker upp runt bilden när ljuset som blixten sänder ut hindras av linsskyddet ① eller objektivhuset, beroende på brännvidden eller fotograferingsavståndet.

- Använd inte linsskyddet om du vill undvika vinjettering ①.
- Det går inte att fotografera på kortare avstånd än 0,6 m med kamerans inbyggda blixt.

| SLR-digitalkameror | Användbar brännvidd/ fotograferingsavstånd |
| --- | --- |
| D300, D200, D100, D80, D70-serien, D60, D50, D40-serien | Ingen vinjettering uppstår vid någon brännvidd |

Den inbyggda blixten på modellerna D100 och D70 stödjer en brännvidd på 20 mm eller mer. Vinjettering uppstår vid brännvidden 18 mm.

## Vård av objektivet

- Var försiktig så att inte CPU-kontakterna ⑧ smutsas ned eller skadas.
- Rengör objektivets ytor med en blåsborste. Använd en mjuk, ren bomullsduk eller linsduk fuktad med etanol (alkohol) eller linsrengöringsmedel, för att ta bort smuts och fettfläckar. Torka i en cirkulär rörelse från mitten och utåt. Lämna inte kvar några spår av rengöringsmedlet och rör inga andra delar av objektivet.
- Använd aldrig thinner eller bensen för rengöring av linsen, eftersom det kan skada den och orsaka brand eller hälsoproblem.
- Det finns NC-filter som skyddar den främre linsen. Linsskyddet ① hjälper också till att skydda den främre linsen.
- När objektivet förvaras i sin flexibla objektivpåse ska både främre och bakre linsskydd vara monterade. Objektivet kan även förvaras med linsskyddet ① sitter monterat i omvänt läge.
- När objektivet är monterat på kameran bör du inte lyfta eller hålla kameran och objektivet i linsskyddet ①.
- Om objektivet inte ska användas under en längre tidsperiod ska det förvaras svalt och torrt, så att mögel kan undvikas. Förvara det också skyddat mot direkt solljus och kemikalier såsom kamfer och naftalen.
- Se till att det inte kommer vatten på objektivet och tappa det inte i vatten, eftersom det då kommer att rosta och sluta fungera.
- Förstärkt plast används i vissa av objektivets delar. Lämna aldrig objektivet på en alltför varm plats för att undvika skador.

## Standardtillbehör

- 52 mm främre objektivlock LC-52 som "snäpps" på plats

## Extra tillbehör

- 52 mm skruvfilter
- Bakre objektivlock LF-1
- Flexibel objektivpåse CL-0815
- Linsskydd HB-45

## Tillbehör som inte passar

- Telekonvertrar (alla modeller)
- Fokuseringsutrustning som autoring BR-4 och alla modeller av autoförlängningsring PK, K-ring och bälgar.
- Monteringsring SX-1

Andra tillbehör är eventuellt inte lämpliga att användas tillsammans med detta objektiv. Se den bruksanvisning som följde med tillbehören för mer information.

## Specifikationer

Se

| | |
|---|---|
| Typ av objektiv | Nikkor zoomobjektiv av G-typ AF-S DX med inbyggd CPU och Nikon:s bajonettkoppling (Speciellt utvecklad för användning med Nikon SLR-Nikon DX digitalkameror) |
| Brännvidd | 18 mm–55 mm |
| Maximal bländare | f/3,5–5,6 |
| Objektivkonstruktion | 11 element i 8 grupper (1 asfäriskt linselement) |
| Bildvinkel | 76º–28º50′ |
| Brännviddsskala | 18, 24, 35, 45, 55 mm |
| Avståndsinformation | Skickas till kamerahuset |
| Zoomreglage | Manuellt via separat zoomring |
| Fokusering | Autofokus med Silent Wave Motor; manuellt via separat fokusring |
| Vibrationsreducering | Objektivbyte med VCM-motorer (voice coil) |
| Kortaste fokuseringsavstånd | 0,28 m vid alla zoominställningar |
| Antal lamellblad | 7 st (rundade) |
| Irisbländare | Helautomatisk |
| Bländarintervall | f/3,5 till f/22 (vid 18 mm), f/5,6 till f/36 (vid 55 mm) |
| Exponeringsmätning | Via metod med full bländare |
| Tillbehörsstorlek | 52 mm (P = 0,75 mm) |
| Storlek | Ungefär 73 mm (diam.) × 79,5 mm (utanför kamerans objektivfäste) |
| Vikt | Ungefär 265 g |

*Specifikationer och utförande kan ändras när som helst, utan att tillverkaren meddelar detta och utan någon skyldighet för densamme.*

## Att notera om användning av vidvinkel- eller supervidvinkelobjektiv av typen AF Nikkor

I följande situationer fungerar eventuellt inte autofokuseringen när man tar bilder med vidvinkel- eller supervidvinkelobjektiv av typen AF Nikkor.

**E** En person som står framför en avlägset belägen bakgrund

**F** Ett fält fullt av blommor

**1. När huvudmotivet i fokuseringsramarna är förhållandevis litet**

Som bilden E visar kan motivet hamna utanför fokus när en person står framför en avlägset belägen bakgrund och är placerad inom fokuseringsramarna.

**2. När huvudmotivet är ett litet mönstrat objekt eller en vy**

Som bilden F visar kan det vara svårt att använda autofokuseringen när motivet är starkt mönstrat eller har låg kontrast, som exempelvis ett fält med blommor.

### Lösning på dessa typer av situationer

(1) Fokusera på ett annat motiv som befinner sig på samma avstånd från kameran. Lås fokuseringen där, komponera bilden på nytt och tryck av.

(2) Du kan även ställa kamerans fokusväljare på M (manuellt) och fokusera motivet manuellt.

Se "Erhålla bra resultat med autofokus" i kamerans användarhandbok.

## Примечания по безопасности использования

### ⚠ПРЕДОСТЕРЕЖЕНИЕ

**Не разбирайте фотокамеру**

Прикосновение к внутренним частям фотокамеры или объектива может привести к получению травм. Ремонт должен производиться только квалифицированными специалистами. В случае повреждения корпуса фотокамеры или объектива в результате падения или другого происшествия отключите сетевой блок питания и/или извлеките батарею и доставьте изделие для проверки в авторизованный сервисный центр Nikon.

**В случае неисправности немедленно выключите фотокамеру**

При появлении дыма или необычного запаха, исходящего из фотокамеры или объектива, немедленно извлеките батареи, стараясь не допустить ожогов. Продолжение работы с устройством может привести к получению травм. После извлечения батареи или отключения источника питания доставьте изделие для проверки в ближайший авторизованный сервисный центр компании Nikon.

**Не пользуйтесь фотокамерой или объективом при наличии в воздухе легковоспламеняющихся газов**

Работа с электронным оборудованием при наличии в воздухе легковоспламеняющихся газов может привести к взрыву или пожару.

**Не смотрите на солнце через объектив или видоискатель**

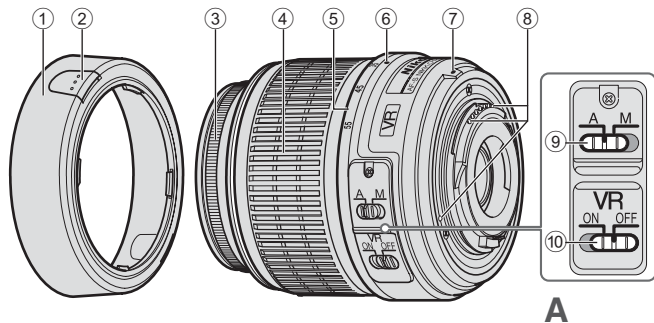
Если смотреть на солнце или другие источники яркого света через объектив или видоискатель, то это может вызвать необратимое ухудшение зрения.

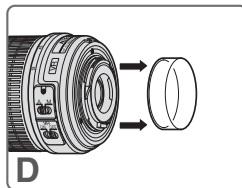
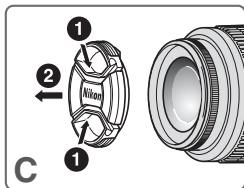
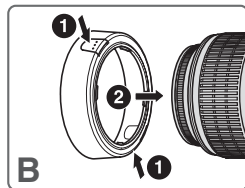
**Храните в недоступном для детей месте**

Примите особые меры предосторожности во избежание попадания батарей и других небольших предметов детям в рот.

**Соблюдайте следующие меры предосторожности во время эксплуатации фотокамеры и объектива**

- Не допускайте попадания воды на фотокамеру или объектив. Несоблюдение этого требования может привести к пожару или поражению электрическим током.
- Не прикасайтесь к фотокамере или объективу мокрыми руками.
  Несоблюдение этого требования может привести к поражению электрическим током.
- При съемке объектов с задним освещением, следует избегать попадания солнца в кадр. Длительное воздействие прямых солнечных лучей на корпус объектива может привести к возгоранию. Солнечные лучи, не попадающие в кадр, но находящиеся рядом с ним, также могут стать причиной возгорания.
- Если объектив не будет использоваться в течение длительного времени, прикрепите переднюю и заднюю крышки объектива и не оставляйте объектив под прямыми солнечными лучами. Несоблюдение этого условия может привести к возгоранию, поскольку объектив может сосредоточить солнечные лучи на каком-либо легковоспламеняющемся предмете.

## Обозначения на иллюстрации

( ): ссылочная страница

1. **Бленда объектива* (СТР. 54)**
2. **Кнопка для прикрепления бленды объектива (СТР. 54)**
3. **Фокусирующее кольцо**
4. **Кольцо увеличения (СТР. 55)**
5. **Шкала фокусного расстояния**
6. **Указатель шкалы фокусного расстояния**
7. **Указатель крепления (СТР. 54)**
8. **Контакты CPU (СТР. 57)**
9. **Переключатель режимов A-M (СТР. 55)**
10. **Переключатель подавления вибраций ON/OFF (СТР. 56)**

*Приобретается дополнительно

Ru

Благодарим за приобретение объектива AF-S DX NIKKOR 18-55 мм f/3,5-5,6G VR. Объективы DX Nikkor специально разработаны для использования с цифровыми фотокамерами Nikon SLR (формат Nikon DX), например с фотокамерами серий D2 и D40. При использовании на фотокамерах формата Nikon DX, угол изображения объектива приблизительно равен фокусному расстоянию 1,5Ч формата 35 мм. До использования этого объектива ознакомьтесь с данными инструкциями и прочитайте Руководство пользователя фотокамеры.

## Основные возможности

- При включенной функции подавления вибраций (VR) достигаются результаты, аналогичные съемке с выдержкой, длительность которой приблизительно на три ступени* меньше (фокусное расстояние 55 мм), чем при съемке без использования данной функции. Кроме того, при этом увеличивается количество эффективных функций выдержки, а также облегчается ручная съемка при использовании различных значений зума. (*Основано на результатах, полученных в условиях измерений компании Nikon. Результаты подавления вибраций могут различаться в зависимости от отдельных условий и (или) условий съемки).
- Данный объектив использует бесшумный волновой привод Silent Wave Motor для управления механизмом фокусировки, что делает процесс автофокусировки плавным, бесшумным и практически мгновенным. Переключатель режимов A-M ⑨ используется для удобного переключения между автоматическим (A) и ручным (M) режимами фокусировки.
- Более точное управление экспозицией достигается посредством передачи информации о расстоянии до объекта от объектива к фотокамере.
- При использовании одного из асферических элементов объектива достигаются резкие снимки практически без цветной окантовки. Кроме того, при использовании семилепестковой диафрагмы, создающей почти круглую апертуру, нерезкие предметы, расположенные сзади или спереди объекта съемки, получаются как красивые неясные очертания.

## Установка объектива

1. **Выключите фотокамеру.**
2. **Снимите заднюю крышку объектива (Рис. D).**
3. **Совместив указатель крепления ⑦ на объективе с указателем крепления на корпусе фотокамеры, поворачивайте объектив против часовой стрелки до полной фиксации. Убедитесь, что указатель крепления ⑦ находится сверху.**
4. **Снимите переднюю крышку объектива. (Рис. C)**

## Снятие объектива

Перед снятием объектива обязательно выключите фотокамеру. Для снятия объектива нажмите и удерживайте кнопку отсоединения объектива, поворачивая при этом объектив по часовой стрелке.

## Использование бленды объектива HB-45 ①* (Рис. B)

**Приобретается дополнительно.*

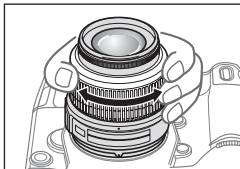
## Установка бленды

Удерживайте кнопки для прикрепления бленды объектива ② при установке бленды ①. Для хранения бленды ① прикрепите ее задом наоборот.

## Снятие бленды

Удерживайте кнопки для прикрепления бленды объектива ② при снятии бленды ①.

## Фокусировка, увеличение и глубина резкости

Прежде чем выполнять фокусировку, поверните кольцо увеличения ④ для регулировки фокусного расстояния, пока в видоискателе не будет выделена необходимая композиция.

Если фотокамера оснащена кнопкой или рычажком просмотра глубины резкости (затемнение), то степень глубины резкости можно предварительно проверить через видоискатель фотокамеры.

## Фокусировка (Рис. A)

## Режим автофокусировки

Установите на фотокамере режим фокусировки AF-A, AF-S или AF-C и установите переключатель режимов A-M ⑨ на объективе в положение [A]. Автоматическая фокусировка (автофокусировка) выполняется при нажатии спусковой кнопки затвора наполовину.

Будьте внимательны. Не дотрагивайтесь до фокусирующего кольца ③ при его повороте во время выполнения автофокусировки.

## Ручной режим фокусировки

Установите переключатель режимов A-M ⑨ на объективе в положение [M]. Для выполнения фокусировки вращайте фокусирующее кольцо ③ вручную. Съемку можно выполнять, если установлен режим фокусировки фотокамеры AF или M.

| Переключатель режимов объектива A-M ⑨ | Режим фокусировки фотокамеры | |
|---|---|---|
| | AF-A/AF-S/AF-C | M |
| A | Авто-фокусировка | — |
| M | Ручная фокусировка (доступна функция Focus assist) | |

Для получения дополнительных сведений о режимах фокусировки фотокамеры см. Руководство пользователя фотокамеры.

## Получение хороших результатов съемки с использованием автофокусировки

См. «Примечания по использованию широкоугольных объективов AF Nikkor» (СТР. 59).

Ru

## Режим подавления вибраций (VR)

При включенной функции подавления вибраций (VR) достигаются результаты, аналогичные съемке с выдержкой, длительность которой приблизительно на три ступени * меньше (фокусное расстояние 55 мм), чем при съемке без использования данной функции. Панорамная съемка также доступна. (*Основано на результатах, полученных в условиях измерений компании Nikon. Результаты подавления вибраций могут различаться в зависимости от ситуации и условий съемки.)

### Установка переключателя подавления вибраций в положение включения и выключения

1. **Установите переключатель подавления вибрации ON/OFF ⑩ в положение [ON].**
   **Примечание. Обязательно установите переключатель ⑩ так, чтобы индикатор точно совпал с меткой [ON].**
2. **Подавление вибраций фотокамеры выполняется при нажатии спусковой кнопки затвора наполовину.**
   **Автоматическая и ручная фокусировка, а также точное кадрирование объекта съемки, выполняются просто, так как вибрации фотокамеры, наблюдаемые в видоискателе, также подавляются.**
3. **Для отключения режима подавления вибраций установите переключатель подавления вибраций ON/OFF ⑩ в положение [OFF].**

Ru

### Примечания по использованию подавления вибрации

- После нажатия спусковой кнопки затвора наполовину необходимо дождаться стабилизации изображения в видоискателе перед тем, как нажать спусковую кнопку затвора до конца.
- При съемке панорамы по широкой траектории подавление вибраций фотокамеры в направлении съемки панорамы не будет выполняться. Например, при съемке панорамы в горизонтальном направлении будет выполняться только подавление вибраций по вертикали, что позволяет сделать более мягкие панорамные снимки.
- Вследствие особенностей характеристик механизма подавления вибраций после того, как будет отпущена кнопка спуска затвора, изображение в видоискателе может оказаться смазанным.
- Не выключайте фотокамеру и не снимайте с фотокамеры объектив при работе в режиме подавления вибраций. Если пренебречь этим примечанием, то при сотрясении объектива может послышаться звук, как при отсоединении или поломке внутренних компонентов. Это не является неисправностью. Для устранения этой ситуации снова включите фотокамеру.
- При использовании моделей фотокамер D300 и D40, оснащенных встроенной вспышкой, при заряде вспышки функция подавления вибрации не работает.
- Если фотокамера установлена на штатив, установите переключатель подавления вибрации ON/OFF ⑩ в положение [OFF]. Однако при использовании штатива без закрепления его головки или при использовании одиночной опоры установите переключатель в положение [ON].
- При использовании фотокамер с автофокусировкой (например, модели серии D2 и D300), оснащенных кнопкой включения AF (AF-ON), функция подавления вибраций не будет работать даже при нажатии кнопки AF-ON.

## Установка диафрагмы

На фотокамере можно настроить параметры диафрагмы.

## Изменение максимального значения диафрагмы

При увеличении с 18 мм до 55 мм на объективе максимальное значение диафрагмы уменьшается ступенями по 1 1/3.

Однако настраивать значение диафрагмы для получения правильной экспозиции не потребуется, так как фотокамера автоматически компенсирует значения диафрагмы.

## Съемка фотографий с использованием фотоаппаратов со встроенной вспышкой

Виньетирование - это затемнение углов изображения, возникающее при заграждении света вспышки блендой объектива ① или его оправой в зависимости от фокусного расстояния и расстояния съемки.

- Для предотвращения этого явления не используйте бленду объектива ①.
- При использовании встроенной вспышки фотокамеры не удастся выполнить съемку, если расстояние до объекта составляет менее 0,6 m.

| Цифровые фотокамеры SLR | Поддерживаемые значения фокусного расстояния/расстояния съемки |
|---|---|
| D300, D200, D100, D80, D60, D50, модели серии D70 и D40 | Виньетирование не возникает при использовании любого фокусного расстояния |

Встроенные вспышки фотокамер D100 и D70 поддерживают фокусное расстояние со значением 20 мм и более.

Виньетирование возникает при съемке с фокусным расстоянием 18 мм.

## Уход за объективом

- Будьте внимательны, избегайте попадания грязи на контакты CPU ⑧ или их повреждения.
- Выполняйте очистку поверхности объектива продуванием воздухом. Для удаления грязи и пятен используйте мягкую, чистую хлопчатобумажная ткань или протирочную ткань для объектива, смоченную этанолом (алкоголем) или жидкостью для чистки линз. Протирайте круговыми движениями от центра к краям, стараясь не оставлять следов или дотрагиваться до других частей объектива.
- Не используйте растворитель или бензол для очистки объектива, так как это может стать причиной его повреждения, вызвать пожар или проблемы со здоровьем.
- Для защиты передней линзы объектива можно использовать нейтральные светофильтры. Бленда объектива ① также помогает защитить переднюю линзу объектива.
- При хранении объектива в мягком чехле следует прикрепить переднюю и заднюю крышки объектива. Объектив также можно хранить, прикрепив к нему бленду ① обратной стороной.
- Не поднимайте и не носите объектив или фотокамеру, держась за прикрепленную к объективу бленду ①.
- Если объектив не будет использоваться в течение длительного времени, храните его в сухом, прохладном месте для защиты от влаги. Никогда не оставляйте объектив под воздействием прямых солнечных лучей и не подвергайте его воздействию химикатов, например камфарных или нафталиновых средств.
- Избегайте попадания на объектив воды и не бросайте его в воду, так как это может стать причиной возникновения ржавчины или неисправности.
- В некоторых частях объектива используется пластиковый материал повышенной прочности. Для предотвращения повреждения никогда не оставляйте объектив в местах с повышенной температурой.

Ru

## Стандартные принадлежности
- 52 мм передняя крышка объектива LC-52

## Дополнительные принадлежности
- 52 мм ввинчивающиеся фильтры
- Задняя крышка объектива LF-1
- Мягкий чехол для объектива CL-0815
- Бленда объектива HB-45

## Несовместимые принадлежности
- Телеконвертеры (все модели)
- Автоматическое кольцо BR-4 и все модели автоматического кольца увеличения PK, кольцо K и фокусировочный мех.
- Закрепляющее кольцо SX-1

Другие принадлежности могут быть не пригодны для использования с данным объективом. Дополнительные сведения см. в руководстве по эксплуатации, прилагаемом к той или иной принадлежности.

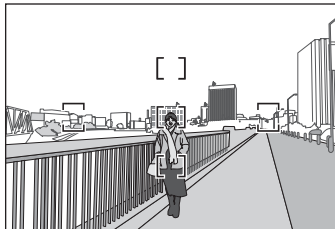
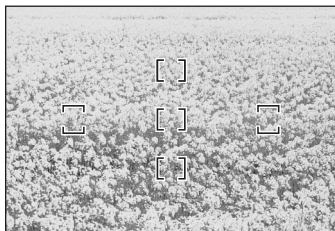
## Технические характеристики

| | |
|---|---|
| **Тип объектива** | ТипG AF-S DX зум-объектив Nikkor со встроенным CPU и байонетной оправой Nikon (разработана специально для использования с цифровыми фотокамерами Nikon SLR формата Nikon DX) |
| **Фокусное расстояние** | 18 мм–55 мм |
| **Максимальное значение диафрагмы** | f/3,5–5,6 |
| **Структура объектива** | 11 элементов в 8 группах (1 асферическая линза) |
| **Угол изображения** | 76°–28°50’ |
| **Шкала фокусного расстояния** | 18, 24, 35, 45, 55 мм |
| **Информация о расстоянии до объекта** | Выход до корпуса фотокамеры |
| **Управление зумом** | Ручное, с помощью отдельного кольца увеличения |
| **Фокусировка** | Автофокусировка с использованием бесшумного волнового привода Silent Wave Motor; вручную, с помощью отдельного кольца увеличения |
| **Подавление вибрации** | Метод перемещения линз с помощью электродвигателей с линейной обмоткой (VCM) |
| **Наиболее близкое расстояние для фокусировки** | 0,28 m при всех параметрах зума |
| **Число лепестков диафрагмы** | 7 лепестков (округлая) |
| **Диафрагма** | Полностью автоматическая |
| **Шкала диафрагмы** | от f/3,5 до f/22 (при 18 мм), от f/5,6 до f/36 (при 55 мм) |
| **Измерение зкспозиции** | С помощью метода полной диафрагмы |
| **Размер насадки** | 52 мм (P = 0,75 мм) |
| **Размеры** | Прибл. диаметр 73 мм × 79,5 мм (выдвижение из оправы объектива) |
| **Масса** | Прибл. 265 г |

*Характеристики и дизайн могут быть изменены без предупреждения и каких-либо обязательств со стороны изготовителя.*

## Примечания по использованию широкоугольных объективов AF Nikkor

В следующих случаях автофокусировка, возможно, не будет работать надлежащим образом при съемке с помощью широкоугольных и сверхширокоугольных объективов AF Nikkor.

**E** Человек, стоящий перед фоном, находящимся на большом расстоянии

**F** Поле, покрытое цветами

**1. Если главный объект съемки, находящийся в рамках фокуса, относительно малого размера на изображении**

Если человек на фоне, расположенном на большом расстоянии от него, находится внутри рамок фокуса, как показано на Рис. E, фокусировка может быть выполнена не на человеке, а на фоне.

**2. Если основной объект съемки является ярким, узорчатым объектом или экспозицией**

Если объект имеет яркие узоры или отличается низким уровнем контрастности, например поле цветов, как показано на Рис. F, возможно, автофокусировку будет сложно выполнить.

### Способы действий в подобных ситуациях

(1) Выполните фокусировку на другом объекте, расположенном на том же расстоянии от фотокамеры, затем используйте блокировку фокусировки, повторно скомпонуйте кадр и сделайте снимок.

(2) Установите переключатель режимов фокусировки в положение M (ручная) и выполните фокусировку на объекте съемки вручную.

См. «Получение хороших результатов съемки с использованием автофокусировки» в руководстве по эксплуатации фотокамеры.

# Veiligheidsvoorschriften

## ⚠ WAARSCHUWING

### Neem het toestel niet uit elkaar

Het aanraken van de inwendige delen van het fototoestel of van de lens kan een letsel veroorzaken. Herstellingen mogen alleen worden uitgevoerd door bevoegde technici. Indien het fototoestel of de lens breekt na een val of een ander ongeluk, laat u het product door een door Nikon erkende servicedienst nakijken nadat u de stekker uit het stopcontact hebt gehaald en/of de batterijen hebt verwijderd.

### Schakel het toestel onmiddellijk uit bij storingen

Indien u merkt dat er rook of een ongewone geur uit het fototoestel of de lens komt, moet u de batterij onmiddellijk verwijderen om brandwonden te vermijden. Verdere bediening van het toestel kan een letsel tot gevolg hebben.
Nadat u de stroombron hebt verwijderd of losgekoppeld, laat u het toestel nakijken door een door Nikon erkende servicedienst.

Nl

### Gebruik het fototoestel of de lens niet in de buurt van ontvlambare gassen

Het bedienen van de elektrische installatie in de buurt van ontvlambare gassen kan leiden tot een ontploffing of brand.

### Kijk niet naar de zon door de lens of de beeldzoeker

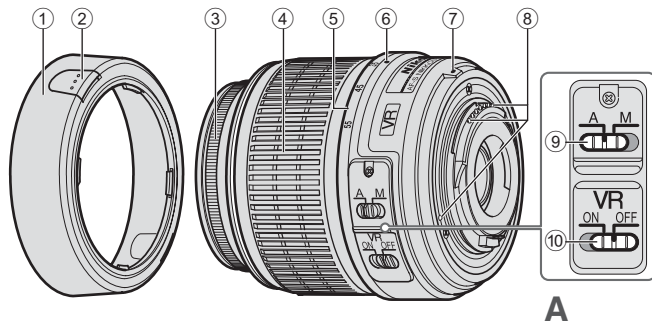
Kijken naar de zon of naar ander fel licht door de lens of de beeldzoeker kan een blijvend oogletsel veroorzaken.

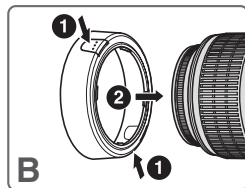
### Buiten het bereik van kinderen houden

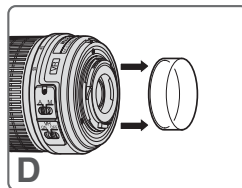
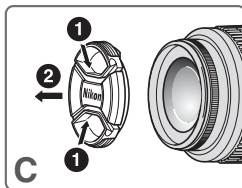
Zorg ervoor dat kleine kinderen de batterijen of andere kleine onderdelen niet in hun mond kunnen stoppen.

### Let op de volgende punten bij het gebruik van het fototoestel en de lens

- Houd het fototoestel of de lens droog. Indien u deze voorzorgsmaatregel niet in acht neemt, kan dit brand of een elektrische schok tot gevolg hebben.
- Bedien het fototoestel of de lens niet of raak deze niet aan met natte handen. Indien u deze voorzorgsmaatregel niet in acht neemt, kan dit een elektrische schok tot gevolg hebben.
- Houd de zon uit het beeld bij het nemen van foto's met tegenlicht. Het zonlicht kan convergeren in de lens en brand veroorzaken. Zonlicht dat niet rechtstreeks in het beeld, maar in de buurt van het beeld terechtkomt, kan ook brand veroorzaken.
- Wanneer u de lens niet gebruikt gedurende een langere periode, bevestig dan zowel de voorste als de achterste lensdoppen om de lens te beschermen tegen direct zonlicht. Indien u deze voorzorgsmaatregel niet in acht neemt, kan dit brand tot gevolg hebben, aangezien de lens het zonlicht kan convergeren op een ontvlambaar voorwerp.

## Benamingen

( ): referentiepagina

① Lenskap*(P. 62)
② Bevestigingsknop lenskap (P. 62)
③ Focusring
④ Zoomring (P. 63)
⑤ Schaal brandpuntsafstand
⑥ Wijzer schaal brandpuntsafstand
⑦ Wijzer bevestiging (P. 62)
⑧ CPU-aansluitpunten (P. 65)
⑨ A-M-modusschakelaar (P. 63)
⑩ Vibratiereductie ON/OFF-schakelaar (P. 64)

*Optioneel

Nl

Bedankt voor de aankoop van de AF-S DX NIKKOR 18-55 mm f/3,5-5,6 G VR. DX Nikkor-lenzen zijn speciaal ontworpen voor gebruik met Nikon digitale SLR-fototoestellen (Nikon DX -formaat), zoals de D2-serie en de D40-serie. Wanneer de lens is geplaatst op fototoestellen van Nikon DX-formaat, is de beeldhoek van de lens gelijk aan circa 1,5× de brandpuntsafstand in 35 mm-formaat. Lees deze instructies eerst door en raadpleeg de Gebruikshandleiding van uw fototoestel alvorens u deze lens gebruikt.

## Belangrijke functies

- Vibratiereductie (VR) activeren biedt u de mogelijkheid om te fotograferen met een sluitertijd die bij benadering drie keer* trager is (bij een brandpuntsafstand van 55 mm) dan wanneer de vibratiereductie niet is geactiveerd, waardoor het bereik van de effectieve sluitertijdopties wordt uitgebreid en het handbediende fotograferen wordt vereenvoudigd met een verscheidenheid aan zoomposities. (*Gebaseerd op resultaten verkregen volgens de meetvoorwaarden van Nikon. De effecten van de vibratiereductie kunnen variëren naargelang specifieke omstandigheden en/of opname-omstandigheden.)
- Deze lens maakt gebruik van een Silent Wave-motor om het scherpstellingsmechanisme aan te drijven, waardoor de autofocus vloeiend, stil en bijna onmiddellijk gebeurt. De A-M-modusschakelaar ⑨ is voorzien om eenvoudig te kiezen tussen autofocus (A) of manueel scherpstellen (M).
- Een nauwkeurigere belichtingsregeling is mogelijk omdat de afstandgegevens van het voorwerp wordt overgedragen van de lens naar het fototoestel.
- Het gebruik van een asferische lens verzekert scherpe beelden die vrij zijn van kleurranden. Het diafragma bestaat uit zeven bladen en creëert een bijna cirkelvormige lensopening, waardoor niet-scherpgestelde voorwerpen voor of achter het voorwerp worden weergegeven als een wazig beeld.

Nl

## De lens bevestigen

1. Schakel het fototoestel uit.
2. Verwijder de achterste lensdop (fig. D).
3. Breng de bevestigingswijzer ⑦ op de lens in één lijn met de bevestigingsaanduiding op het fototoestel, draai de lens naar links totdat deze op de juiste plaats klikt. Zorg ervoor dat de bevestigingswijzer ⑦ zich in de bovenste positie bevindt.
4. Verwijder de voorste lensdop (fig. C).

## De lens verwijderen

Zorg ervoor dat het fototoestel is uitgeschakeld voordat u de lens verwijdert. Houd de ontgrendelingsknop van de lens ingedrukt terwijl u de lens naar rechts draait om deze te verwijderen.

## Lenskap HB-45 ①* gebruiken (fig. B)

**Optioneel*

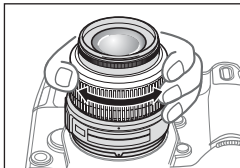
### Het kapje bevestigen

Houd de bevestigingsknoppen van de lenskap ingedrukt ② wanneer u de lenskap vastmaakt ①. U kunt de lenskap opbergen ① door het in de omgekeerde positie vast te maken.

### Het kapje verwijderen

Houd de bevestigingsknoppen van de lenskap ingedrukt ② wanneer u de lenskap verwijdert ①.

## Scherpstellen, zoomen en scherptediepte

Voordat u kunt scherpstellen, draait u de zoomring ④ om de brandpuntsafstand aan te passen totdat de gewenste compositie wordt weergegeven in de beeldzoeker.

Indien uw fototoestel beschikt over een voorbeeldknop of -hendel (stop-beneden), kunt u de velddiepte zien door de beeldzoeker van het fototoestel.

## Scherpstellen (fig. A)

### Automatische scherpstelmodus

Stel de scherpstelmodus van het fototoestel in op AF-A, AF-S of AF-C en stel de A-M-modusschakelaar ⑨ van de lens in op [A]. Het fototoestel stelt automatisch scherp (autofocus) terwijl de ontspanknop half wordt ingedrukt.

Let erop dat u de scherpstelring ③ niet aanraakt terwijl deze draait tijdens de bediening voor autofocus.

### Manuele scherpstelmodus

Stel de A-M-modusschakelaar ⑨ op de lens in op [M]. Draai de scherpstelring ③ manueel naar scherpstellen. U kunt fotograferen wanneer de scherpstelmodus van het fototoestel is ingesteld op AF of op M.

<table>
<tr><th rowspan="2">A-M-modusschakelaar van de lens ⑨</th><th colspan="2">Scherpstelmodus van het fototoestel</th></tr>
<tr><th>AF-A/AF-S/AF-C</th><th>M</th></tr>
<tr><td>A</td><td>Autofocus</td><td>—</td></tr>
<tr><td>M</td><td colspan="2">Manueel scherpstellen (AF-hulpverlichting is beschikbaar)</td></tr>
</table>

Raadpleeg uw Gebruikshandleiding voor meer informatie over de scherpstelmodi van het fototoestel.

### Goede resultaten met autofocus

Zie “Opmerkingen over het gebruik van de groothoek of de supergroothoek van de AF Nikkor-lenzen” (P. 67).

## Vibratiereductiemodus (VR)

Vibratiereductie (VR) activeren biedt u de mogelijkheid om te fotograferen met een sluitertijd die bij benadering drie keer* trager is (bij een brandpuntsafstand van 55 mm) dan wanneer de vibratiereductie niet is geactiveerd. Pannen wordt ook ondersteund. (*Gebaseerd op resultaten verkregen volgens de meetvoorwaarden van Nikon. De effecten van de vibratiereductie kunnen variëren naargelang specifieke omstandigheden en opnameomstandigheden.)

### De vibratiereductie in- en uitschakelen

1. Stel de ON/OFF-schakelaar van de vibratiereductie ⑩ in op [ON]. Opmerking: Zorg ervoor dat u de schakelaar ⑩ zo instelt dat de aanduiding precies op één lijn ligt met [ON].
2. Trillingen van het fototoestel worden verminderd wanneer de ontspanknop half wordt ingedrukt. Autofocus en manueel scherpstellen, net als het precies kadreren van het onderwerp, zijn eenvoudiger geworden omdat trillingen van het fototoestel zichtbaar door de beeldzoeker worden verminderd.
3. Om vibratiereductie uit te schakelen, stelt u de vibratiereductie ON/OFF-schakelaar ⑩ in op [OFF].

### Opmerkingen over het gebruik van de vibratiereductie

Nl

- Nadat u de ontspanknop half hebt ingedrukt, wacht u totdat het beeld in de beeldzoeker stabiliseert alvorens u de ontspanknop verder indrukt.
- Als het fototoestel gepand wordt in een grote cirkel, wordt er geen compensatie uitgevoerd voor bewegingen van het fototoestel in de panrichting. Bij horizontaal pannen worden bijvoorbeeld enkel verticale bewegingen van het fototoestel verminderd, waardoor vlot pannen veel eenvoudiger wordt.
- Als een gevolg van de eigenschappen van vibratiereductie is het mogelijk dat het beeld in de beeldzoeker vaag wordt na het loslaten van de sluiter. Dit is geen storing.
- Schakel het fototoestel niet uit of verwijder de lens niet van het fototoestel terwijl de vibratiereductie in werking is. Als u deze voorzorgsmaatregel niet in acht neemt, kan de lens klinken en aanvoelen alsof een interne component is losgekomen of afgebroken wanneer ermee wordt geschud. Dit is geen storing. Schakel het fototoestel opnieuw in om dit te corrigeren.
- Bij fototoestellen uit de D300 en de D40-serie met een ingebouwde flitser, werkt de vibratiereductie niet wanneer de ingebouwde flitser wordt opgeladen.
- Als het fototoestel op een statief met drie poten is geplaatst, stelt u de ON/OFF-schakelaar ⑩ van de vibratiereductie in op [OFF]. Stel de schakelaar echter in op [ON] wanneer u een statief met drie poten gebruikt zonder het uiteinde van het statief vast te maken of wanneer u een statief met één poot gebruikt.
- Bij fototoestellen met autofocus zoals de D2-serie en D300-modellen, die zijn uitgerust met een AF start (AF-ON)-knop, werkt vibratiereductie zelfs niet wanneer de AF-ON-knop wordt ingedrukt.

## De lensopening instellen

Gebruik het fototoestel om de instellingen van de lensopening aan te passen.

## Variabele maximale lensopeningen

Door met de lens te zoomen van 18 mm naar 55 mm, vermindert de maximale lensopening met 1 1/3 diafragma's. U moet de instelling van de lensopening echter niet aanpassen voor precieze opnamen omdat het fototoestel automatisch compenseert voor deze variabele.

## Foto's nemen met een fototoestel met ingebouwde flitser

Vignetteren is het verduisteren van de hoeken rond een beeld dat voorkomt wanneer het licht dat door de flitser wordt weergegeven, wordt belemmerd door de lenskap ① of door het lensvat afhankelijk van de brandpunts- of opname-afstand.

- Om vignetteren te voorkomen maakt u geen gebruik van de lenskap ①.
- Het is niet mogelijk om te fotograferen op afstanden die korter zijn dan 0,6 m wanneer u de ingebouwde flitser van het fototoestel gebruikt.

| Digitale SLR-fototoestellen | Ondersteunde brandpuntsafstand/ opnameafstand |
|---|---|
| D300, D200, D100, D80, D70-serie, D60, D50, D40-serie | Er is geen vignettering op geen enkele brandpuntsafstand |

De ingebouwde flitser op de D100 en D70 ondersteunt een brandpuntsafstand van 20 mm of meer. Vignettering komt voor op een brandpuntsafstand van 18 mm.

## Onderhoud van de lens

- Let erop dat u de CPU-aansluitpunten ⑧ niet vuilmaakt of beschadigt.
- Reinig de lens met een blaasbalgje. Om vuil en vlekken te verwijderen, gebruikt u een zachte, zuivere katoenen doek of een lensdoekje met ethanol (alcohol) of lensreiniger. Maak ronddraaiende bewegingen van het midden naar de buitenkant en let erop dat u geen strepen maakt of andere onderdelen van de lens aanraakt.
- Gebruik nooit thinner of benzeen om de lens te reinigen aangezien dit de lens kan beschadigen, of brand of gezondheidsproblemen kan veroorzaken.
- NC-filters zijn beschikbaar om het voorste lenselement te beschermen. De lenskap ① help ook om de voorkant van de lens te beschermen.
- Wanneer u de lens in het flexibele lensetui opbergt, maakt u zowel de voorste als de achterste lensdoppen vast. De lens kan ook worden opgeborgen terwijl de lenskap ① in de omgekeerde positie is bevestigd.
- Wanneer de lens is geïnstalleerd op een fototoestel, mag u het fototoestel en de lens niet optillen of vasthouden met de lenskap ①.
- Berg de lens op in een koele, droge plaats om schimmel te voorkomen, wanneer u de lens gedurende een lange periode niet gebruikt. Berg de lens ook op om deze te beschermen tegen rechtstreeks zonlicht of chemicaliën zoals kamfer en naftaleen.
- Laat geen water op de lens komen en laat de lens niet in water vallen. Hierdoor zal de lens roesten en slecht functioneren.
- Bepaalde onderdelen van de lens zijn vervaardigd uit versterkt plastic. Zet de lens nooit in een overmatig hete ruimte om schade te voorkomen.

## Standaardaccessoires

- 52 mm opklikbare voorste lensdop LC-52

## Optionele accessoires

- 52 mm schroeffilters
- Achterste lensdop LF-1
- Flexibel lensetui CL-0815
- Lenskap HB-45

## Niet-compatibele accessoires

- Teleconvertoren (alle modellen)
- Autoring BR-4 en alle modellen van de automatische verlengingsring PK, K-ring en bevestiging voor blaasbalg.
- Verbindingsring SX-1

Andere accessoires zijn mogelijk niet geschikt voor gebruik met deze lens. Voor meer informatie raadpleegt u de gebruikershandleiding van de accessoires.

## Technische gegevens

| | |
|---|---|
| Lenstype | G-type AF-S DX Zoom-Nikkor-lens met ingebouwde CPU en Nikon-bajonetsluiting (Speciaal ontworpen voor gebruik met Nikon digitale SLR-Nikon DX-formaat fototoestellen) |
| Brandpuntsafstand | 18 mm–55 mm |
| Maximale lensopening | f/3,5–5,6 |
| Lensopbouw | 11 onderdelen in 8 groepen (1 asferisch lenselement) |
| Beeldhoek | 76º–28º50′ |
| Schaal brandpuntsafstand | 18, 24, 35, 45, 55 mm |
| Afstandgegevens | Uitgang naar fototoestel |
| Zoombediening | Manueel via aparte zoomring |
| Scherpstellen | Autofocus met de Silent Wave-motor; manueel scherpstellen met aparte scherpstelring |
| Vibratiereductie | Lens-shiftmethode met behulp van voice coil-motoren (VCM's) |
| Dichtste scherpstelafstand | 0,28 m bij alle zoominstellingen |
| Aantal diafragmabladen | 7 stuks (afgerond) |
| Diafragma | Volledig automatisch |
| Bereik lensopening | f/3,5 tot f/22 (bij 18 mm), f/5,6 tot f/36 (bij 55 mm) |
| Meting belichting | Met de volledige lensopeningsmethode |
| Grootte hulpstuk | 52 mm (P = 0,75 mm) |
| Afmetingen | Circa 73 mm (dia.) × 79,5 mm (verlenging van de lensbevestigingsrand van het fototoestel) |
| Gewicht | Circa 265 g |

*Technische gegevens en ontwerpen zijn vatbaar voor wijzigingen zonder kennisgeving of verplichting vanwege de fabrikant.*

## Opmerkingen over het gebruik van de groothoek of de supergroothoek van de AF Nikkor-lenzen

In de onderstaande situaties is het mogelijk dat autofocus niet functioneert zoals verwacht wanneer u foto's neemt met de groothoek of de supergroothoek van de AF Nikkor-lenzen.

**E** Een persoon die voor een achtergrond in de verte staat

**F** Een bloemenveld

### 1. Wanneer het hoofdonderwerp in de scherpstelhaakjes betrekkelijk klein is

Wanneer een persoon die voor een achtergrond in de verte staat, binnen de scherpstelhaakjes wordt geplaatst, zoals getoond in fig. E, is het mogelijk dat wordt scherpgesteld op de achtergrond en niet op het onderwerp.

### 2. Wanneer het hoofdonderwerp een fijn onderwerp of fijne scène is, met een patroon

Wanneer het onderwerp fijn is en voorzien is van een patroon of een laag contrast heeft, zoals een bloemenveld, zoals getoond in fig. F, kan het moeilijk zijn om scherp te stellen zonder autofocus te gebruiken.

### Oplossingen voor deze soorten situaties

(1) Stel scherp op een ander onderwerp op dezelfde afstand van het fototoestel, gebruik vervolgens de scherpstelvergrendeling, stel het beeld opnieuw samen en neem de foto.

(2) Stel de scherpstelmodus-selector in op M (manueel) en stel manueel scherp op het onderwerp.

Raadpleeg “Goede resultaten met autofocus” in de gebruikershandleiding van het fototoestel.

Nl

# Note sulle operazioni di sicurezza

## ⚠ ATTENZIONE

### Non smontare
Toccando le parti interne della fotocamera o dell'obiettivo si potrebbero causare dei guasti. Le riparazioni devono essere eseguite solamente da tecnici qualificati. Qualora, in caso di caduta o di qualsiasi altro incidente, la fotocamera o l'obiettivo dovessero rompersi, portare il prodotto presso un punto di assistenza Nikon autorizzato per l'ispezione, dopo averlo disinserito dalla presa e/o rimosso la batteria.

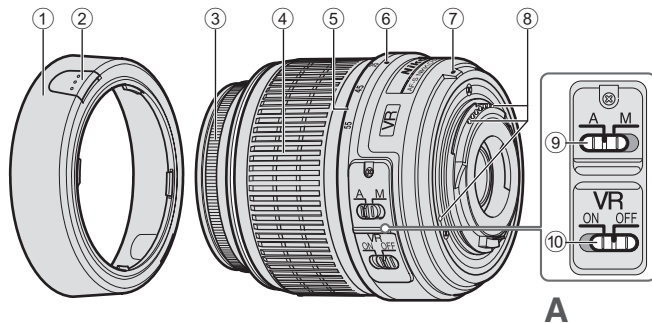
### In caso di malfunzionamento, disattivare immediatamente la fotocamera
Qualora dalla fotocamera o dall'obiettivo dovesse uscire del fumo o un odore insolito, rimuovere immediatamente la batteria, facendo attenzione a non ustionarsi. Continuando a utilizzare la fotocamera, sussiste il rischio di lesioni.
Dopo aver rimosso o scollegato la fonte di alimentazione, portare il prodotto presso un punto di assistenza Nikon autorizzato per l'ispezione.

### Non usare la fotocamera o l'obiettivo in presenza di gas infiammabili
L'utilizzo di apparecchiature elettroniche in presenza di gas infiammabili può causare esplosioni o incendi.

### Non guardare il sole in modo diretto attraverso l'obiettivo o il mirino
Guardando in modo diretto il sole o qualsiasi altra fonte intensa di luce, si è soggetti al rischio di indebolimento permanente della vista.

### Tenere lontano dalla portata dei bambini
Fare molta attenzione che i bambini non ingeriscano le batterie o altre piccole parti.

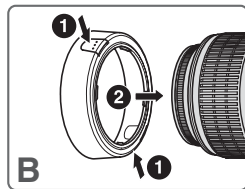
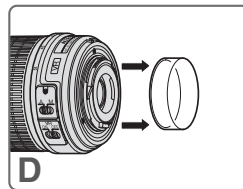
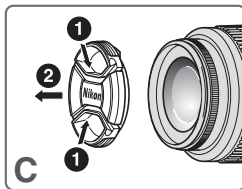
### Nell'utilizzo della fotocamera e dell'obiettivo, osservare le seguenti precauzioni
- Mantenere la fotocamera o l'obiettivo asciutti. In caso contrario si potrebbe verificare un incendio o scosse elettriche.
- Non maneggiare né toccare la fotocamera o l'obiettivo con le mani bagnate. In caso contrario, si potrebbero verificare scosse elettriche.
- In caso di scatti controluce, il sole deve rimanere completamente fuori dall'inquadratura. La luce del sole potrebbe infatti concentrarsi all'interno dell'obiettivo e causare un incendio. Il sole, anche se non inquadrato direttamente ma vicino all'inquadratura, può comunque causare incendi.
- Se si prevede di non utilizzare l'obiettivo per un periodo prolungato di tempo, montare entrambi i tappi di protezione e riporlo lontano dalla luce diretta del sole. Il mancato rispetto di questa istruzione può causare incendi, poiché l'obiettivo potrebbe concentrare la luce del sole su un oggetto infiammabile.

## Denominazione

(    ): pagina di riferimento

① Paraluce* (P. 70)
② Interruttore di collegamento del paraluce (P. 70)
③ Anello di messa a fuoco
④ Anello dello zoom (P. 71)
⑤ Scala della lunghezza focale
⑥ Indice della scala della lunghezza focale
⑦ Tacca di montaggio (P. 70)
⑧ Contatti CPU (P. 73)
⑨ Interruttore modalità A-M (P. 71)
⑩ Interruttore ON/OFF di riduzione vibrazioni (P. 72)

A

*Opzionale

It

Grazie per aver acquistato l'obiettivo AF-S DX NIKKOR 18-55 mm f/3,5-5,6G VR. Gli obiettivi DX Nikkor sono stati appositamente concepiti per l'utilizzo con le fotocamere digitali Nikon SLR (formato Nikon DX), quali le serie D2 e D40. Quando vengono montati su fotocamere Nikon formato DX, l'angolo dell'immagine equivale a circa 1,5 volte la lunghezza della focale nel formato 35 mm. Prima di utilizzare l'obiettivo, leggere queste istruzioni e la Manuale d'uso della fotocamera.

## Caratteristiche principali

- Attivando la funzione Riduzione vibrazioni (VR) è possibile scattare con velocità dell'otturatore più lente di circa tre stop* (a lunghezze focali di 55 mm) rispetto agli scatti senza riduzione delle vibrazioni. Questa funzione amplia quindi il campo di velocità utilizzabili e semplifica gli scatti senza cavalletto in numerose posizioni dello zoom. (*In base ai risultati ottenuti alle condizioni di misurazione Nikon. L'effetto della riduzione delle vibrazioni può variare in base alle condizioni di scatto e/o personali.)
- Questo obiettivo si avvale di un motore Silent Wave che aziona il meccanismo di messa a fuoco, pertanto la messa a fuoco automatica risulta agevole, silenziosa e quasi immediata. L'interruttore di modalità A-M ⑨ consente di selezionare facilmente la messa a fuoco automatica (A) o manuale (M).
- È possibile ottenere un controllo dell'esposizione più preciso, in quanto le informazioni relative alla distanza dal soggetto vengono trasferite dall'obiettivo alla macchina fotografica.
- L'utilizzo di un elemento asferico all'interno dell'obiettivo assicura fotografie nitide e praticamente prive di sbavature di colore. Inoltre, utilizzando un diaframma a sette lamelle che produce un'apertura quasi circolare, gli oggetti non a fuoco davanti o dietro il soggetto vengono resi come gradevoli sfocature.

## Montaggio dell'obiettivo

1. Disattivare la fotocamera.
2. Rimuovere il tappo posteriore dell'obiettivo (Fig. D).
3. Tenendo la tacca di montaggio sull'obiettivo allineata con la tacca di montaggio ⑦ sul corpo della fotocamera, ruotare l'obiettivo in senso antiorario finché scatti in posizione. Assicurarsi che la tacca di montaggio ⑦ sia sul lato superiore.
4. Rimuovere il coperchio anteriore dell'obiettivo (Fig. C).

## Smontaggio dell'obiettivo

Prima di rimuovere l'obiettivo, disattivare la fotocamera. Tenere premuto il pulsante di sgancio e ruotare l'obiettivo in senso orario per rimuoverlo.

## Utilizzo del paraluce HB-45 ①* (Fig. B)

**Opzionale.*

### Fissaggio del paraluce

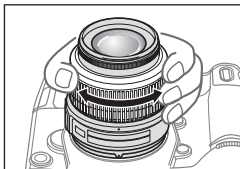
Montare il paraluce ① tenendo premuti gli interruttori di collegamento ② del paraluce. Riporre il paraluce ① montandolo in posizione contraria.

### Rimozione del paraluce

Rimuovere il paraluce ① tenendo premuti gli interruttori di collegamento ② del paraluce.

It

## Messa a fuoco, zoom e profondità di campo

Prima di mettere a fuoco, ruotare l'anello dello zoom ④ per regolare la lunghezza focale e far rientrare nel mirino la composizione desiderata.

Se la fotocamera è dotata di pulsante o leva per l'anteprima della profondità di campo (stopdown), è possibile vedere in anteprima la profondità di campo guardando nel mirino della fotocamera.

## Messa a fuoco (Fig. A)

### Modalità di messa a fuoco automatica

Impostare la modalità di messa a fuoco della fotocamera su AF-A, AF-S o AF-C quindi impostare l'interruttore di modalità A-M ⑨ dell'obiettivo su [A]. La fotocamera esegue automaticamente la messa a fuoco quando si preme il pulsante di scatto a metà corsa.

Fare attenzione a non toccare l'anello di messa a fuoco ③ mentre ruota durante l'operazione di messa a fuoco automatica.

### Modalità di messa a fuoco manuale

Impostare l'interruttore di modalità A-M ⑨ dell'obiettivo su [M]. Per mettere a fuoco, ruotare manualmente l'apposito anello ③. È possibile scattare quando la modalità di messa a fuoco della fotocamera è impostata su AF o M.

| Interruttore di modalità A-M ⑨ dell'obiettivo | Modalità di messa a fuoco della fotocamera | |
|---|---|---|
| | AF-A/AF-S/AF-C | M |
| A | Messa a fuoco automatica | — |
| M | Messa a fuoco manuale (è disponibile l'illuminatore ausiliario) | |

Per ulteriori informazioni sulle modalità di messa a fuoco, fare riferimento alla Manuale d'uso della fotocamera.

### Ottenere buoni risultati con l'autofocus

Fare riferimento a "Note sull'utilizzo degli obiettivi Nikkor AF grandangolo e supergrandangolo" (P. 75).

It

## Modalità Riduzione vibrazioni (VR)

Attivando la funzione Riduzione vibrazioni (VR) è possibile scattare con velocità dell'otturatore più lente di circa tre stop* (a lunghezze focali di 55 mm) rispetto agli scatti senza riduzione delle vibrazioni. È inoltre possibile eseguire panoramiche. (*In base ai risultati ottenuti alle condizioni di misurazione Nikon. L'effetto della riduzione delle vibrazioni può variare in base alle condizioni di scatto e/o personali.)

### Attivazione e disattivazione della funzione Riduzione vibrazioni

1. Impostare l'interruttore ON/OFF di riduzione vibrazioni ⑩ su [ON]. Nota: accertarsi di impostare l'interruttore ⑩ in modo che l'indicatore sia allineato perfettamente con l'indicazione [ON].
2. I movimenti della fotocamera vengono ridotti quando si preme il pulsante di scatto a metà corsa. Poiché vengono ridotti anche i movimenti della fotocamera visibili attraverso mirino, la messa a fuoco automatica e manuale, nonché l'esatta inquadratura del soggetto risultano più facili.
3. Per disattivare la modalità Riduzione vibrazioni, impostare l'interruttore ON/OFF di riduzione vibrazioni ⑩ su [OFF].

### Note sulla funzione Riduzione vibrazioni

- Dopo aver premuto il pulsante di scatto a metà corsa, attendere che l'immagine nel mirino si stabilizzi, quindi premere completamente il pulsante di scatto.
- Se si esegue un ampio arco per creare una panoramica, i movimenti della fotocamera nella direzione della panoramica non vengono compensati. Ad esempio, se si esegue una panoramica orizzontale, vengono ridotte le vibrazioni solo in senso verticale, rendendo più semplice la creazione delle panoramiche graduali.
- Le caratteristiche del meccanismo di riduzione delle vibrazioni possono rendere sfocata l'immagine nel mirino quando si rilascia il pulsante di scatto. Non si tratta di un malfunzionamento.
- Non disattivare la fotocamera né rimuovere l'obiettivo quando la modalità Riduzione vibrazioni è in funzione. In caso contrario, il movimento dell'obiettivo può generare un suono simile a quello di un componente interno lento o rotto. Non si tratta di un malfunzionamento. Per risolvere il problema, riattivare la fotocamera.
- Con fotocamere delle D300 e D40 dotate di flash incorporato, la funzione Riduzione vibrazioni non funziona quanto il flash è in fase di ricarica.
- Quando la fotocamera è sul cavalletto, impostare l'interruttore ON/OFF di riduzione vibrazioni ⑩ su [OFF]. Impostare invece l'interruttore su [ON] quando si utilizza il cavalletto senza fissarne la testa o quando si utilizza un monopiede.
- Con le fotocamere a messa a fuoco automatica, quali ad esempio la serie D2 e i modelli D300, dotate di pulsante di attivazione AF (AF-ON), la funzione Riduzione vibrazioni non funziona anche se si preme il pulsante AF-ON.

## Impostazione dell'apertura

Regolare l'apertura utilizzando la fotocamera.

## Apertura massima variabile

Modificando lo zoom dell'obiettivo da 18 mm a 55 mm l'apertura massima diminuisce di 1 1/3 di stop. Tuttavia, non è necessario regolare l'impostazione dell'apertura per ottenere un'esposizione corretta, poichè la fotocamera compensa automaticamente questa variabile.

## Fotografare con il flash usando fotocamere con flash incorporato

La vignettatura è la riduzione della luminosità ai margini dell'immagine che si verifica quando la luce emessa dal flash è ostacolata dal paraluce ① o dal barilotto, in base alla lunghezza focale o alla distanza di ripresa.

- Per evitare l'effetto vignettatura, non utilizzare il paraluce ①.
- Non è possibile effettuare riprese a distanze inferiori a 0,6 m con il flash incorporato.

| Fotocamere digitali SLR | Lunghezza focale supportata/distanza di scatto |
|---|---|
| D300, D200, D100, D80, serie D70, D60, D50 e serie D40 | Nessuna lunghezza focale causa l'effetto vignettatura |

Il flash incorporato delle fotocamere D100 e D70 supporta lunghezze focali di 20 mm o superiori.
La vignettatura si verifica con una lunghezza focale di 18 mm.

## Cura e manutenzione dell'obiettivo

- Fate attenzione a non sporcare o danneggiare i contatti CPU ⑧.
- Pulite la superficie delle lenti con un pennello a pompetta. Per rimuovere impronte e macchie, fate uso di un fazzoletto di cotone, soffice e pulito, o di una cartina ottica leggermente imbevuti con alcool o con l'apposito liquido "lens cleaner". Strofinate delicatamente con movimento circolare dal centro verso l'esterno, facendo attenzione a non lasciare tracce o toccare altre parti.
- Per la pulizia non utilizzate mai solventi o benzina, che potrebbero danneggiare l'obiettivo, causare incendi o problemi di intossicazione.
- Per la protezione dell'elemento anteriore dell'obiettivo sono disponibili appositi filtri NC. Anche il paraluce ① può essere utilizzato per proteggere la parte anteriore dell'obiettivo.
- Prima di riporre l'obiettivo nella relativa custodia flessibile, montare entrambi i coperchi anteriore e posteriore. L'obiettivo può inoltre essere riposto con il paraluce ① montato al contrario.
- Quando l'obiettivo è montato sulla fotocamera, non prendete e non reggete la fotocamera e l'obiettivo dal paraluce ①.
- Se prevedete di non utilizzare l'obiettivo per un lungo periodo di tempo, riponetelo in un ambiente fresco e ventilato per prevenire la formazione di muffe. Tenetelo inoltre lontano dal sole o da agenti chimici come canfora o naftalina.
- Non bagnatelo e fate attenzione che non cada in acqua. La formazione di ruggine potrebbe danneggiarlo in modo irreparabile.
- Alcune parti della montatura sono realizzate in materiale plastico rinforzato. Per evitare danni non lasciate mai l'obiettivo in un luogo eccessivamente caldo.

## Accessori in dotazione

- Tappo anteriore da 52 mm dia. LC-52

## Accessori opzionali

- Filtri a vite da 52 mm
- Tappo posteriore LF-1
- Custodia flessibile CL-0815
- Paraluce HB-45

## Accessori non utilizzabili

- Teleconvertitore (tutti i modelli)
- Anello automatico BR-4 e tutti i modelli di anelli di prolunga ottiche PK, anelli K e i dispositivi di messa a fuoco a soffietto.
- Anello di fissaggio SX-1

Eventuali altri accessori possono non essere adatti per l'uso con questo obiettivo. Per ulteriori informazioni, fare riferimento al manuale d'uso degli accessori.

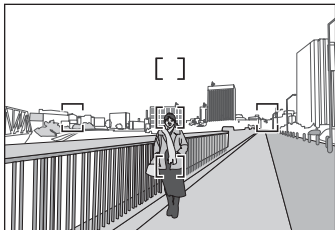
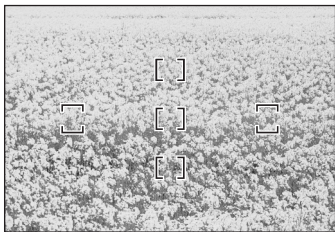
## Caratteristiche tecniche

| | |
|---|---|
| Tipo di obiettivo | Obiettivo AF-S DX Zoom-Nikkor tipo G con CPU incorporata e attacco a baionetta Nikon (appositamente progettato per essere utilizzato con le fotocamere digitali Nikon SLR - formato Nikon DX) |
| Lunghezza focale | 18 mm–55 mm |
| Apertura massima | f/3,5–5,6 |
| Costruzione obiettivo | 11 elementi in 8 gruppi (1 elemento asferico) |
| Angolo di campo | 76º–28º50′ |
| Scala della lunghezza focale | 18, 24, 35, 45, 55 mm |
| Dati distanze | Uscita verso il corpo fotocamera |
| Zoom | Manuale mediante anello dello zoom separato |
| Messa a fuoco | Messa a fuoco automatica con motore Silent Wave; manuale mediante anello di messa a fuoco separato |
| Riduzione vibrazioni | Metodo di spostamento ottiche con motori voice coil (VCM) |
| Distanza focale minima | 0,28 m in tutte le impostazioni di zoom |
| Nr. delle lamelle diaframma | 7 pz. (arrotondati) |
| Diaframma | Completamente automatico |
| Gamma di apertura | Da f/3,5 a f/22 (a 18 mm), da f/5,6 a f/36 (a 55 mm) |
| Misurazione dell'esposizione | Attraverso il metodo di apertura massima |
| Misura dell'accessorio | 52 mm (P = 0,75 mm) |
| Dimensioni | Circa 73 mm (dia.) × 79,5 mm (sporgenza dalla flangia di montaggio della fotocamera) |
| Peso | Circa 265 g |

*Le specifiche e i disegni sono soggetti a modifica senza preavviso od obblighi da parte del produttore.*

## Note sull'utilizzo degli obiettivi Nikkor AF grandangolo e supergrandangolo

Nelle seguenti situazioni, quando si scattano fotografie con l'obiettivo Nikkor AF grandangolo e supergrandangolo, la messa a fuoco automatica potrebbe non funzionare come previsto.

**E** Una persona ferma davanti ad uno sfondo distante

**F** Un prato fiorito

### 1. Il soggetto principale nella cornice di messa a fuoco è di dimensioni abbastanza ridotte

Se il soggetto è posizionato di fronte a uno sfondo distante e sia lo sfondo che il soggetto sono all'interno della cornice di messa a fuoco, come mostrato nella Fig. E, è probabile che solamente lo sfondo sia a fuoco.

### 2. Il soggetto principale è un soggetto o una scena con sfondo finemente decorato

Se il soggetto è finemente decorato o a basso contrasto, ad esempio un campo di fiori come illustrato nella Fig. F, potrebbe essere difficile ottenere la messa a fuoco automatica.

### Operazioni da effettuare in queste situazioni

(1) Mettere a fuoco un altro soggetto collocato alla stessa distanza dalla fotocamera, quindi utilizzare il blocco della messa a fuoco, ricomporre e scattare.

(2) Impostare il selettore della modalità di messa a fuoco della fotocamera su M (manuale) e mettere a fuoco il soggetto manualmente.

Fare riferimento a "Ottenere buoni risultati con l'autofocus" nel manuale d'uso della fotocamera.

# 安全操作注意事项

## ⚠警告

### 勿自行拆卸

触动相机或镜头的内部零件可能会导致受伤。修理只能由有资格的维修技师进行。如果由于掉落或其它事故导致相机或镜头拆散，在切断产品电源和（或）取出电池后，请将产品送至尼康授权的维修中心进行检查。

### 发生故障时立刻关闭电源

如果您发现相机或镜头冒烟或发出异味时，请立刻取出电池，注意避免燃烧。继续使用可能导致受伤。
取出电池或切断电源后，请将产品送到尼康授权的维修中心进行检查。

### 勿在易燃气体环境中使用相机或镜头

在易燃气体中使用电子设备可能会导致爆炸或火灾。

### 勿通过镜头或取景器观看太阳

通过镜头或取景器观看太阳或其它强光，可能会导致永久性的视觉损伤。

### 请勿在儿童伸手可及之处保管本产品

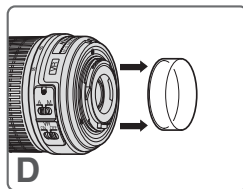
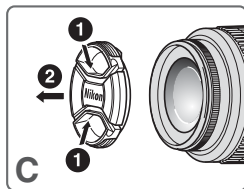
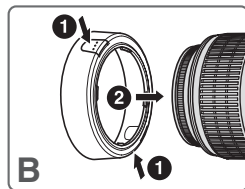
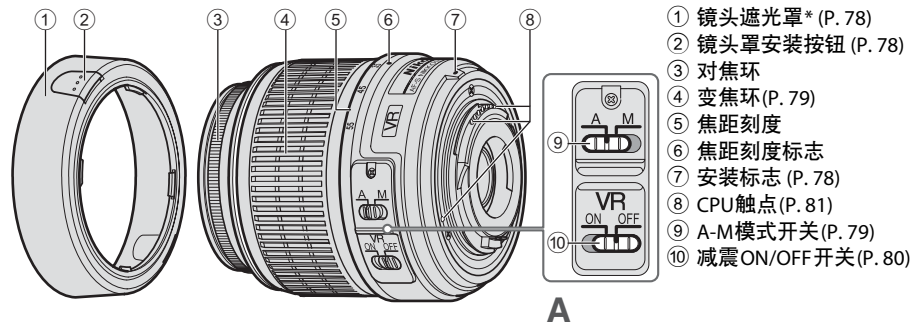
请特别注意避免婴幼儿将电池或其它小部件放入口中。

### 使用相机或镜头时应注意以下事项

- 保持相机或镜头干燥。否则可能导致火灾或引起电击。
- 请勿以湿手操作或触摸相机或镜头。否则可能会导致触电。
- 逆光拍摄时，请勿让太阳进入画面。阳光可能会在镜头内部聚焦并导致火灾。即使阳光未直接进入画面，靠近画面也可能会导致火灾。
- 当镜头长时间不用时，请盖上镜头的前盖和后盖，并且存放镜头时应避免阳光直射。否则可能会导致火灾，因为镜头可能会使阳光聚焦于易燃物。

# 术语

( ): 参考页

① 镜头遮光罩* (P. 78)
② 镜头罩安装按钮 (P. 78)
③ 对焦环
④ 变焦环(P. 79)
⑤ 焦距刻度
⑥ 焦距刻度标志
⑦ 安装标志 (P. 78)
⑧ CPU触点(P. 81)
⑨ A-M模式开关(P. 79)
⑩ 减震ON/OFF开关(P. 80)

*选购

Ck

感谢您购买AF-S DX尼克尔18-55 mm f/3.5-5.6G VR镜头。DX 尼克尔镜头是专为与尼康数码单镜反光（尼康DX格式）相机 （D2系列和D40系列等）一起使用而设计的。安装在尼康 DX格式相机上时，镜头的画角相当于35 mm格式相机焦距的1.5倍左右。使用本镜头之前，请仔细阅读这些说明并参阅相机的使用说明书。

## 主要特色

- 启用减震 （VR）可以实现比禁用减震慢3档*左右的快门速度拍摄 （焦距为55 mm）， 从而扩大有效快门速度选项的范围以及简化各种变焦位置的手持拍摄。(*根据在尼康测量条件下获得的结果。减震的效果可能会因个体和/或拍摄条件而异。）
- 本镜头采用宁静波动马达以驱动对焦装置，使自动对焦变得顺畅、宁静和快捷。A-M模式开关⑨可以方便地选择自动对焦 （A）或手动对焦（M）操作。
- 因为主体距离信息会从镜头传送到相机机身，所以曝光控制更加精准。
- 一片非球面镜组件的应用可以有效地消除色散，确保图像清晰。另外， 采用由7个叶片组成的近圆形光圈， 可以使主体前后的虚化对象产生舒适的模糊美感。

## 安装镜头

1. **关闭相机。**
2. **移除后镜盖（ 图D ）。**
3. **保持镜头上的安装标志⑦与相机机身上的安装记号对准，逆时针旋转镜头，直到听到其“ 卡嗒 ”一声为止。确认安装标志⑦在最上边。**
4. **移除前镜盖（ 图C ）。**

## 取下镜头

取下镜头以前，必须关闭相机。按住镜头释放按钮，顺时针旋转镜头将其取下。

## 使用镜头遮光罩HB-45 ①* (图B)

**选购。*

### 安装遮光罩

安装镜头遮光罩时①，按住镜头遮光罩安装按钮②。若要存放镜头遮光罩①，请反向安装。

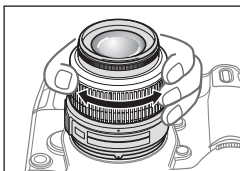
### 取下遮光罩

取下镜头遮光罩时①，按住镜头遮光罩安装按钮②。

Ck

## 对焦、变焦与景深

对焦前，请先转动变焦环④调节焦距，直至取景器中获得令人满意的构图。

如果您的相机有景深预览（收细光圈）按钮或者控制杆，可以透过相机的取景器预览景深。

## 对焦（图A）

### 自动对焦模式

将相机的对焦模式设定为AF-A、AF-S或AF-C，并将镜头的A-M模式开关⑨设定为[A]。半按快门释放按钮期间，相机将自动对焦（自动对焦）。

当在自动对焦期间对焦环③正在转动时，请勿触摸它。

### 手动对焦模式

将镜头的A-M模式开关⑨设定为[M]。手动转动对焦环③进行对焦。当相机的对焦模式设定为AF或M时，可以进行拍摄。

| 镜头的A-M模式开关⑨ | 相机对焦模式 | |
|---|---|---|
| | AF-A/AF-S/AF-C | M |
| A | 自动对焦 | – |
| M | 手动对焦（有对焦辅助） | |

有关相机对焦模式的更多信息，请参阅相机的使用说明书。

### 以自动对焦获得满意效果

请参阅“有关使用广角或超广角AF 尼克尔镜头的注意事项”(P. 83)。

Ck

## 减震模式(VR)

启用减震（VR）可以实现比禁用减震慢3档*左右的快门速度拍摄（焦距为55 mm）。也支持摇摄。（*根据在尼康测量条件下获得的结果。减震的效果可能会因个体和拍摄条件而异。）

## 打开和关闭减震

**1　将减震ON/OFF开关⑩设定为[ON]。**
**注：必须设定开关⑩，以便指示与[ON]精确对齐。**

**2　半按快门释放按钮时，可以减弱相机震动。因为通过取景器可以察觉的相机震动也会减弱，所以自动对焦、手动对焦和精确构图将会更加容易。**

**3　若要禁用减震功能，请将减震ON/OFF开关⑩设定为[OFF]。**

## 使用减震的注意事项

- 半按快门释放按钮以后，请等到取景器中的影像稳定以后再完全按下快门释放按钮。
- 如果您在摇摄时大范围地移动相机，将不会对所有方向的相机震动进行补偿。例如，水平摇摄时，将只对垂直方向的相机震动进行减弱，从而可以更加容易且流畅地进行摇摄。
- 由于减震结构的特性，释放快门后取景器中的影像可能会变得模糊。这不是故障。
- 请勿在减震正在运行时关闭相机或从相机上取下镜头。否则出现震动时可能会造成镜头发出声音，会让人觉得好像内部组件松脱或损坏。这不是故障。请重新打开相机消除这种情况。
- 由于D300和D40系列等相机型号提供内置闪光灯，当内置闪光灯正在充电时减震不起作用。
- 当相机安装在三脚架上时，请将减震ON/OFF开关⑩设定为[OFF]。不过，使用三脚架时如果未固定云台，或者当使用单脚架时，请将此开关设定为[ON]。
- 对于有AF启动 (AF-ON)按钮的自动对焦相机，例如D2系列和D300型号，即使按了AF-ON按钮，减震也不起作用。

## 光圈设定

用相机调整光圈设定。

## 可变最大光圈

镜头从18 mm变焦至55 mm时，最大光圈将降低1 1/3档。

不过，无需为获得正确曝光而调节光圈设定，因为相机会自动对此变化进行补偿。

## 以配备内置闪光灯的相机进行闪光摄影

渐晕是指闪光灯发出的灯光因焦距的差异被镜头遮光罩①或镜筒遮住时，图像的周边出现的变黑现象。

- 为了防止渐晕现象，请不要使用镜头遮光罩①。
- 使用相机的内置闪光灯在距离小于0.6 m时不能拍摄。

| 数码单镜反光相机 | 支持的焦距/拍摄距离 |
|---|---|
| D300、 D200、 D100、 D80、 D70系列、 D60、 D50、 D40系列 | 任何焦距均不会出现渐晕现象 |

D100和D70的内置闪光灯支持20 mm或以上的焦距。

焦距为18 mm时出现渐晕现象。

## 镜头的维护保养

- 小心不要弄脏或弄坏CPU （中央处理器）接点⑧。
- 使用吹风刷清扫镜头表面。如想清除镜头上的污垢时，请用柔软干净的棉布或镜头清洁纸沾点酒精或镜头清洁液擦拭。在擦拭镜头时，请绕着圆圈自中心向周围擦拭，注意不要在镜片上留下痕迹或碰撞外部的部件。
- 切勿使用稀释剂或苯清洁镜头，否则可能会造成损坏、火灾或健康问题。
- NC滤镜可以保护镜头前面的组件。镜头遮光罩①也有助于保护镜头的正面。
- 当把镜头保存在柔性镜头袋中时，请盖好前镜头盖和后镜头盖。也可以反向安装镜头遮光罩①来存放镜头。
- 当镜头安装在相机上时，切勿通过镜头遮光罩①拎起或握持相机和镜头。
- 当镜头长时间不用时，请将其保存在凉爽干燥的地方以防生霉。请勿放在阳光直射或樟脑球/卫生丸等化学品附近。
- 注意不要溅水于镜头上或落到水中，因为将会生锈而发生故障。
- 镜头的一部分部件采用了强化塑料。不要把镜头放置在高温的地方，以免损坏。

## 标准配件

- 52 mm按扣式前镜盖LC-52

## 选购配件

- 52 mm旋入式滤镜
- 后镜盖LF-1
- 柔性镜头袋CL-0815
- 镜头遮光罩HB-45

## 不兼容的配件

- 望远转换镜（所有型号）
- 自动环BR-4及各式自动延伸环PK，K环和伸缩对焦镜腔。
- 附件环SX-1

其它配件可能不适合用于本镜头。具体细节，请参阅相关附件的使用说明书。

## 规格

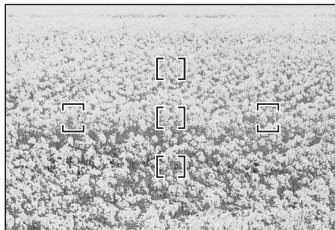
| | |
|---|---|
| **镜头类型** | G型AF-S DX变焦尼克尔镜头内置CPU和尼康卡口座（专用于尼康数码单镜反光-尼康 DX格式-相机） |
| **焦距** | 18 mm到55 mm |
| **最大光圈** | f/3.5-f/5.6 |
| **镜头构造** | 8组11片（1个非球面镜组件） |
| **画角** | 76°-28°50' |
| **焦距刻度** | 18、24、35、45、55 mm |
| **距离信息** | 输入机身 |
| **变焦** | 手动用独立变焦环 |
| **对焦** | 采用宁静波动马达自动对焦；手动则采用独立对焦环。 |
| **减震** | 采用音圈马达（VCM）的镜头位移式 |
| **最短拍摄距离** | 所有变焦设置下均为0.28 m |
| **光圈叶片数** | 7片（圆形） |
| **光圈** | 全自动 |
| **光圈范围** | f/3.5至f/22 (在18 mm时), f/5.6至f/36 (在55 mm时) |
| **曝光计测方式** | 全开光圈测光 |
| **安装** | 52 mm (P = 0.75 mm) |
| **尺寸** | 约73 mm（直径）× 79.5 mm（自相机的镜头安装边缘算起） |
| **重量** | 约265 g |

*设计和规格若有变更，制造商恕无义务另行通知。*

## 有关使用广角或超广角AF 尼克尔镜头的注意事项

在下列情况下使用广角或超广角AF 尼克尔镜头拍摄时，自动对焦可能无法正常运行。

**E** 遥远背景前方站立的人物

**F** 花团锦簇的田野

### 1. 对焦框内的主体较小时

如图E所示，遥远背景前方站立的人物在对焦框内时，背景可能会清晰，而主体模糊。

### 2. 当主体是拥有精细图案的对象或景色时

如图F所示，当主体拥有精细图案或者对比度不高时，例如花团锦簇的田野，自动对焦可能难以实现。

### 对于这些情况

(1) 对与相机距离相同的其它物体对焦，然后使用对焦锁定重新构图和拍摄。

(2) 将相机的对焦模式选择器设定为M （手动），对主体进行手动对焦。

请参阅相机使用说明书中的 “以自动对焦获得满意效果”。

Ck

# 相机及相关产品中有毒有害物质或元素的名称、含量及环保使用期限说明

| 环保使用期限 | 部件名称 | 有毒有害物质或元素 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 铅 (Pb) | 汞 (Hg) | 镉 (Cd) | 六价铬 (Cr (VI)) | 多溴联苯 (PBB) | 多溴二苯醚 (PBDE) |
| 10 | 1 相机外壳和镜筒（金属制） | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 1 相机外壳和镜筒（塑料制） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 2 机械元件 | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 3 光学镜头、棱镜、滤镜玻璃 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 4 电子表面装配元件（包括电子元件） | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 5 机械元件，包括螺钉、包括螺母和垫圈等 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

**注：**

## 有毒有害物质或元素标识说明

○ 表示该有毒有害物质或元素在该部件所有均质材料中的含量均在 SJ/T11363-2006 标准规定的限量要求以下。

× 表示该有毒有害物质或元素至少在该部件的某一均质材料中的含量超出 SJ/T11363-2006 标准规定的限量要求。但是，以现有的技术条件要使相机相关产品完全不含有上述有毒有害物质极为困难，并且上述产品都包含在《关于电气电子设备中特定有害物质使用限制指令 2002/95/EC》的豁免范围之内。

## 环保使用期限

此标志的数字是基于中华人民共和国电子信息产品污染控制管理办法及相关标准，表示该产品的环保使用期限的年数。请遵守产品的安全及使用注意事项，并在产品使用后根据各地的法律、规定以适当的方法回收再利用或废弃处理本产品。

# 安全操作注意事項

## ⚠警告

### 勿自行拆除

觸摸相機或鏡頭的內部零件可能會導致受傷。僅能由合格維修技師修理。如果由於掉落或其它事故導致相機或鏡頭拆散，在切斷產品電源和（或）取出電池後，請將產品送至尼康授權的維修中心進行檢查。

### 發生故障時立刻關閉電源

如果您發現相機或鏡頭冒煙或發出異味，請立刻取出電池，注意避免燃燒。若繼續使用可能導致受傷。
取出電池或切斷電源後，請將產品送到尼康授權的維修中心進行檢查。

### 勿在易燃氣體環境中使用相機或鏡頭

在易燃氣體中使用電子設備可能會導致爆炸或火災。

### 勿通過鏡頭或取景器觀看太陽

通過鏡頭或取景器觀看太陽或其它強光，可能會導致永久性的視覺損傷。

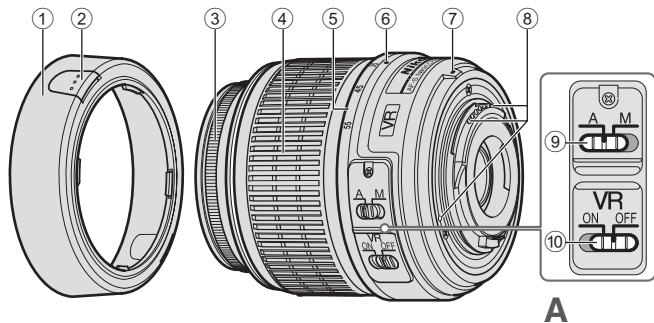
### 請勿在兒童伸手可及之處保管本產品

請特別注意避免嬰幼兒將電池或其它小部件放入口中。

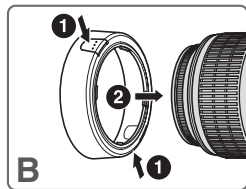
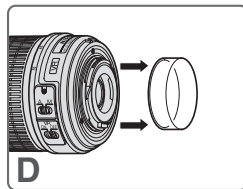
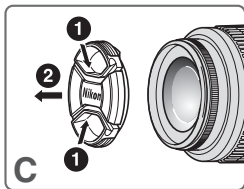
### 使用相機和鏡頭時應注意以下事項

- 保持相機或鏡頭干燥。否則可能導致火災或引起電擊。
- 請勿以濕手操作或觸摸相機或鏡頭。否則可能會導致電擊。
- 背光拍攝時，請勿讓太陽進入畫面。陽光可能會在鏡頭內部聚焦並導致火災。即使陽光未直接進入畫面，靠近畫面也可能會導致火災。
- 當鏡頭長時間不用時，請蓋上鏡頭的前蓋和後蓋，並且存放鏡頭時應避免陽光直射。否則可能會導致火災，因爲鏡頭可能會使陽光聚焦於易燃物。

# 術語

**(　)：參考頁**

① 鏡頭遮光罩* (P. 88)
② 鏡頭罩安裝按鈕 (P. 88)
③ 對焦環
④ 變焦環 (P. 89)
⑤ 焦距刻度
⑥ 焦距刻度標誌
⑦ 安裝標誌 (P. 88)
⑧ CPU觸點 (P. 91)
⑨ A-M模式開關 (P. 89)
⑩ 減震ON/OFF開關 (P. 90)

*選購

Ch

感謝您購買AF-S DX尼克爾18-55 mm f/3.5-5.6G VR鏡頭。DX 尼克爾鏡頭是專爲與尼康單鏡反光數碼相機（尼康 DX格式）（D2系列和D40系列等）一起使用而設計的。安裝在尼康 DX格式相機上時，鏡頭的畫角相當於35 mm格式相機焦距的1.5倍左右。使用本鏡頭之前，請仔細閱讀這些說明並參閱相機的使用說明書。

## 主要特色

- 啓用減震 （VR）可以實現比禁用減震慢三檔*左右的快門速度拍攝 （焦距爲55 mm），從而擴大有效快門速度選項的範圍以及簡化各種變焦位置的手持拍攝。(*根據在尼康測量條件下獲得的結果。減震的效果可能會因個體和/或拍攝條件而異。）
- 本鏡頭採用無聲波導馬達以驅動對焦機構，使自動對焦變得順暢、靜音和快捷。A-M模式開關⑨可以方便地選擇自動對焦 （A）或手動對焦（M）操作。
- 因爲主體距離資訊會從鏡頭傳送到相機機身，所以曝光控制更加精準。
- 所應用的一片非球面鏡組件可以有效地消除色散，確保圖像清晰。另外，採用由7個葉片組成的近圓形光圈，可以使主體前後的虛化物體產生舒適的模糊美感。

## 安裝鏡頭

1. **關閉相機。**
2. **移除後鏡蓋 （圖D）。**
3. **保持鏡頭上的安裝標志⑦與相機機身上的安裝記號對準，逆時針旋轉鏡頭，直到聽到其 “卡嗒”一聲為止。確認安裝標誌⑦在最上邊。**
4. **移除前鏡蓋 （圖C）。**

## 取下鏡頭

取下鏡頭以前，必須關閉相機。按住鏡頭釋放按鈕，順時針旋轉鏡頭將其取下。

## 使用鏡頭遮光罩HB-45 ①* (圖B)

**另購。*

### 安裝遮光罩

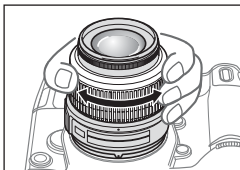
安裝鏡頭遮光罩時①，按住鏡頭遮光罩安裝按鈕②。若要存放鏡頭遮光罩①，請反向安裝。

### 取下遮光罩

取下鏡頭遮光罩時①，按住鏡頭遮光罩安裝按鈕②。

## 對焦、變焦與景深

對焦前，請先轉動變焦環④調整焦距，直至取景器中獲得令人滿意的構圖。

如果您的相機有景深預覽（定格）按鈕或者控制桿，可以透過相機的取景器預覽景深。

## 對焦（圖A）

### 自動對焦模式

將相機的對焦模式設定爲AF-A、AF-S或AF-C，並將鏡頭的A-M模式開關⑨設定爲[A]。半按快門釋放按鈕期間，相機將自動對焦（自動對焦）。

> 當在自動對焦期間對焦環③正在轉動時，請勿觸摸它。

### 手動對焦模式

將鏡頭的A-M模式開關⑨設定爲[M]。手動轉動對焦環③進行對焦。當相機的對焦模式設定爲AF或M時，可以進行拍攝。

| 鏡頭的A-M模式開關⑨ | 相機對焦模式 | |
|---|---|---|
| | AF-A/AF-S/AF-C | M |
| A | 自動對焦 | – |
| M | 手動對焦（有對焦輔助） | |

有關相機對焦模式的更多資訊，請參閱相機的使用說明書。

### 以自動對焦獲得滿意效果

請參閱“有關使用廣角或超廣角AF 尼克爾鏡頭的注意事項”(P. 93)。

## 減震模式（VR）
啓用減震（VR）可以實現比禁用減震慢三檔*左右的快門速度拍攝（焦距爲55 mm）。也支援搖攝。
（*根據在尼康測量條件下獲得的結果。減震的效果可能會因個體和拍攝條件而異。）

### 開啓和關閉減震
**1　將減震ON/OFF開關⑩設定為[ON]。**
**註：必須設定⑩開關，以便指示與[ON]精確對齊。**
**2　半按快門釋放按鈕時，可以減弱相機震動。因為透過取景器可以察覺的相機震動也會減弱，所以自動對焦、手動對焦和精確構圖將會更加容易。**
**3　若要禁用減震功能，請將減震ON/OFF開關⑩設定為[OFF]。**

### 使用減震的注意事項
- 半按快門釋放按鈕以後，請等到取景器中的影像穩定以後再完全按下快門釋放按鈕。
- 如果您在搖攝時大範圍地移動相機，將不會對移動方向的相機震動進行補償。例如，水平搖攝時，將僅對垂直方向的相機震動進行減弱，從而可以更加容易且流暢地進行搖攝。
- 由於減震結構的特性，釋放快門後取景器中的影像可能會變得模糊。這不是故障。
- 請勿在減震正在運行時關閉相機或從相機上取下鏡頭。否則出現震動時可能會造成鏡頭發出聲音，會讓人覺得彷彿內部組件鬆脫或損壞。這不是故障。請重新打開相機消除這種情況。
- 由於D300和D40系列的相機型號提供內置閃光燈，當內置閃光燈正在充電時減震不起作用。
- 當相機安裝在三腳架上時，請將減震ON/OFF開關⑩設定爲[OFF]。不過，使用三腳架時如果未固定雲台，或者當使用單腳架時，請將此開關設定爲[ON]。
- 對於有AF啓動 (AF-ON)按鈕的自動對焦相機，例如D2系列和D300型號，即使按了AF-ON按鈕，減震也不起作用。

## 光圈設定
用相機調整光圈設定。

## 可變最大光圈
鏡頭從18 mm變焦至55 mm時，最大光圈將降低1 1/3檔。
不過，無需爲獲得正確曝光而調整光圈設定，因爲相機會自動對此變化進行補償。

## 以配備內置閃光燈的相機進行閃光攝影

邊暈是指閃光燈發出的燈光因焦距的差異被鏡頭遮光罩①或鏡筒遮住時，圖像的周邊出現的變黑現象。

- 爲了防止邊暈現象，請不要使用鏡頭遮光罩①。
- 使用相機的內置閃光燈在距離小於0.6 m時不能拍攝。

| 單鏡反光數碼相機 | 支援的焦距/拍攝距離 |
|---|---|
| D300、D200、D100、D80、D70系列、D60、D50、D40系列 | 任何焦距均不會出現邊暈現象 |

D100和D70的內置閃光燈支援20 mm或以上的焦距。
焦距爲18 mm時出現邊暈現象。

## 鏡頭的維護保養

- 小心不要弄髒或弄壞CPU （中央處理器）接點⑧。
- 使用吹風刷清掃鏡頭表面。如想清除鏡頭上的污垢時，請用柔軟乾淨的棉布或鏡頭清潔紙沾點酒精或鏡頭清潔液擦拭。在擦拭鏡頭時，請繞著圓圈自中心向周圍擦拭，注意不要在鏡片上留下痕跡或碰撞外部的部件。
- 切勿使用稀釋劑或苯清潔鏡頭，否則可能會造成損壞、火災或健康問題。
- NC濾鏡可以保護鏡頭前面的組件。鏡頭遮光罩①也有助於保護鏡頭的正面。
- 當把鏡頭保存在柔性鏡頭袋中時，請蓋好前鏡頭蓋和後鏡頭蓋。也可以反向安裝鏡頭遮光罩①來存放鏡頭。
- 當鏡頭安裝在相機上時，切勿透過鏡頭遮光罩①拎起或握持相機和鏡頭。
- 當鏡頭長時間不用時，請將其保存在涼爽乾燥的地方以防發霉。請勿放在陽光直射或樟腦丸/衛生丸等化學品附近。
- 注意不要濺水於鏡頭上或落到水中，因爲將會生鏽而發生故障。
- 鏡頭的一部分部件採用了強化塑料。不要把鏡頭放置在高溫的地方，以免損壞。

## 標準配件

- 52 mm按扣式前鏡蓋LC-52

## 選購配件

- 52 mm旋入式濾鏡
- 後鏡蓋LF-1
- 彈性鏡頭袋CL-0815
- 鏡頭遮光罩HB-45

## 不兼容的配件

- 望遠倍率鏡 （所有型號）
- 自動環BR-4及各式自動延伸環PK，K環和風箱式對焦附件。
- 附件環SX-1

其它配件可能不適合用於本鏡頭。具體細節，請參閱相關附件的使用說明書。

## 規格

| | |
|---|---|
| **鏡頭類型** | G型AF-S DX變焦尼克爾鏡頭內裝有CPU中央處理器和尼康刺刀式接環 （專用於尼康單鏡反光數碼相機尼康 DX型） |
| **焦距** | 18 mm-55 mm |
| **最大光圈** | f/3.5-f/5.6 |
| **鏡頭構造** | 8組11片 （1個非球面鏡組件） |
| **畫角** | 76°-28°50' |
| **焦距刻度** | 18、24、35、45、55 mm |
| **距離信息** | 輸入機身 |
| **變焦** | 手控用獨立變焦環 |
| **對焦** | 採用無聲波導馬達自動對焦，手控則采用獨立對焦環。 |
| **減震** | 採用音圈馬達 （VCM）的鏡頭位移式 |
| **最短拍攝距離** | 所有變焦鏡頭的最近焦距均為0.28 m |
| **光圈葉片數** | 7片 （圓形） |
| **光圈** | 全自動 |
| **光圈範圍** | f/3.5至f/22 （在18 mm時），f/5.6至f/36 （在55 mm時） |
| **曝光計測方式** | 全開光圈測光 |
| **安裝** | 52 mm (P = 0.75 mm) |
| **尺寸** | 約73 mm （直徑）× 79.5 mm （自相機的鏡頭安裝盤算起） |
| **重量** | 約265 g |

*設計和規格若有變更，製造商恕無義務另行通知。*

Ch

## 有關使用廣角或超廣角AF 尼克爾鏡頭的注意事項

在下列情況下使用廣角或超廣角AF 尼克爾鏡頭拍攝時，自動對焦可能不會如預期般運行。

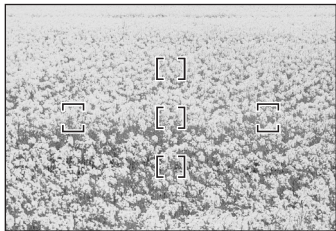
**E** 人物站立在遙遠背景的前方

**F** 充滿著鮮花田野

**1. 對焦框內的主體較小時**

如圖E所示，遙遠背景前方站立的人物在對焦框內時，背景可能會清晰，而主體模糊。

**2. 當主體是具有精細圖案的物體或景色時**

如圖F所示，當主體具有精細圖案或者對比度不高時，例如充滿著鮮花田野，自動對焦可能難以實現。

### 對於這些情況

(1) 對與相機距離相同的其它物體對焦，然後採用對焦鎖定重新構圖和拍攝。

(2) 將相機的對焦模式選擇器設定爲M （手動），對主體進行手動對焦。

請參閱相機使用說明書中的 “以自動對焦獲得滿意效果”。

Ch

# 안전상의 주의 사항

사용하기 전에 '안전상의 주의 사항' 을 자세히 읽고 올바르게 사용하십시오. 이 '안전상의 주의 사항' 에는 제품을 안전하고 올바르게 사용하게 함으로써 사용자와 다른 사람들의 부상 또는 재산상의 손해를 사전에 방지하기 위한 중요한 내용이 기재되어 있습니다. 읽은 후에는 반드시 사용하시는 분이 언제라도 쉽게 찾아볼 수 있는 장소 에 보관해 주십시오.

# 표시에 관하여

각 표시의 의미는 다음과 같습니다.

| | |
|---|---|
|  **경고** | 이 표시를 무시하고 잘못된 방법으로 취급을 하면 사람이 사망 또는 부상을 입을 위험이 있는 내용을 표시 하고 있습니다. |
|  **주의** | 이 표시를 무시하고 잘못된 방법으로 취급을 하면 사람이 부상을 입을 위험이 있는 내용 및 물적 손해가 발생할 위험이 있는 내용을 표시 하고 있습니다. |

준수해야 될 사항의 종류를 다음의 그림표시로 구분하여 설명하고 있습니다.

# 그림 표시 예

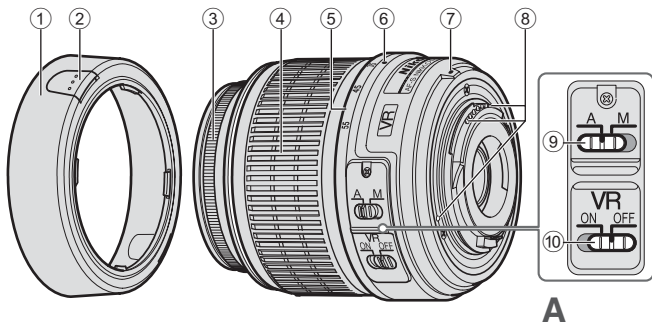
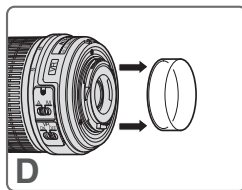
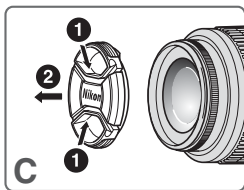
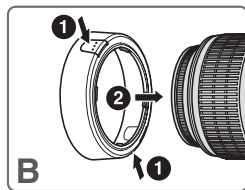
| | |
|---|---|
|  | △기호는 주의(경고 포함)를 알리는 표시 입니다. 그림 내부, 또는 주변에 구체적인 주의 내용(좌측 그림의 경우에는 감전 주의)이 표시되어 있습니다. |
|  | ⃠기호는 금지(해서는 안 되는 행위) 행위를 알리는 표시입니다. 그림 내부, 또는 주변에 구체적인 금지 내용(좌측 그림의 경우에는 분해 금지)이 표시되어 있습니다. |
|  | ●기호는 엄수 사항(반드시 준수해야 할 하는 사항)을 알리는 표시입니다. 그림 내부, 또는 주변에 구체적인 엄수사항(좌측 그림의 경우에는 건전지 분리)이 표시되어 있습니다. |

| ⚠경고 | |
|---|---|
| <br>분해 금지 | **분해하거나 수리·개조하지 마십시오.**<br>감전되거나 이상 작동에 의한 부상의 원인이 됩니다. |
| <br>접촉 금지<br>즉시 수리 의뢰를 하십시오. | **낙하 등으로 인한 파손으로 내부가 노출된 경우에는 노출된 부분에 손을 대지 마십시오.**<br>감전되거나 파손된 부분에 의한 부상의 원인이 됩니다.<br>카메라 전지를 분리하고 판매점 또는 니콘 서비스 센터에 수리 요청을 하십시오. |
| <br>전지를 분리하십시오.<br>즉시 수리 요청을 하십시오. | **뜨거워지거나, 연기가 나거나, 타는 냄새가 나는 등의 이상 현상시에는 즉시 카메라 전지를 분리하십시오.**<br>그대로 사용을 계속하면 화재 및 화상의 원인이 됩니다. 전지를 분리할 때에는 화상을 입지 않도록 충분히 주의해 주십시오. 전지를 분리하고 판매점 또는 니콘 서비스 센터에 수리를 요청하십시오. |
| <br>액체접촉 금지 | **물에 담그거나 물을 뿌리거나 비에 적시지 마십시오.**<br>발화하거나 감전의 원인이 됩니다. |
| <br>사용 금지 | **인화·폭발의 위험이 있는 장소에서는 사용하지 마십시오.**<br>프로판 가스·가솔린 등의 인화성 가스 또는 분진이 발생하는 장소에서 사용하면 폭발 또는 화재의 원인이 됩니다. |
| 사용 금지 | **렌즈 또는 카메라로 직접 태양이나 강한 빛을 보지 마십시오,**<br>실명 또는 시력 장애의 원인이 됩니다. |

| ⚠주의 | |
|---|---|
| <br>감전 주의 | **젖은 손으로 만지지 마십시오.**<br>감전의 원인이 될 수 있습니다. |
| <br>보관 주의 | **제품은 유아의 손이 닿지 않는 곳에 두십시오.**<br>부상의 원인이 될 수 있습니다. |
| 사용 주의 | **역광 촬영의 경우에는 태양이 화각에서 충분히 벗어나게 하십시오.**<br>태양광이 카메라 내부에서 초점을 형성하여 화재의 원인이 될 수 있습니다.<br>화각으로부터 태양을 살짝 벗어나게 하더라도 화재의 원인이 될 수 있습니다. |
| <br>보관 주의 | **사용하지 않을 경우에는 렌즈에 캡을 씌우거나 태양광이 닿지 않는 장소에 보관하십시오.**<br>태양광이 초점을 형성하여 화재의 원인이 될 수 있습니다. |
| 이동 주의 | **삼각대에 카메라 또는 렌즈를 장착한 상태로 이동하지 마십시오.**<br>넘어지거나 부딪쳐서 부상의 원인이 될 수 있습니다. |
| 방치금지 | **창문을 완전히 닫은 자동차 실내 또는 직사광선이 닿는 장소 등의 온도가 매우 높아지는 장소에 방치하지 마십시오.**<br>내부 부품에 나쁜 영향을 미치며, 화재의 원인이 될 수 있습니다. |

Kr

# 각부의 명칭

(　)：참조 페이지

① 렌즈 후드* (P. 97)
② 렌즈 후드 부착 버튼 (P. 97)
③ 초점 링
④ 줌 링(P. 98)
⑤ 초점 거리계
⑥ 초점 거리 표시선
⑦ 마운팅 (P. 97)
⑧ CPU 접점(P. 100)
⑨ 초점 모드 스위치(P. 98)
⑩ 손떨림 보정 ON/OFF 스위치 (P. 99)

Kr

* 옵션품

AF-S DX NIKKOR 18-55 mm f/3.5-5.6G VR을 구입해 주셔서 감사합니다. DX Nikkor 렌즈는 D2 시리즈 및 D40 시리즈와 같은 Nikon 디지털 SLR(Nikon DX 규격) 카메라에 사용하기 위해 특별히 설계된 렌즈입니다. Nikon DX 규격 카메라에 장착하는 경우 렌즈의 사진 화각이 35 mm 규격의 약 1.5× 초점 길이와 동일합니다. 본 렌즈를 사용하기 전에 이 지침을 읽고 카메라의 사용 설명서를 참조하십시오.

## 주요 기능

- 손떨림 보정(VR)을 사용하면 효과적인 셔터 속도 선택 범위가 늘어나고, 다양한 줌 위치에서 손떨림 보정을 사용하지 않을 때보다 3스톱* 정도 느린 셔터 속도로 촬영할 수 있습니다 (55 mm의 초점 거리에서). (*Nikon 측정 조건에 따라 도출된 결과 기준. 손떨림 보정의 효과는 개인 및/또는 촬영 조건에 따라 달라질 수 있습니다.)
- 본 렌즈에는 초음파 모터(SWM)가 탑재되어 있어서 빠르고 조용한 자동 초점 방식으로 초점 메 촬영시 빠르고 조용하게 초점을 잡습니다. A-M 모드 스위치⑨로 자동 초점(A) 또는 수동 초점(M)을 간편하게 조작할 수 있습니다.
- 렌즈와 피사체 사이의 거리 정보가 카메라 본체로 전달되므로 좀더 정확한 노출 제어가 가능합니다.
- 한 개의 비구면 렌즈를 사용함으로써 색상 프린지가 거의 없는 선명한 사진이 촬영됩니다. 또한 원형에 가까운 조리개가 되는 7날 조리개를 이용함으로써 피사체 전후 아웃 포커스 화상이 보기 좋게 흐려집니다.

## 렌즈 부착하기

**1 카메라 전원을 끕니다.**

**2 뒤쪽 렌즈 캡을 떼어 냅니다(그림 D).**

**3 렌즈의 마운팅 ⑦를 카메라 본체의 마운팅 마크에 맞추어 찰칵하는 소리가 날 때까지 시계 반대 방향으로 렌즈를 돌립니다. 마운팅 ⑦은 맨 위쪽에 있습니다.**

**4 앞쪽 렌즈 캡을 떼어 냅니다. (그림 C)**

## 렌즈 탈착하기

렌즈를 분리하기 전에 카메라가 꺼졌는지 확인하십시오. 렌즈를 시계 방향으로 돌려서 분리하는 동안 렌즈 릴리즈 버튼을 누르고 계십시오.

## 렌즈 후드 HB-45 ①* 사용하기(그림 B)

*** 옵션품.*

### 후드 부착하기

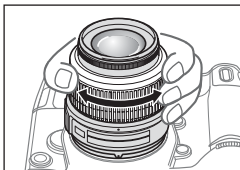
렌즈 후드①를 부착할 때 렌즈 후드 부착 버튼②을 누르고 계십시오. 렌즈 후드①를 보관하려면 거꾸로 부착하십시오.

### 후드 탈착하기

렌즈 후드①를 탈착할 때 렌즈 후드 부착 버튼②을 누르고 계십시오.

Kr

# 초점, 줌 및 심도 조절하기

초점을 맞추기 전에 원하는 구도가 뷰파인더에 잡힐 때까지 줌 링④을 돌려 초점 거리를 조절하십시오.
카메라에 심도 미리보기(스톱 다운) 버튼이나 레버가 있으면 카메라 뷰파인더로 심도를 미리 볼 수 있습니다.

## 초점 맞추기(그림 A)

### 자동 초점 모드

카메라 초점 모드를 AF−A, AF−S 또는 AF−C로 설정하고 렌즈의 A−M 모드 스위치⑨를 [A]로 설정하십시오. 셔터 버튼을 반누름하면 카메라에서 자동으로 초점이 맞춰집니다(자동 초점).

자동 초점 모드에서 초점 링③이 돌아가고 있을 때에는 초점 링을 건드리지 마십시오.

### 수동 초점 모드

렌즈의 A−M 모드 스위치⑨를 [M]으로 설정하십시오. 초점 링③을 수동으로 돌려 초점을 맞추십시오. 카메라 초점 모드가 AF 또는 M으로 설정되어 있으면 촬영이 가능합니다.

| 렌즈의 초점 모드 스위치⑨ | 카메라 초점 모드 | |
|---|---|---|
| | AF−A/AF−S/AF−C | M |
| A | 자동 초점 | − |
| M | 수동 초점<br>(초점 어시스트 사용 가능) | |

카메라 초점 모드에 대한 자세한 내용은 카메라의 사용 설명서를 참조하십시오.

### 자동 초점으로 만족스러운 결과물 얻기

"광각 또는 초 광각 화각 AF Nikkor 렌즈 사용에 관한 주의사항"(P. 102)을 참조하십시오.

## 손떨림 보정 모드(VR)

손떨림 보정(VR)을 사용하면 손떨림 보정을 사용하지 않을 때보다 3스톱* 정도 느린 셔터 속도로 촬영할 수 있습니다(55 mm의 초점 거리에서). 패닝도 지원됩니다. (*Nikon 측정 조건에 따라 도출된 결과 기준. 손떨림 보정의 효과는 개인 및 촬영 조건에 따라 달라질 수 있습니다.)

### 손떨림 보정 켜기 및 끄기

**1 손떨림 보정 ON/OFF 스위치⑩를 [ON]으로 설정합니다.**
**주의: [ON] 표시에 정확히 오도록 스위치⑩를 설정하십시오.**

**2 셔터 버튼을 반누름하면 카메라 흔들림이 줄어듭니다. 뷰파인더를 통해 보이는 카메라 흔들림도 줄어들므로 피사체 구도를 정밀하게 잡을 때 외에도 자동 초점과 수동 초점도 손쉽게 맞출 수 있습니다.**

**3 손떨림 보정을 사용하지 않으려면 손떨림 보정 ON/OFF 스위치⑩를 [OFF]로 설정하십시오.**

### 손떨림 보정 사용에 관한 주의사항

- 셔터 버튼을 반누름한 후 나머지 셔터 버튼을 끝까지 누르기 전에 뷰파인더의 화상이 안정될 때까지 기다리십시오.
- 넓은 궤적으로 카메라를 사용하여 패닝촬영을 하면 패닝하는 방향의 카메라 흔들림은 보정되지 않습니다. 예를 들어 카메라를 수평으로 패닝하면 수직 방향의 카메라 흔들림만 줄어들어 좀 더 매끄럽게 패닝이 됩니다.
- 손떨림 보정의 특성상 뷰파인더의 화상은 셔터가 해제된 후 흔들릴 수 있습니다. 이것은 고장이 아닙니다.
- 손떨림 보정 모드가 작동 중일 때에는 카메라를 끄거나 렌즈를 카메라에서 탈착하지 마십시오. 이 주의사항을 준수하지 않으면 렌즈가 흔들릴 때 내부 부품이 헐거워지거나 망가진 것처럼 소리가 날 수 있습니다. 이것은 고장이 아닙니다. 카메라를 다시 켜서 바로잡으십시오.
- 내장 플래시가 탑재된 D300 및 D40 시리즈 모델과 같은 카메라를 사용하면 내장 플래시가 충전 중일 때 손떨림 보정이 작동되지 않습니다.
- 카메라를 삼각대에 장착하는 경우 손떨림 보정 ON/OFF 스위치⑩를 [OFF]로 설정하십시오. 단, 삼각대 헤드를 고정하지 않고 삼각대를 사용하거나, 모노포드를 사용하는 경우에는 스위치를 [ON]으로 설정하십시오.
- D2 시리즈 및 D300 모델과 같은 AF 시작(AF-ON) 버튼이 있는 자동 초점 카메라를 사용하면 AF-ON 버튼을 눌러도 손떨림 보정이 작동되지 않습니다.

## 조리개 설정하기

카메라를 사용하여 조리개 설정을 조정하십시오.

## 다양한 최대 조리개

18 mm에서 55 mm까지 렌즈를 줌하면 최대 조리개가 1 1/3스톱씩 줄어듭니다.
단, 카메라가 자동으로 이러한 변동을 보정하기 때문에 조리개 설정을 조정해서 노출을 수정할 필요는 없습니다.

## 내장 플래시가 있는 카메라를 사용한 플래시 사진

비네팅현상은는 초점 거리나 촬영 거리에 따른 렌즈 배럴 또는 렌즈 후드①에 의해 플래시가 가려져서 광량이 줄어드는 경우 나타나는 현상으로 화상 주변부 모서리가 어두워집니다.

- 비네팅 현상을 방지하려면 렌즈 후드①를 사용하지 마십시오.
- 카메라의 내장 플래시를 사용하면 0.6 m 이내의 거리에서 촬영할 수 없습니다.

| 디지털 SLR 카메라 | 지원되는 초점 거리/촬영 거리 |
| --- | --- |
| D300, D200, D100, D80, D70 시리즈, D60, D50, D40 시리즈 | 어떠한 초점 거리에서도 비네팅 현상이 발생하지 않음 |

D100 및 D70의 내장 플래시는 초점 거리를 20 mm 이상 지원합니다.
초점 거리 18 mm에서 비네팅 현상이 발생합니다.

## 렌즈 관리

- CPU 접점⑧을 더럽히거나 상하게 하지 마십시오.
- 블로어 브러시로 렌즈 표면을 청소하십시오. 먼지나 얼룩을 제거하려면 면 소재의 부드럽고 깨끗한 헝겊 또는 렌즈 티슈에 에탄올(알코올)이나 렌즈 클리너를 적셔서 사용하십시오. 흔적을 남기거나 렌즈의 다른 부분을 건드리지 않게 조심하면서 가운데에서 바깥쪽으로 원을 그리듯이 닦으십시오.
- 렌즈에 손상을 주거나 화재 또는 작동상 문제를 일으킬 소지가 있는 시너 또는 벤젠을 사용하여 렌즈를 청소하지 마십시오.
- 렌즈 앞쪽을 보호하기 위해 NC 필터를 사용할 수 있습니다. 렌즈 후드①도 렌즈 앞쪽을 보호합니다.
- 렌즈를 신축성이 있는 렌즈 파우치에 보관하는 경우 앞뒤 양쪽 렌즈 캡을 부착하십시오. 렌즈를 보관할 때 렌즈 후드①를 거꾸로 부착해도 됩니다.
- 렌즈를 카메라에 장착할 때 렌즈 후드①쪽을 잡고 카메라와 렌즈를 들어 올리거나 붙잡지 마십시오.
- 렌즈를 장기간 사용하지 않을 경우 곰팡이 발생을 방지하기 위해 건조하고 서늘한 장소에 보관하십시오. 또한 렌즈에 직사광선이나 장뇌 또는 나프탈렌 등의 화학물질을 피해 보관해 주십시오.
- 렌즈에 물을 적시거나 물 속에 렌즈를 넣지 마십시오. 부식 또는 고장의 원인이 됩니다.
- 렌즈에는 강화 플라스틱이 사용된 부분이 있습니다. 손상 방지를 위해 절대로 뜨거운 장소에 렌즈를 방치하지 마십시오.

## 표준 액세서리

- 52 mm 스냅식 앞쪽 렌즈 캡 LC-52

## 옵션 액세서리

- 52 mm 스크류식 필터
- 뒤쪽 렌즈 캡 LF-1
- 신축성 있는 렌즈 파우치 CL-0815
- 렌즈 후드 HB-45

## 호환되지 않는 액세서리

- 텔레컨버터(전체 모델)
- 자동 링 BR-4 및 자동 접사 링 PK의 전체 모델, K 링 및 벨로즈 초점 부속장치.
- 부착 링 SX-1

그 외 액세서리는 본 렌즈에서 사용하기에 적합하지 않을 수 있습니다. 자세한 내용은 액세서리와 함께 제공된 사용설명서를 참조하십시오.

## 사양

| | |
|---|---|
| **렌즈 유형** | 내장 CPU 및 Nikon 바요네트 마운트(Nikon 디지털 SLR(Nikon DX 규격) 카메라에 사용하기 위해 특별 설계됨)가 장착된 G 타입 AF-S DX Zoom-Nikkor 렌즈 |
| **초점 거리** | 18 mm-55 mm |
| **최대 조리개** | f/3.5-5.6 |
| **렌즈 구성** | 8군 11매(비구면 렌즈 1개) |
| **사진 앵글** | 76°-28°50' |
| **초점 거리 스케일** | 18, 24, 35, 45, 55 mm |
| **거리 정보** | 카메라 본체에 표시 |
| **줌 조정** | 별도의 줌 링을 통한 수동 조정 |
| **초점 조절** | 초음파 모터(SWM)를 사용한 자동 초점; 별도의 초점 링을 통한 수동 조정 |
| **손떨림 보정** | 보이스 코일 모터(VCM)를 사용한 렌즈 이동 방법 |
| **최단 초점 거리** | 모든 줌 설정에서 0.28 m |
| **조리개 날 수** | 7날(둥근형) |
| **조리개** | 완전 자동 |
| **조리개 범위** | f/3.5에서 f/22(18 mm인 경우), f/5.6에서 f/36(55 mm인 경우) |
| **노출 측정** | 개방 조리개 방법으로 측정 |
| **부착 크기** | 52 mm (P = 0.75 mm) |
| **크기** | 약 73 mm(지름) × 79.5 mm (카메라의 렌즈 장착 테두리에서 연장) |
| **무게** | 약 265 g |

*사양 및 디자인은 제조업체의 부품에서 사전 통지 또는 약정 없이 변경될 수 있습니다.*

## 광각 또는 초 광각 화각 AF Nikkor 렌즈 사용에 관한 주의사항

다음과 같은 상황에서 광각 또는 초 광각 화각 AF Nikkor 렌즈를 사용하여 화상을 촬영할 때 자동 초점이 생각한 대로 작동되지 않을 수 있습니다.

E 먼 곳을 배경으로 사람이 서 있는 경우

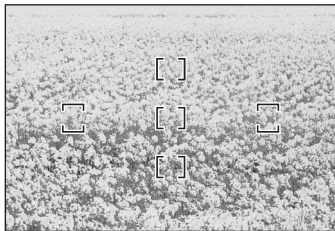
F 꽃으로 가득 찬 들판

### 1. 초점 영역킷의 주 피사체가 상대적으로 작은 경우

그림 E와 같이 멀리 떨어진 배경을 두고 서 있는 사람이 초점 영역 내에 있는 경우 피사체에는 초점이 맞지 않고 배경에 초점이 맞을 수 있습니다.

### 2. 주 피사체가 작고 반복되는 피사체이거나 장면인 경우

그림 F에서 처럼 꽃으로 가득 찬 들판과 같이 피사체가 잘게 반복되거나 대비가 낮은 경우 자동 초점으로 초점을 맞추기 어려울 수 있습니다.

### 이와 같은 경우의 대처법

(1) 카메라와 같은 거리에 있는 다른 피사체에 초점을 맞춘 다음, 초점 고정을 사용하여 구도를 다시 잡고 촬영하십시오.

(2) 카메라 초점 모드 선택 다이얼을 M(수동)으로 설정하고 수동으로 피사체 초점을 맞추십시오.

카메라의 사용설명서에서 "자동 초점으로 만족스러운 결과물 얻기"를 참조하십시오.